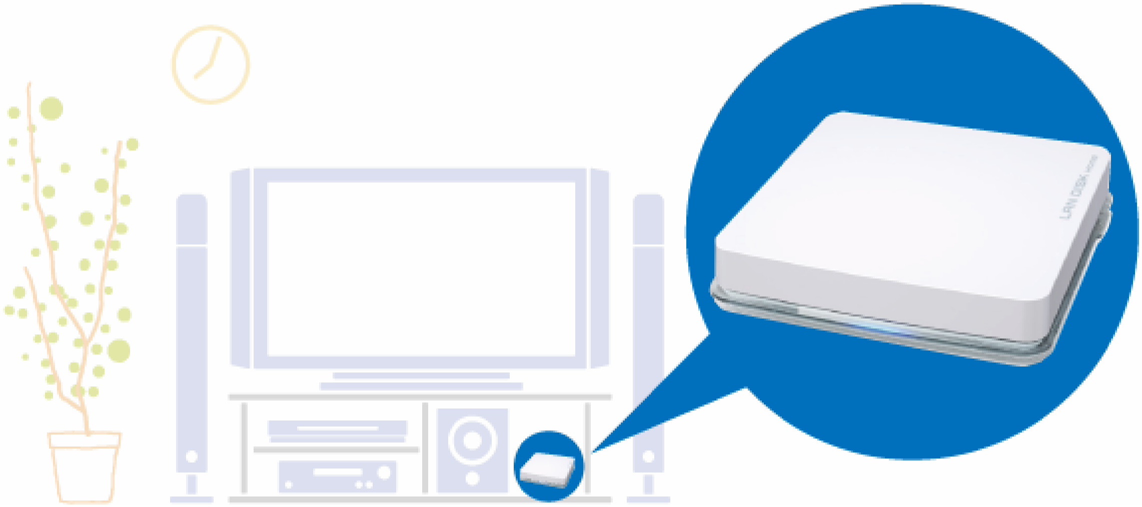
I·O DATA

LAN DISK Home

HDLP-G シリーズ

画面で見るマニュアル



E01

もくじ

安全にお使いいただくために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

危険

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を接続する場合は、必ず添付の取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。

- ●ケーブルにものを乗せる・引っ張る・折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- ●接続するコネクターやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
- ●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。
  給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。
- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- ●接続するコネクターやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しないでください。
発熱、火災の恐れがあります。

厳守

電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。
ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れ

厳守

本製品の接続、取り外しの際は、必ず添付の取扱説明書で、接続・取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

水濡れ禁止

本体を濡らしたり、浴室等では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。浴室、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

濡れた手で本製品を扱わないでください。
感電や、本製品の故障の原因となります。

厳守

ACアダプター・電源ケーブルについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付または指定のACアダプター・電源ケーブルを使用してください。
- ●ケーブル部分を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●ACアダプター・電源ケーブルをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●ACアダプター・電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●ACアダプター・電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本製品およびパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプター・電源ケーブルをコンセントから抜いてください。ACアダプター・電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
- ●ACアダプター・電源ケーブルにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
- ●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発砲スチロールなど）
- ●添付のACアダプター・電源ケーブルは本製品専用であるため、他の機器に取り付けないでください。他の機器に取り付けると、火災および感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。

禁止

［STATUS］ランプが点滅・点灯中に（動作中にシャットダウンを完了せずに）、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止

動作中にケーブルを抜かないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品内部を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使用してください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止
本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

禁止
本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

厳守
本製品のコネクター部分には触れないでください。
コネクター部分に触れると静電気により、本製品が破損されるおそれがあります。

厳守
動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

注意
本体が熱いときはさわらないでください。
本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。

注意
本製品を廃棄あるいは譲渡などされる際は以下にご注意ください。
●本製品で使用するハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。
・ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
●情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

修理センターでは、送付された本製品のハードディスク内のデータをすべて消去します。
必ず、データをバックアップしてから送付してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使用上のご注意

使用上のご注意

■操作中（設定の変更やファイルのコピー中など）に本製品の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になったり、データを消失する おそれがあります。

■本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

■本製品は、USB 接続・LAN 接続に対応しています。USB 接続モードと LAN 接続モードを同時に使うことはできません。

■USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダを使用したい場合は、LAN 接続モードでフォルダを作成してください。
USB 接続モードで作成したフォルダは、LAN 接続モードでは使用できません。

■本製品内蔵ハードディスクは、NTFS でフォーマットされています。LAN 接続モードでは、NTFS の各種属性（暗号ファイル・圧縮ファイル等）には対応しておりません。

■本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。フォーマットを行う場合は、LAN 接続モードで行ってください。

■本製品はハードディスクの中にサポートソフトが入っています。フォーマットを実行するとサポートソフトも消去されます。
フォーマットを行った場合は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib/)からサポートソフトをダウンロードしてください。

■設定画面で表示されるハードディスク使用領域と Windows からネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。

■本製品に対してチェックディスクを行う場合は、対応 OS の Windows パソコンへ USB 接続モードで接続して行ってください。

■Windows と Mac OS で共有する場合、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダが見える場合があります。これは、Mac OS で、フォルダを作成したりファイルをコピーした際に、作成したファイル（フォルダ）の他に、別のファイル（フォルダ）が作成されるためです。このファイル（フォルダ）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

■Mac OS の TimeMachine 機能でのご利用は保証外となります。

LAN 接続モード時のご注意

■本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境（パソコンにそれぞれ固定の IP アドレスを設定している環境）では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。

■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、リモートアクセス、マイウェブサーバー、ホームメディアリンク機能のみの動作保証となります。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保を行ってください。

■同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の[IP アドレス]を別のものに変更する必要があります。

■LAN 接続時はバスパワーで動作しません。必ず添付の AC アダプターを接続してください。

■複数のパソコンを接続する場合は、ハブ(ルーターなど)が必要となります。

■無線 LAN で接続する場合は、無線アクセスポイントと無線 LAN アダプターを接続したパソコンが必要となります。

■LAN 接続モードでご使用の場合は、本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。（EasySetup での設定時に有効となります。）

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイヤーウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。
その場合、ファイヤーウォールソフト側で、137～139 番、445 番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。

■接続可能端末数について
本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windows パソコン	推奨する同時接続台数は 8 台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
Mac OS パソコン	推奨する同時接続台数は 8 台まで（最大 16 台まで）

■本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、以下の文字数までとなっています。

Windows パソコン	半角 255 文字（全角 85 文字）まで　※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。
Mac OS パソコン	半角 255 文字（全角 85 文字）まで

■リモートアクセス機能
同時接続クライアント数は、3 クライアントまでです。

■ホームメディアリンク機能
・1 台の LAN DISK Home とホームメディアリンククライアントは、2 クライアントまで接続できます。
・同時再生は 2 台まで対応しています。複数のホームメディアリンククライアントで接続する場合、トータルで 2 台まで再生できます。

共有、ユーザの設定時の注意

■本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる［disk］、[dlna]、[itunes]という共有フォルダがあります。
新規に共有フォルダを作成することもできます。

■本製品の LAN 接続モードでは、管理者はすべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。（Windows パソコンからアクセスする場合のみ）
セキュリティのため、共有フォルダにアクセス時のパスワードを定期的に変更することをおすすめします。
また、USB 接続モードでは全ての共有フォルダにアクセスできますのでご注意ください。

■本製品に作成する共有フォルダには、［全てのユーザー］［指定ユーザー］でアクセス制限を設定することができます。

■本製品に登録可能なユーザー数は最大８個まで、共有フォルダ数は最大 16 個までとなります。

■ユーザー名には数字のみの名称は設定できません。

■コンピュータ名（LANDISK）に、数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。

■共有名に、スペースは使用できません。

■共有名、ユーザー名(小文字のみ)、パスワードはすべて、半角英数字(ASCII 文字)のみが有効となります。
※設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。【文字制限一覧】（124ページ）

USB[HOST]ポートへ USB 機器を接続する際の注意

■USB[HOST]ポートに接続できる機器については、【接続できる USB 機器】（119ページ）をご覧ください。

■USB[HOST]ポートには、対応機器以外の機器は接続しないでください。
※USB ハブも接続できません。最新の対応 USB 機器は、弊社ホームページ http://www.iodata.jp/をご覧ください。

■デジカメコピー機能や USB クイックコピー機能使用時の注意
・コピー開始、終了、エラーはブザーや[STATUS]ランプで確認してください。
　コピー正常時：　ピッピッピッというブザー音とともに[STATUS]ランプが青点灯
　コピー失敗時：　ピーピーピーというブザー音とともに[STATUS]ランプが赤点滅
・必ず、転送が完了した後、 転送内容をパソコンなどによりご確認ください。写真などのデータが消失した場合でも、弊社では補償は一切いたしかねます。

■ファイルコピー中に、USB[HOST]ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。本製品の[STATUS]ランプを確認の上、電源を切ってください。

■デジカメコピーやクイックコピーでは、マスストレージもしくは PTP 転送に対応し、FAT または NTFS 形式のデジカメ、USB メモリーが使用可能です。

■PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。

■マスストレージモードと PTP モードを切り替えできるデジカメは、マスストレージモードでご利用ください。

■デジカメバックアップ機能で使用できる外付ハードディスクは FAT フォーマットのみとなります。

USB 接続モード時のご注意

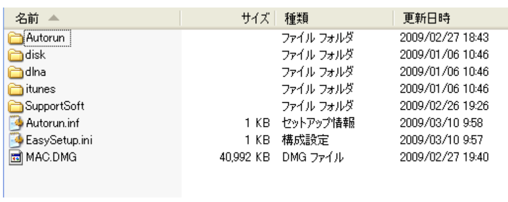
■USB 2.0 インターフェイスでの動作は、弊社製 USB 2.0 インターフェイスにおいて確認を行っております。
その他のインターフェイスとの動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。

■USB 2.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS が USB 2.0 に対応している必要があります。
対応していない場合は、USB 1.1 として動作します。

■[POWER]ボタンは押さないでください。本製品を添付の USB ケーブルでパソコンに接続する場合、自動的に電源が入ります。

■お使いの環境によっては、本製品を動作させるための十分な電源が足りない場合があります。
このような場合は、添付の AC アダプターを接続してご利用ください。

■本製品を添付の USB ケーブルでパソコンに接続する場合、
右の画面のようなフォルダおよびファイルが表示されます。
次のフォルダおよびファイルは消去しないでください。
※本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。
　[Autorun]、[disk]、[dlna]、[itunes]、[SupportSoft]、
　[Autorun.inf]、[EasySetup.ini」、[MAC.DMG]



■USB 接続モードで保存したデータを、LAN 接続モードでも使用したい場合は、[disk],[dlna],[itunes]フォルダにデータを保存してください。[dina]フォルダは DLNA クライアント公開用の共有フォルダです。DLNA で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に、他の DLNA 対応機器から中のデータを参照できます。
[itunes]フォルダは iTunes サービス公開用の共有フォルダです。iTunes で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に他のパソコンの iTunes からデータを参照できます。

■USB 接続モード時は、USB[HOST]ポートに USB 機器を接続しても使用できません。

■Mac OS でご使用の場合、USB 接続モード時は読み取り専用となります。Mas OS で USB 接続する際は、OS 標準 NTFS ドライバの仕様で動作します。

準備編

セットアップ

セットアップする

本製品の使い方を選択してください。

USB 接続モードで使用する場合

【USB 接続をする場合】（28ページ）をご覧ください。

次の制限があります。
Mac OS で使用する場合、読み取り専用になります。

LAN 接続モードで使用する場合

ご使用の OS により設定方法が異なります。該当する OS のページをご覧になり、セットアップしてください。	
Windows の場合	【Windows から設定する（EasySetup）】（12ページ）をご覧ください。 ※EasySetup にて設定する方法です。（初心者向け）
	【Windows から設定する（Magical Finder）】（15ページ）をご覧ください。 ※Magical Finder にて設定する方法です。（上級者向け）
Mac OS の場合 →	【Mac OS から設定する】（23ページ）をご覧ください。

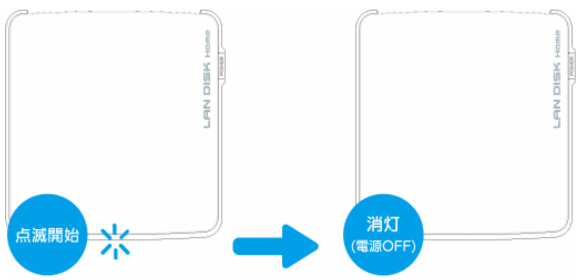
どちらか一方のみ行ってください。
- ●いったんネットワークに導入すると、他の OS からも利用できます。
- ●Windows の場合は、「EasySetup による設定」と「Magical Finder による設定」がありますが、どちらか一方のみ行ってください。

重要　電源を切るときは…（LAN 接続モードの場合のみ）

1 [POWER]ボタンを押します。
→「ピッ」と音が鳴り、［STATUS］ランプが点滅します。



2 [STATUS]ランプが消灯し、自動的に電源が切れます。



長期間使用しない場合
AC アダプターをコンセントから外しておくことをおすすめします。

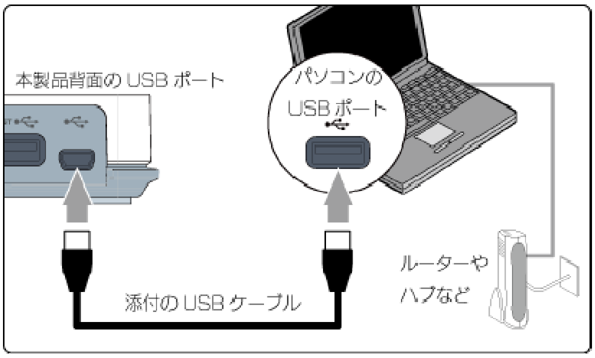
Windows から設定する（EasySetup）

①EasySetup を行う

USB でつないでわずか 1 クリックでネットワークの初期設定が完了します。USB で接続せず、はじめから LAN で接続して設定する場合は、【Windows から設定する（Magical Finder）】（15ページ）をご覧ください。

1 パソコンがルーターやハブなどのネットワーク機器に接続されていることを確認し、パソコンを起動します。

2 本製品添付の USB ケーブルをパソコンと本製品の USB ポートにつなぎます。 本製品の電源が自動で ON になります。

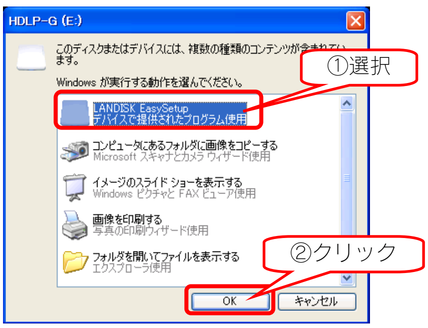


注意 ●電源ボタンは押さないでください。
USB 接続の場合、自動で電源が入ります。

本製品が正常に認識されない場合

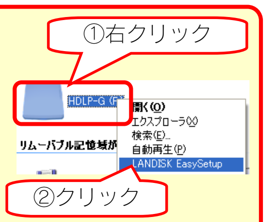
本製品添付の AC アダプターを接続してください。

3 本製品が認識されると画面が表示されますので、[LANDISK EasySetup]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



画面が表示されない場合

マイコンピュータを開き、本製品を右クリックして、[LANDISK EasySetup]を選択してください。



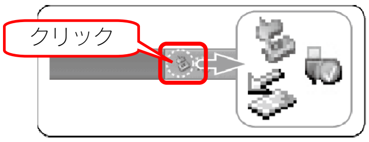
4 [セットアップ開始]ボタンをクリックします。
パソコンが接続されているネットワーク構成に合わせて最適な設定がされます。



5 設定が完了する次の画面が開きますので、設定内容を確認し、[完了]をクリックします。
※設定内容を変更する場合は、[自分で設定]ボタンをクリックし変更してください。
→デスクトップにショートカットが作成されます。



6 本製品の[STATUS]ランプが点滅していないことを確認し、画面右下のアイコンをクリックします。
その後、「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断し
てください。



取り外しができない場合

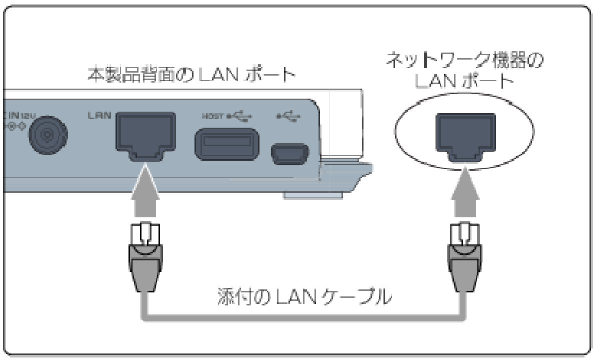
起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

7 本製品をパソコンから取り外します。

②ネットワークに導入する

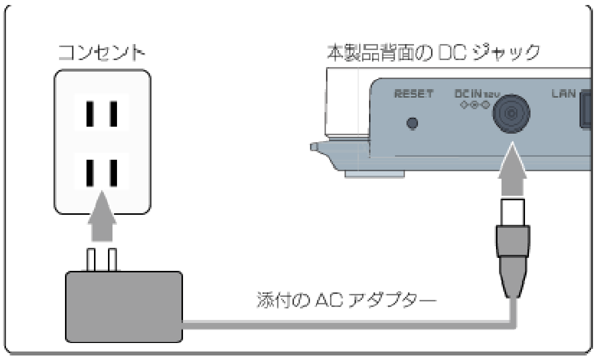
1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

2 本製品添付のLANケーブルを本製品背面のLANポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。



注意 ●必ず、LANケーブルを先に接続してください。
LANケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

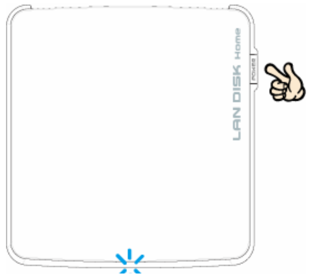
3 本製品添付のACアダプターをコンセントに接続します。



注意 ●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

（重要）電源の切り方
【重要　電源を切るときは…】（11ページ）をご覧ください。

4 本製品側面の[POWER]ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴り[STATUS]ランプが青色に点滅します。
完全に起動するまでお待ちください。



以下のような画面が表示された



【EasySetupを実行したら選択画面が表示された】（141ページ）をご確認ください。

5 [STATUS]ランプを確認します。
①点滅している[STATUS]ランプが約2分ほどで青色点灯となります。
②起動が完了すると、「ピー」と音がなります。

③ネットワークから本製品にアクセスする

1 デスクトップ上のショートカットをクリックなどで起動すると、本製品の共有フォルダの一覧が表示されます。



2 表示された[disk]フォルダ内にファイルを書き込むことができます。



上記手順でアクセスできない
【③Windows から本製品にアクセスする】（20ページ）をご覧ください。

注意

●USB 接続でも使用する場合のご注意

LAN 接続モードで保存したデータを、USB 接続モードでも使用したい場合は、[disk],[dlna],[itunes]フォルダにデータを保存してください。

[dlna]フォルダは DLNA クライアント公開用の共有フォルダです。DLNA で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に、他の DLNA 対応機器から中のデータを参照できます。

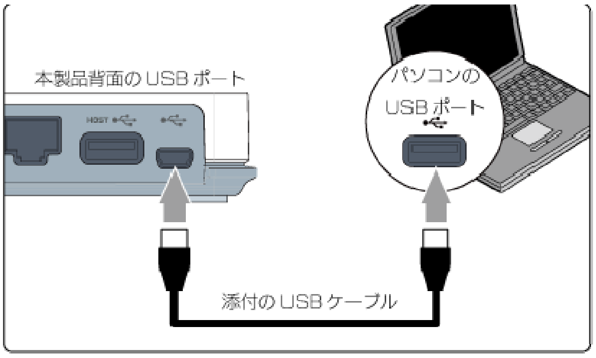
[itunes]フォルダは iTunes サービス公開用の共有フォルダです。iTunes で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に他のパソコンの iTunes からデータを参照できます。

Windows から設定する（Magical Finder）

①設定ソフトをインストールする(Windows)

1 設定に使用するパソコンを起動します。

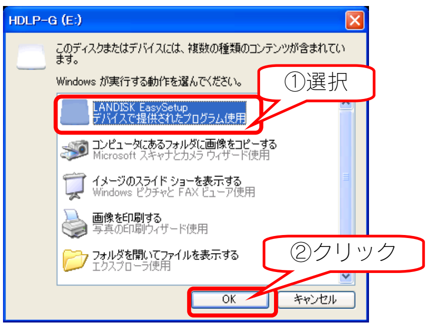
2 本製品添付の USB ケーブルをパソコンと本製品の USB ポートにつなぎます。 本製品の電源が自動で ON になります。



注意 ●電源ボタンは押さないでください。
USB 接続の場合、自動で電源が入ります。

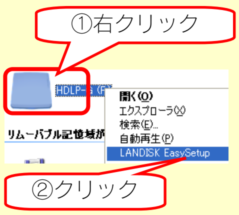
本製品が正常に認識されない場合
本製品添付の AC アダプターを接続してください。

3 本製品が認識されると画面が表示されますので、[LANDISK EasySetup]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

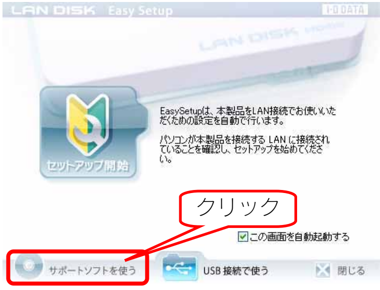


画面が表示されない場合

マイコンピュータを開き、本製品を右クリックして、[LANDISK EasySetup]を選択してください。



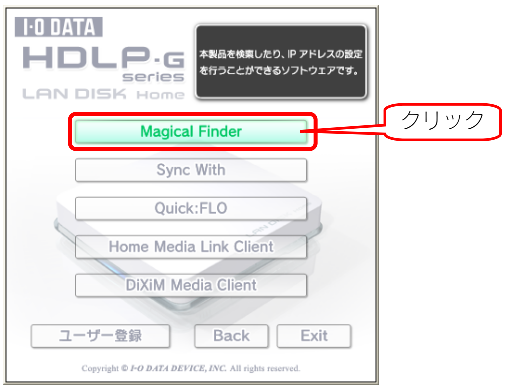
4 [サポートソフトを使う]をクリックします。



5 [サポートソフトインストール]をクリックします。

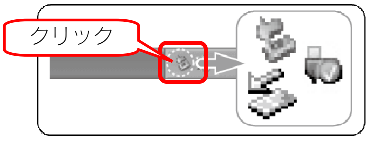


6 [Magical Finder]をクリックします。
画面の指示にしたがってインストールをしてください。



●ソフトウェア一覧 必要に応じて各種ソフトウェアをインストールしてください。	
Magical Finder	本製品を検索したり、IP アドレスの設定を行うことができるソフトウェアです。
Sync With	指定された２つのフォルダの内容を更新したり、一致させることができるソフトウェアです。【Sync with】（68ページ）を参照してください。
Quick:FLO	10 コマのサムネイルを表示し、目的の動画を探しやすくする簡単動画管理ソフトです。
Home Media Link Client	本製品の DLNA サービスにコピーしたビデオ、ミュージック、フォトコンテンツをパソコンから再生できるソフトウェアです。
DiXiM Media Client	DiXiM Media Client などを使って、遠い場所にある本製品のコンテンツをインターネット越しに再生できるようにするソフトウェアです。

6 本製品の[STATUS]ランプが点滅していないことを確認し、画面右下のアイコンをクリックします。
その後、「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。



取り外しができない場合

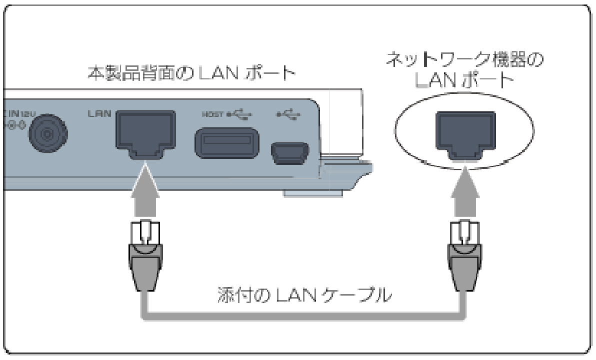
起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

7 本製品をパソコンから取り外します。

②本製品をネットワークに導入する(Windows)

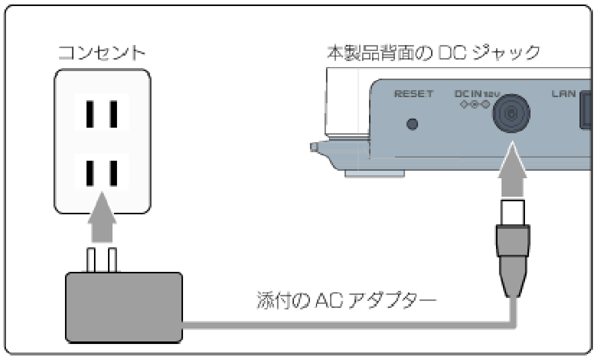
1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

2 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。



注意
●必ず、LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

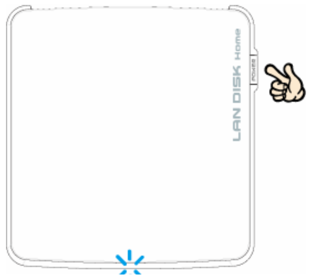
3 本製品添付の AC アダプターをコンセントに接続します。



注意
●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

（重要）電源の切り方
【重要　電源を切るときは…】（11ページ）をご覧ください。

4 本製品側面の[POWER]ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴り[STATUS]ランプが青色に点滅します。
完全に起動するまでお待ちください。

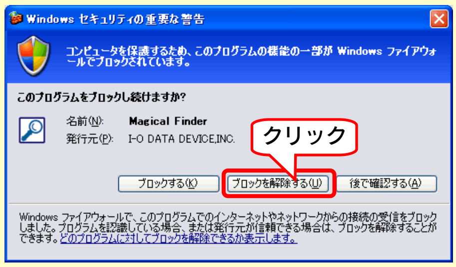


5 [STATUS]ランプを確認します。
①点滅している[STATUS]ランプが約 2 分ほどで青色点灯となります。
②起動が完了すると、「ピー」と音がなります。

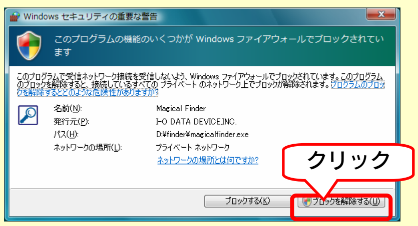
6 ネットワークに接続されたパソコンを起動します。

7 インストールした[Magical Finder]を起動します。

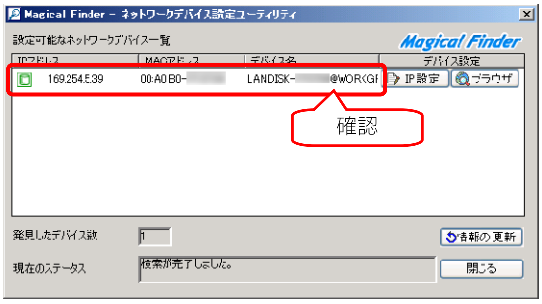
注意
●Windows XP をお使いで以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。



●Windows Vista®をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後[ユーザカウント制御]の表示がされた場合は、「続行する」をクリックしてください。



8 自動で本製品が検索されます。

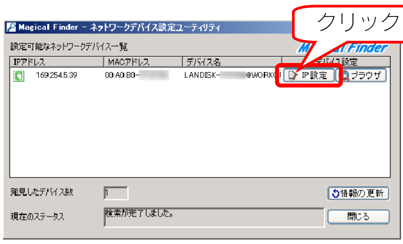


本製品が検索されない！

対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。

対処２：以下の個所を参照してください。
144ページの【困ったときには】

9 本製品の[STATUS]ランプの色を確認してください。

青色で点灯している	次に、13 へお進みください。
赤く点滅している	[IP 設定]ボタンをクリックします。 次に、10 へお進みください。 

注意

●ネットワーク内に DHCP サーバーがない場合、［STATUS］ランプは赤く点滅します。

ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

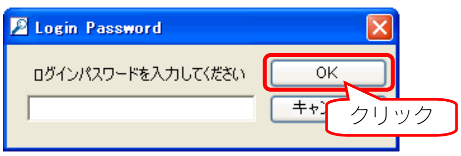
①いったん、本製品の［電源］ボタンを押して本製品の電源を切ります。

②DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器が LAN ケーブルで正しく接続されていることを確認します。

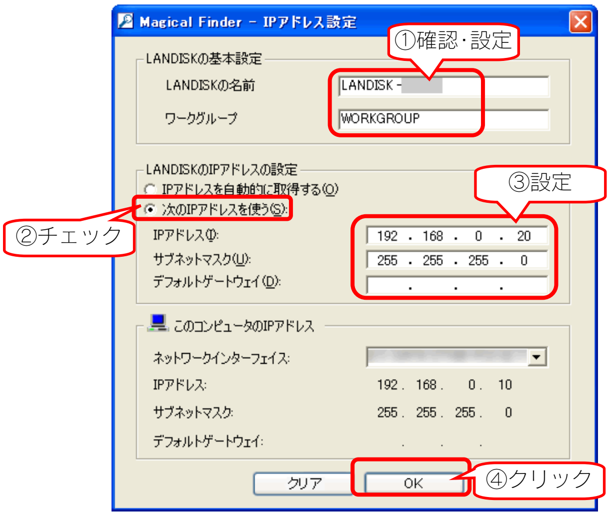
③［電源］ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

※DHCP サーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンの IP アドレス】の項をご覧ください。

10 何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。

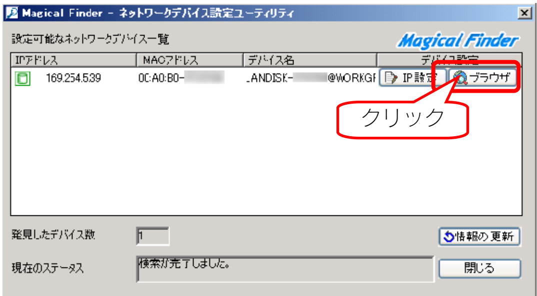


11 ［LANDISK の名前］［ワークグループ］を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、［OK］ボタンをクリックします。
※画面の詳細は次ページを参照してください。



12 ［OK］ボタンをクリックします。

13 ［ブラウザ］ボタンをクリックします。



14 何も入力せずに、[ログイン]ボタンをクリックします。



15 しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。［はじめて設定］をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。



▼［IP アドレス設定］画面（Windows の場合）

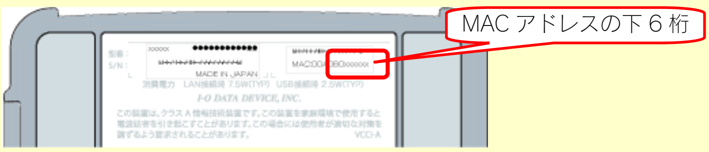
LANDISK の基本設定		
LANDISK の名前	ネットワーク上（［マイネットワーク］あるいは［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名称です。【注意：[LANDISK]の名前について】を参照してください。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。 ※変更する場合は、必ずメモしてください。	
ワークグループ	"ワークグループ"はパソコンの"ワークグループ名"と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。） ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。 ※使用できる文字には制限があります。 【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。	
LANDISK の IP アドレス設定		
IP アドレスを自動的に取得する	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合にチェックします。	
次の IP アドレスを使う	固定の IP アドレスを使う場合にチェックします。	
	IP アドレス	本製品に設定する IP アドレスを入力します。 ※使用しているネットワークのセグメント(IP アドレスのグループ)をご確認の上、他のネットワーク機器やパソコンの IP アドレスと重複しないように設定してください。
	サブネットマスク	パソコンと同じサブネットマスクを入力します。 画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［サブネットマスク］と同じ値を入力します。
	デフォルトゲートウェイ	パソコンと同じデフォルトゲートウェイを入力します。 画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［デフォルトゲートウェイ］と同じ値を入力します。表示されていない場合、入力する必要はありません。
このコンピュータの IP アドレス		
ネットワークインターフェイス	パソコンのネットワークインターフェイス（LAN アダプター名など）を表示します。	
IP アドレス	パソコンの IP アドレスを表示します。	
サブネットマスク	パソコンのサブネットマスクを表示します。	
デフォルトゲートウェイ	パソコンのデフォルトゲートウェイを表示します。通常、ルーターの IP アドレスが設定されています。設定されていない場合、表示されません。	

注意

●[LANDISK]の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに[LANDISK-xxxxxx]の名前が設定されてます。（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）

MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。※MAC アドレスは、0～9 の数字と A～F までのアルファベットで構成されています。



③Windows から本製品にアクセスする

アクセス方法は OS により異なりますので、下記のご使用の OS を参照してください。

・Windows Vista®からアクセスする（本ページ）

・Windows XP からアクセスする（21ページ）

・Windows 2000 からアクセスする（22ページ）

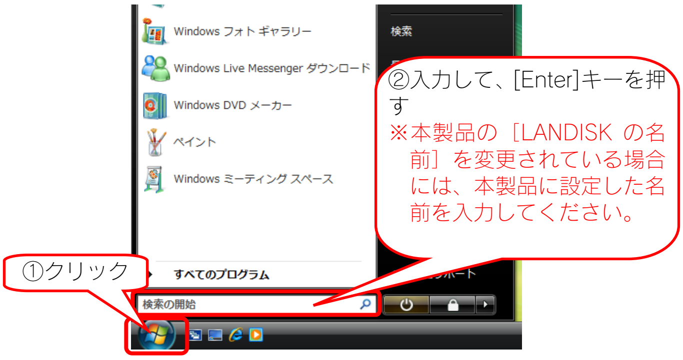
Windows Vista®からアクセスする

［スタート］をクリックし、［検索の開始］をクリック後、「¥¥landisk-xxxxxx」と入力し[Enter]キーを押します。

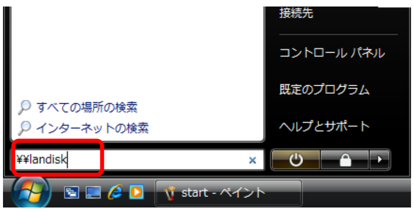
※xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁です。

【注意：[LANDISK]の名前について】（19ページ）を参照してください。

※本製品の「LANDISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。



▼

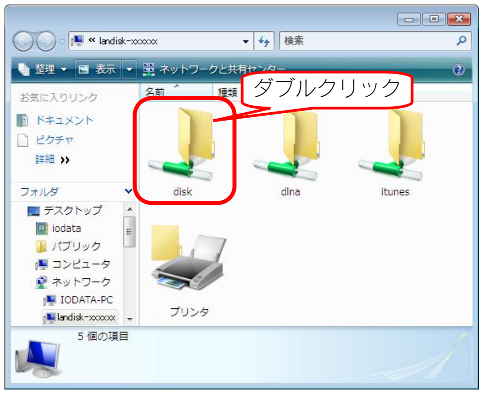


LANDISK-xxxxxx が検索されない！

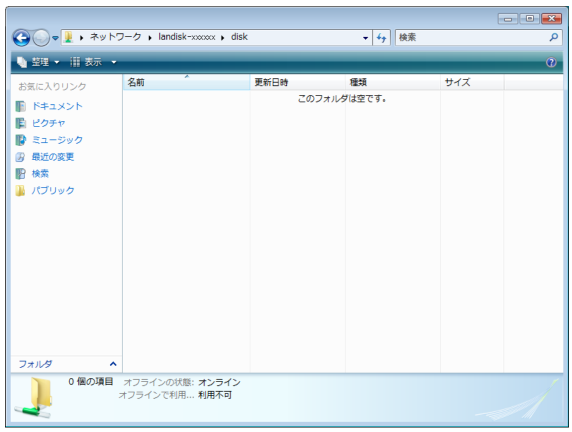
⇒以下の個所を参照してください。

【困ったときには】の153ページ

2 本製品の共有フォルダの一覧が表示されます。
[disk]フォルダをダブルクリックします。



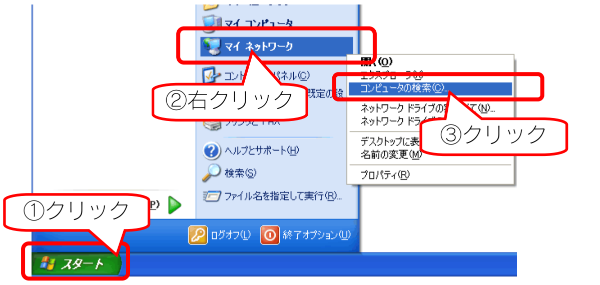
3 表示された［disk］フォルダ内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザと共有することができます。



正常に共有フォルダのウィンドウが表示されたら、共有フォルダとして使用できます。

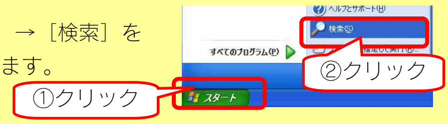
Windows XP からアクセスする

1 ［スタート］→［マイネットワーク］→［コンピュータの検索］をクリックします。

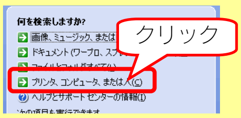


表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

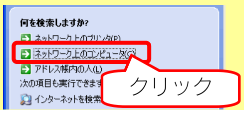
① ［スタート］→［検索］をクリックします。



②" 何を検索しますか？" で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。



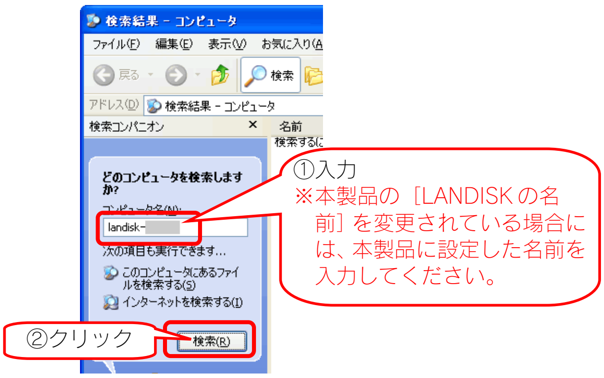
③" 何を検索しますか？" で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。



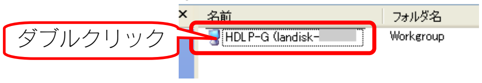
2 [コンピュータ名]に「landisk-xxxxxx」と入力し、[検索]ボタンをクリックします。

※xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁です。

【注意：[LANDISK]の名前について】（19ページ）を参照してください。



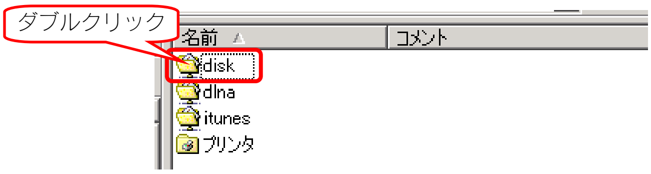
3 「HDLP-G」が検索されますので、ダブルクリックします。
※表示のされ方は Windows の設定により異なります。



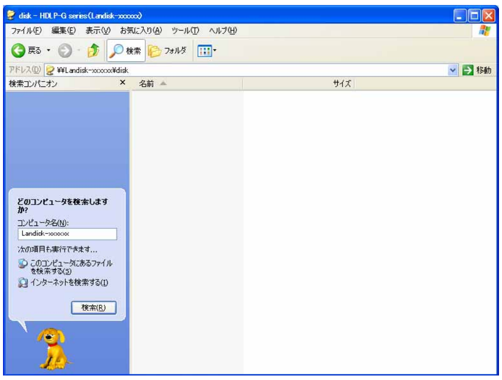
２つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。
Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、２つの LAN DISK が発見されることがあります。
２つのうちどちらかをダブルクリックしてください。
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の153ページ

4 [disk]フォルダをダブルクリックします。



5 表示された［disk］フォルダ内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザと共有することができます。



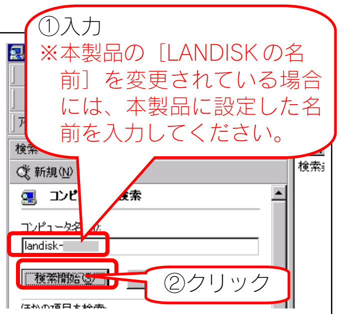
正常に共有フォルダのウィンドウが表示されたら、共有フォルダとして使用できます。

Windows 2000 からアクセスする

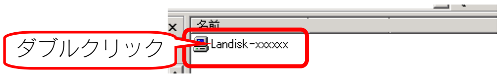
1 [マイネットワーク]を右クリックして、[コンピュータの検索]をクリックします。



2 [コンピュータ名]に「landisk-xxxxxx」と入力し、[検索]ボタンをクリックします。
※xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁です。
【注意：[LANDISK]の名前について】（19ページ）を参照してください。

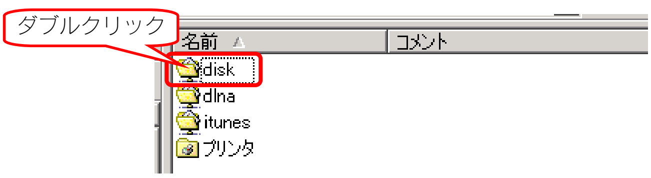


3 「Landisk-xxxxxx」が検索されますので、ダブルクリックします。
※表示のされ方は Windows の設定により異なります。

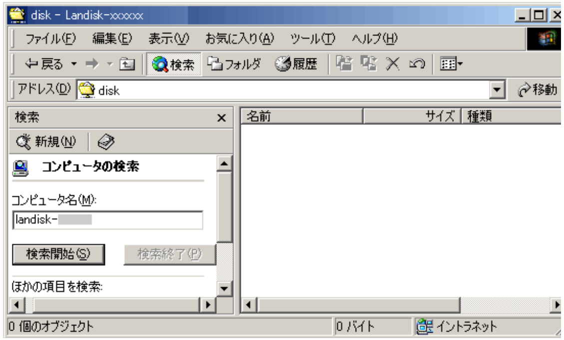


LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の153ページ

4 [disk]フォルダをダブルクリックします。



5 表示された［disk］フォルダ内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザと共有することができます。



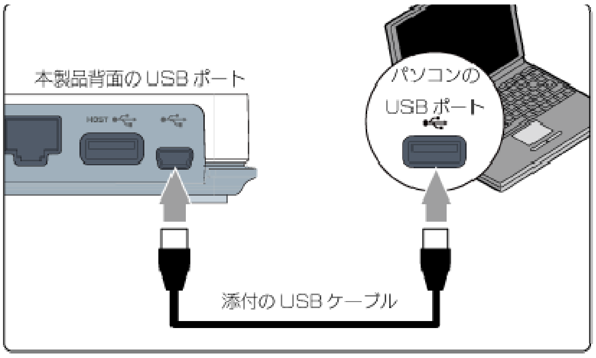
正常に共有フォルダのウィンドウが表示されたら、共有フォルダとして使用できます。

Mac OS から設定する

①設定ソフトをインストールする(Mac OS)

1 設定に使用するパソコンを起動します。

2 本製品添付のUSBケーブルをパソコンと本製品のUSBポートにつなぎます。 本製品の電源が自動で ON になります。

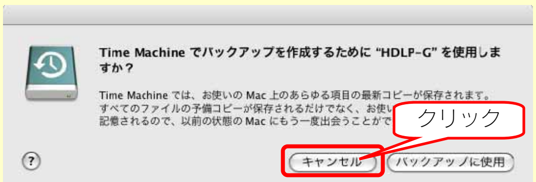


注意 ●電源ボタンは押さないでください。
USB 接続の場合、自動で電源が入ります。

本製品が正常に認識されない場合

本製品添付の AC アダプターを接続してください。

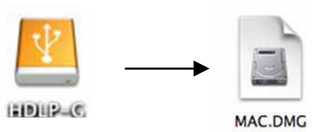
Time Machine 機能の画面が表示された場合
本製品を Mac OS パソコンに接続した際に
TimeMachine 機能の画面が表示された場合は、
[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
※TimeMachine 機能でのご利用は保証外となります。
有効にした場合は、**【困ったときには】の148ページをご覧ください。**



注意 ●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。

故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

3 デスクトップ上に表示された[HDLP-G]アイコン→[MAC.DMG]ファイルを開きます。



4 表示された画面内の[Magical Finder]アイコンを[アプリケーション]フォルダへドラック＆ドロップします。
※必要に応じて[画面で見るマニュアル]をデスクトップなどにドラック＆ドロップしてください。



5 本製品の[STATUS]ランプが点滅していないことを確認し、[HDLP-G]アイコン（下記イラスト）をゴミ箱へドラック＆ドロップします。



6 [HDLP-G]アイコン（下記イラスト）をゴミ箱へドラック＆ドロップします。

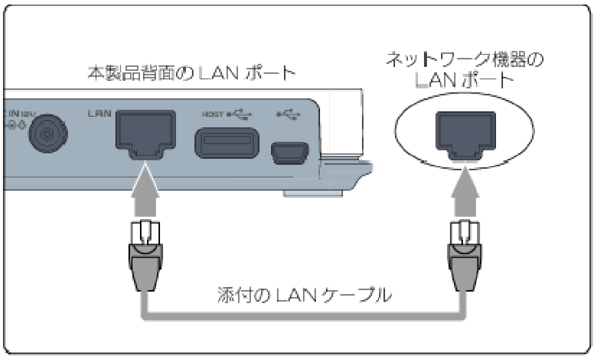


7 本製品をパソコンから取り外します。

②本製品をネットワークに導入する（Mac OS）

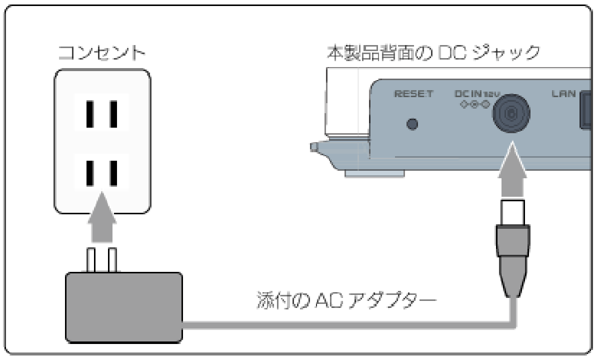
1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

2 本製品添付のLANケーブルを本製品背面のLANポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。



注意
●必ず、LANケーブルを先に接続してください。
LANケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

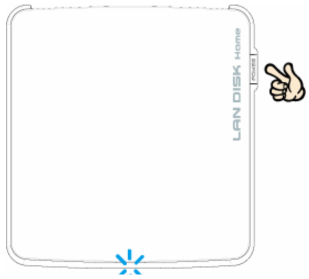
3 本製品添付のACアダプターをコンセントに接続します。



注意
●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

（重要）電源の切り方
【重要　電源を切るときは…】（11ページ）をご覧ください。

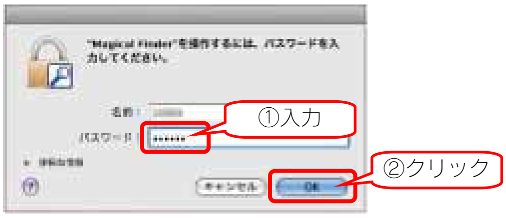
4 本製品側面の[POWER]ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴り[STATUS]ランプが青色に点滅します。
完全に起動するまでお待ちください。
※起動が完了すると、「ピー」と音がなります。



5 [ハードディスク]アイコン→[アプリケーション]フォルダー→[Magical Finder]の順で開きます。



6 お使いのパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

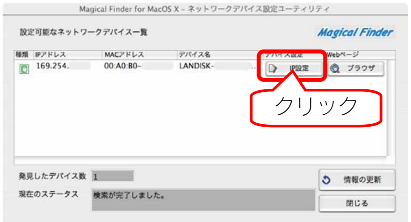


7 自動で本製品が検索されます。
本製品の[STATUS]ランプの色を確認してください。



本製品が検索されない！

対処１：30秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２：以下の個所を参照してください。
144ページの【困ったときには】

青色で点灯している	次に、11 へお進みください。
赤く点滅している	[IP 設定]ボタンをクリックします。 次に、8 へお進みください。 

注意

●ネットワーク内に DHCP サーバーがない場合、［STATUS］ランプは赤く点滅します。

ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

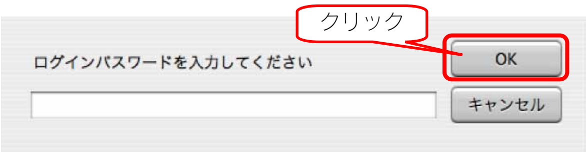
①いったん、本製品の［電源］ボタンを押して本製品の電源を切ります。

②DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器が LAN ケーブルで正しく接続されていることを確認します。

③［電源］ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

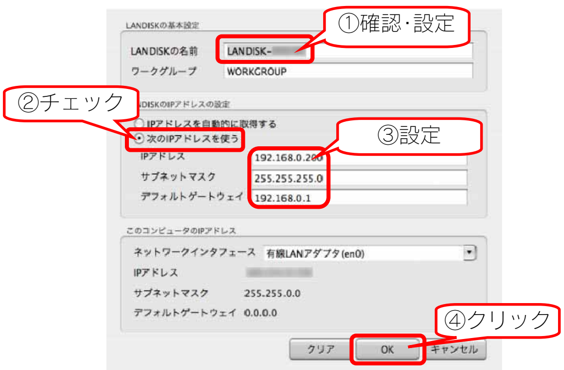
※DHCP サーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンの IP アドレス】の項をご覧ください。

8 何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。



9 ［LANDISK の名前］［ワークグループ］を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、［OK］ボタンをクリックします。

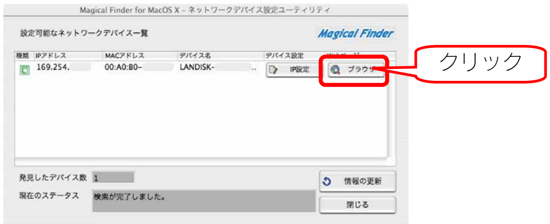
※画面の詳細は次ページを参照してください。



10 ［OK］ボタンをクリックします。



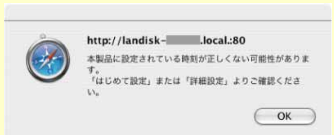
11 [ブラウザ]ボタンをクリックします。



12 何も入力せず[ログオン]ボタンをクリックします。



以下の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻と実際の時刻にズレがあります。設定画面から時刻設定を行ってください。



13 しばらくすると、設定画面の起動画面が表示されます。［はじめて設定］をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。



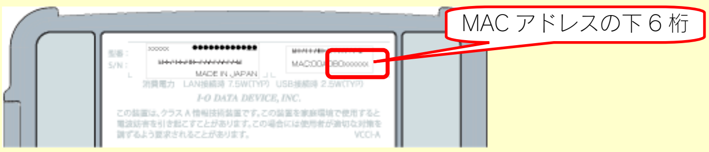
▼［IP アドレス設定］画面（Mac OS の場合）

LAN DISK の基本設定	
LANDISK の名前	ネットワーク上（［マイネットワーク］あるいは［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名称です。【注意：[LANDISK]の名前について】を参照してください。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。 ※変更する場合は、必ずメモしてください。
ワークグループ	"ワークグループ"はパソコンの"ワークグループ名"と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。） ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。 ※使用できる文字には制限があります。 【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。
IP アドレス	画面下の「■このコンピュータの IP アドレス」内の「IP アドレス」を参考に、末尾の値がパソコンや他のネットワーク機器と重複しない値に設定します。
サブネットマスク	画面下の「■このコンピュータの IP アドレス」内の「サブネットマスク」と同じ値を設定します。
デフォルトゲートウェイ	画面下の「■このコンピュータの IP アドレス」内の「デフォルトゲートウェイ」と同じ値を設定します。 ※値が表示されていない場合は設定を空欄にします。

注意 ●[LANDISK]の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに[LANDISK-xxxxxx]の名前が設定されてます。（xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁）

MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。※MAC アドレスは、0～9 の数字と A～F までのアルファベットで構成されています。



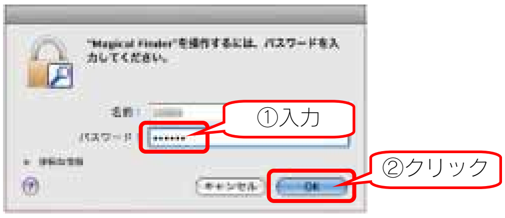
③Mac OS から本製品にアクセスする

[ステップ 1]
本製品の IP アドレスを確認します

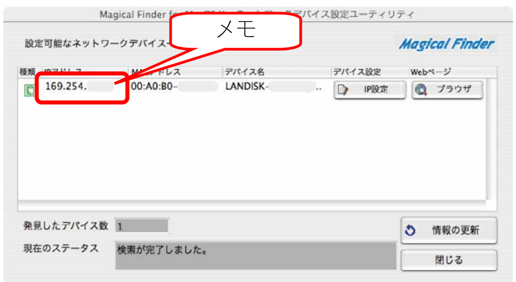
1 [ハードディスク]アイコン→[アプリケーション]フォルダ→[Magical Finder]の順で開きます。



2 お使いの Macintosh に設定してあるパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



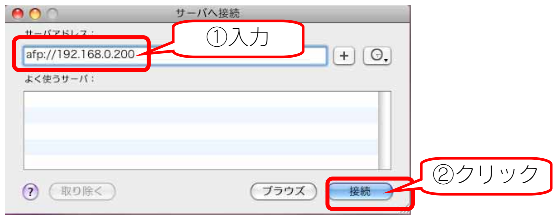
3 本製品の IP アドレスをメモしてください。
[IP アドレス]の項目に表示されている内容が、本製品の IP アドレスです。



[ステップ 2]
IP アドレスを指定してアクセスします

1 [移動]メニュー→[サーバへ接続]をクリックします。

2 [サーバへ接続]画面が表示されますので、以下を[サーバーアドレス]へ入力後、[接続]ボタンをクリックします。
afp://本製品の IP アドレス/
※画面は、本製品の IP アドレスが［192.168.0.200］での例です。



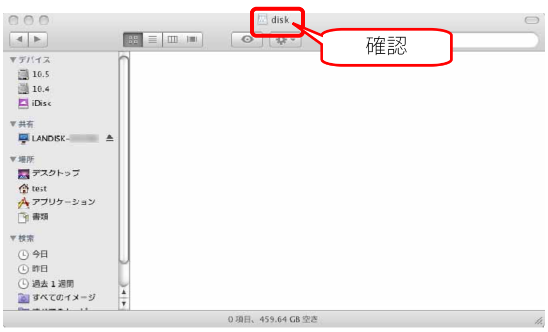
3 [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。



4 [disk]を選択し、[OK]をクリックします。



5 本製品の共有フォルダ（[disk]）が表示されます。

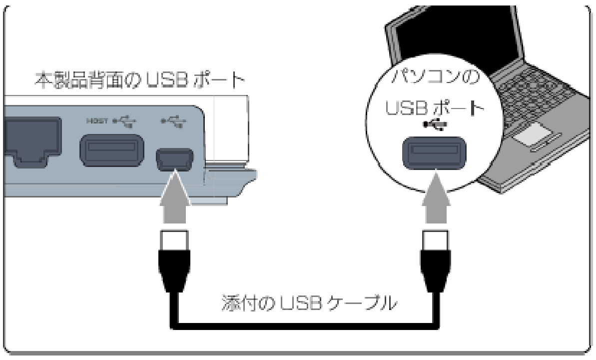


USB 接続をする場合

パソコンに接続する

1 パソコンを起動します。

2 本製品添付のUSBケーブルをパソコンと本製品のUSBポートにつなぎます。 本製品の電源が自動で ON になります。

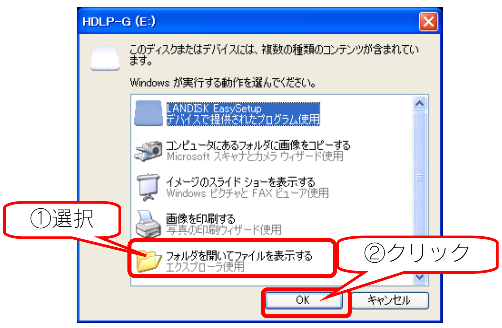


注意
●電源ボタンは押さないでください。
USB 接続の場合、自動で電源が入ります。

本製品が正常に認識されない場合

本製品添付の AC アダプターを接続してください。

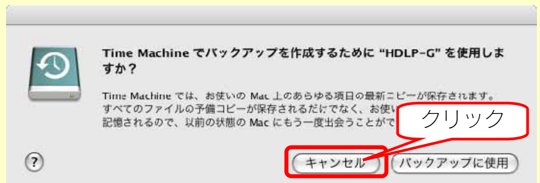
3 外付けハードディスクとして認識されます。
●Windows の場合
本製品が認識されると画面が表示されますので、
[フォルダを開いてファイルを表示する]を選択し、
[OK]ボタンをクリックします。



●Mac OS の場合
デスクトップ上に表示された[HDLP-G]を開きます。



Time Machine 機能の画面が表示された場合
本製品を Mac OS パソコンに接続した際に
TimeMachine 機能の画面が表示された場合は、
[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
※TimeMachine 機能でのご利用は保証外となります。
有効にした場合は、**【困ったときには】の148ページをご覧ください。**

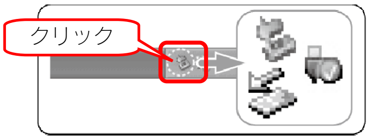


注意
●次の制限があります。
Mac OS で使用する場合、読み取り専用になります。

パソコンから取り外す場合

Windows の場合

1 本製品の[STATUS]ランプが点滅していないことを確認し、画面右下のアイコンをクリックします。
その後、「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。



取り外しができない場合

起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

2 本製品をパソコンから取り外します。

Mac OS の場合

1 本製品の[STATUS]ランプが点滅していないことを確認し、[HDLP-G]アイコンをゴミ箱へドラック＆ドロップします。



2 本製品をパソコンから取り外します。

設定メニューを開く

本製品の設定メニューの開き方を説明します。

ご使用の OS により方法が異なります。該当する OS のページをご覧ください。	
Windows の場合	【Windows から開く（EasySetup）】（31ページ）をご覧ください。 ※EasySetup にて設定した場合
	【Windows から開く（Magical Finder）】（32ページ）をご覧ください。 ※Magical Finder にて設定した場合
Mac OS の場合 →	【Mac OS から開く】（33ページ）をご覧ください。

Windows から開く（EasySetup）

1 デスクトップ上に作成された[LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面]アイコンを起動します。



2 ［管理者パスワードの入力］画面が表示されます。
管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、［OK］ボタンをクリックします。



「管理者パスワードが違います」と表示された！
対処：以下をご覧ください。
【困ったときには】の161ページ

3 しばらくお待ちになると、以下の画面が表示されます。

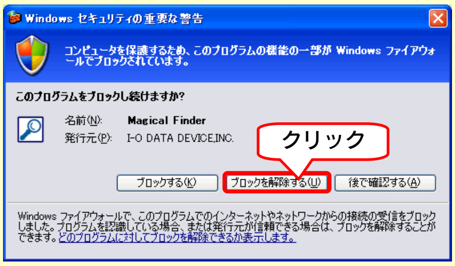


Windows から開く (Magical Finder)

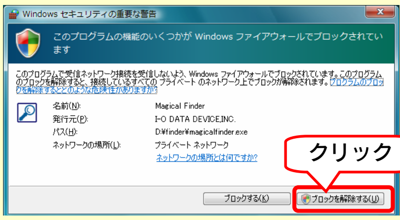
1 USB 接続モードでインストールしたサポートソフト{Magical Finder}を起動します。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「I-O DATA」→「Magical Finder」をクリックします。
サポートソフトのインストール方法は、次のページをご確認ください。
【①設定ソフトをインストールする】(15ページ)

注意

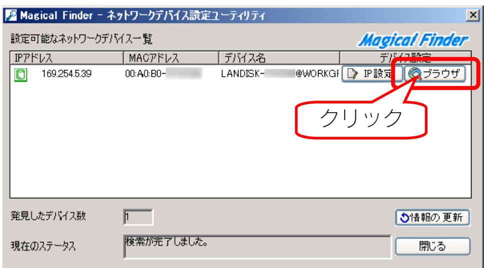
●Windows XP をお使いで以下の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] をクリックしてください。



●Windows Vista®をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後[ユーザカウント制御]の表示がされた場合は、「続行する」をクリックしてください。



2 自動で本製品が検索されますので、[ブラウザ]ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 ～2 分かかる場合があります。



?

本製品が検索されない!

対処1:30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処2:以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の144ページ

3 [管理者パスワードの入力]画面が表示されます。
管理者パスワードを入力後(出荷時はパスワードは設定されていません)、[OK]ボタンをクリックします。



?

「管理者パスワードが違います」と表示された!
対処:以下をご覧ください。
【困ったときには】の161ページ

4 しばらくお待ちになると、以下の画面が表示されます。

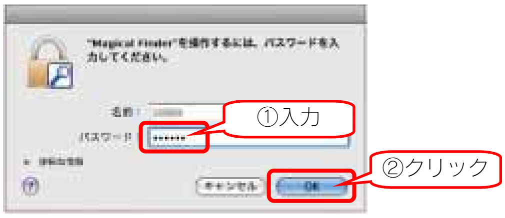


Mac OS から開く

1 インストールしたサポートソフト{Magical Finder}を起動します。
[ハードディスク]アイコン→[アプリケーション]フォルダ→[Magical Finder]の順で実行します。



2 お使いの Macintosh に設定してあるパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



3 自動で本製品が検索されますので、[ブラウザ]ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 ～2 分かかる場合があります。



本製品が検索されない！

対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２：以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の144ページ

4 ［管理者パスワードの入力］画面が表示されます。
管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、［OK］ボタンをクリックします。



「管理者パスワードが違います」と表示された！
対処：以下をご覧ください。
【困ったときには】の161ページ

次の画面が表示された



対処：本製品に設定されている時刻と実際の時刻にズレがあります。設定画面から時刻設定を行ってください。

5 しばらくお待ちになると、以下の画面が表示されます。



設定画面について

はじめて設定

[はじめて設定]では、本製品をご利用いただく際に最低限必要な設定を簡単に行うことができます。

1 ［はじめて設定］をクリックします。



2 本製品の名前を変えることができます。
「LANDISK」などお好きな名前に変更します。
設定したら、［次へ］をクリックします。



3 本製品の IP アドレスを設定できます。
初期設定値では自動的に IP アドレスを取得する設定になっていますが、IP アドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。



4 時刻設定と省電力モードの設定ができます。
時刻設定は同期するにチェックをつけます。
省電力モードを使用する場合は、[有効]にチェックを付け、省電力モードに入るまでの時間を選択します。
※省電力モードとは、一定時間アクセスがない場合にハードディスクのモーターを停止させ、電力消費を抑えるモードです。液晶テレビなどに直結させる場合は省電力モードを無効にしてください。



5 設定した内容の確認をして、［設定する］ボタンをクリックします。
設定中は電源を切らないでください。



次の画面が表示されたら、設定完了です。



詳細設定

［詳細設定］では、本製品の各種設定ができます。詳細設定画面はパソコンからのアクセスのみサポートしています。

1 ［詳細設定］をクリックします。



2 本製品の設定画面が表示されます。
以下の表をご覧ください。



項目	設定内容	参照ページ
ネットワーク	本製品のネットワーク設定をします。	128
共有フォルダ一覧	共有フォルダを表示します。	128
DLNA設定	DLNAに関する設定をします。	129
iTunes設定	iTunesに関する設定をします。	129
デジカメコピー設定	デジカメコピーに関する設定をします。	129
iobb.net設定	ダイナミックDNSサービス「iobb.net」についての設定をします。	130
リモートリンク	リモートアクセスの設定をします。	130
マイウェブサーバー	マイウェブサーバーの設定をします。	130
ログ表示	本製品のログを表示します。	130
時刻設定	時刻の設定をします。	131
ディスク	ディスクに関する設定をします。	131
メール基本設定	本製品のログなどを送信するメールの設定を行います。	132
メールイベント設定	システムログ、お知らせ通知などのメール送信先を設定します。	132
管理者パスワードの変更	管理者パスワードを設定します。	133
新しいユーザの登録	新規ユーザを追加します。	133
新しい共有フォルダの作成	新規フォルダを作成します。	134
システム初期化	システムの初期化を行います。	135
ファームウェアの更新	ファームウェアの更新をします。	135
システムシャットダウン	システムのシャットダウンや再起動をします。	135

フォトアルバム

アルバムを登録する

［フォトアルバム］では、デジカメコピー機能で取り込んだ写真データをアルバムに登録したり、見ることができます。

1 ［フォトアルバム］をクリックします。



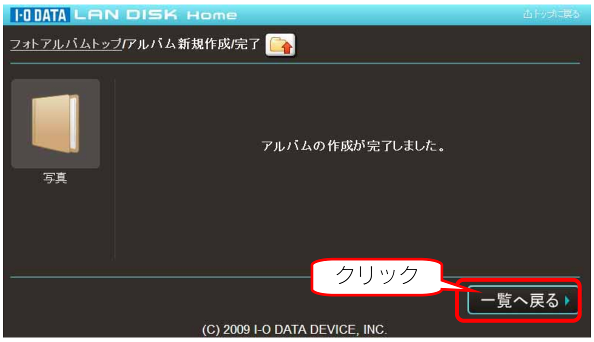
2 [アルバム新規作成]ボタンをクリックします。
※デジカメコピー機能を実行後、フォトアルバムに写真が追加できるようになります。



3 [アルバム名]を入力し、[設定する]ボタンをクリックします。



4 「アルバムの作成が完了しました。」と表示されたら、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。



5 作成したアルバムへ写真を登録します。
①[全てのファイル]をクリックします。
②アルバムに登録したい写真にチェックをつけます。



▼



●各ボタンについて

[+アルバムに追加]	選択した写真をアルバ ムに追加
[全て選択/全て削除]	全ての写真にチェックをつける/つけない
[削除]	選択した写真を削除

6 [+アルバムに追加]ボタンをクリックし、表示された画面で作成したアルバムを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



▼



注意 １つのアルバムにつき、写真の登録枚数は、1000 枚以下となるようにご利用ください。

これでアルバムへの登録は完了です。

アルバムをメモリーカードに書き出す

「フォトアルバム」機能で整理・作成したアルバムをリーダーライターにセットしたメモリーカードに書き出すことができます。
自宅の大画面テレビでじっくり見ながら選んだ写真をメモリーカードに書き出して、プリント店に持っていくと、スピーディーに希望の写真をプリント・現像してもらえます。
※使用可能なリーダーライターについては、弊社ホームページでご確認ください。(http://www.iodata.jp/)
[アルバム書き出し]で書き出されたメモリーカード内のデータは、次回[アルバム書き出し]実行時には自動的に前回書き出したデータを消去して、新たに書き出しを行います。

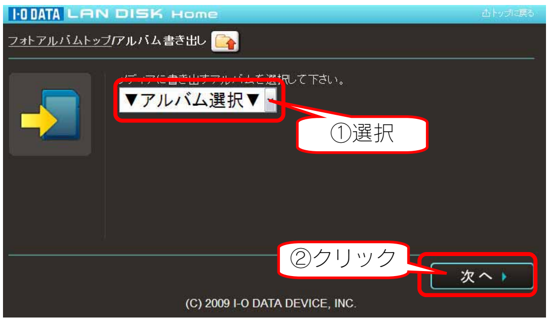
1 アルバムを作成し書き出したい写真をアルバムに登録します。
【フォトアルバム】37ページ)参照

2 書き出し先となるメモリーカードをリーダーライターにセットし、本製品の USB[HOST]ポートに接続します。

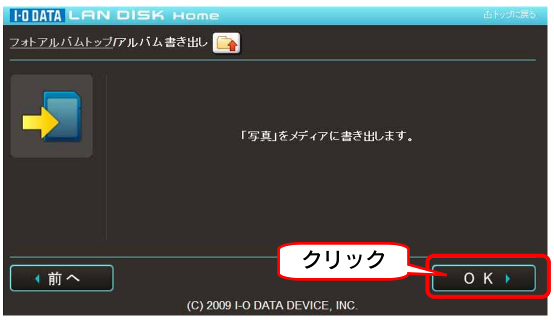
3 [フォトアルバムトップ]ページの[アルバム書き出し]ボタンをクリックします。



4 アルバム選択画面で作成したアルバムを選び[次へ]ボタンをクリックします。



5 確認画面が表示されるので、選んだアルバムに間違いがないことを確認し[OK]ボタンをクリックします。



6 書き出しが完了すると以下の画面が表示されますので、USB[HOST]ポートからリーダーライターを取り外します。



これでアルバム書き出しは完了です。

［アルバム書き出し］で書き出したメモリーカード内のデータは、次回［アルバム書き出し］実行時に、自動的に前回書き出したデータを消去して、新たに書き出しを行います。

書き出したデータを消去する

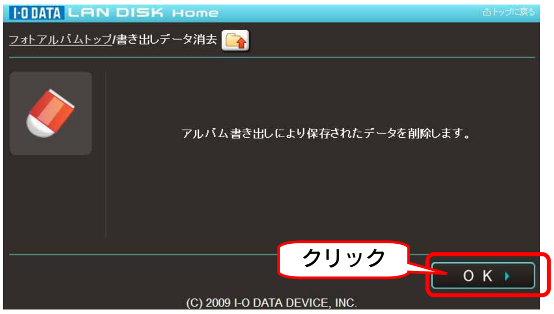
書き出したデータを消去したい場合は、以下の操作で消去することもできます。

1 書き出したデータを消去したいメモリーカードをリーダーライターにセットし、本製品のUSB[HOST]ポートに接続します。

2 [フォトアルバムトップ]ページの[書き出しデータ消去]ボタンをクリックします。



3 以下の画面が表示されますので[OK]ボタンをクリックします。



4 消去が完了すると以下の画面が表示されますので、USB[HOST]ポートからリーダーライターを取り外します。



これでアルバムへ書き出したデータの消去は完了です。

フォトアルバム機能のリファレンス

トップページ



項目	設定する内容
アルバム書き出し	選択したアルバムに登録してある写真をメモリーカードに書き出します。
書き出しデータ消去	[アルバム書き出し]を行ったメモリーカード内の書き出しデータを消去します。
アルバム新規作成	アルバムを新規に作成します。フォトアルバム機能を利用するには、まずアルバムを新規に作成することから始まります。 【フォトアルバム】（37ページ）を参照してください。
スライドショー	アルバム内の写真をスライドショー形式で閲覧します。
編集	アルバムのタイトルを編集します。
削除	作成したアルバムを削除します。

一覧ページ



項目	設定する内容
	ひとつ上の階層に戻ります。
全て選択	全ての写真（チェックボックス）にチェックをつけます。
全て解除	全ての写真（チェックボックス）にチェックを外します。
アルバムに追加	チェックボックスにチェックを入れ、選択した写真をアルバムに登録します。 写真の登録推奨枚数は、１つのアルバムにつき 1000 枚以下です。
削除	チェックボックスにチェックを入れ、選択した写真を LAN DISK から削除します。

詳細ページ



項目	設定する内容
表示方法の切り替え	詳細情報の表示 / 非表示を切り替えます。

スライドショー

[スライドショー]のボタンを押すと、スライドショーの設定画面になります。



項目	設定する内容
切り替え速度	画面の切り替わる速度を設定します。(5 段階)
ランダム再生	スライドショーで表示する順番をランダムにしたい場合、ON にします。
リピート再生	スライドショーをリピートで再生したい場合、ON にします。
開始	スライドショーを開始します。

操作編

共有フォルダを使う

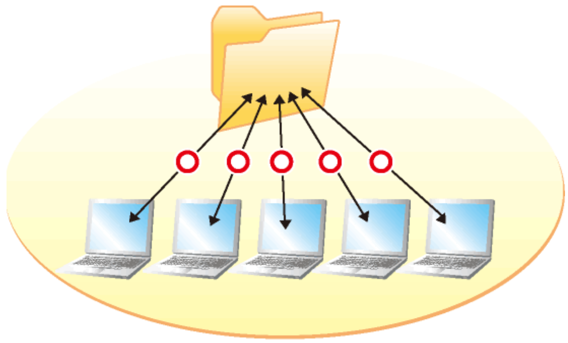
共有フォルダのアクセス権

本製品の設定画面上で作成できる「共有」（アクセス権限）には以下の２つ（全共有、ユーザ共有）の種類があります。

全共有　全てのユーザを許可

ネットワークに接続されている全てのパソコンから自由にファイルの読み書きができる共有です。
ネットワークにログイン時のユーザ名やパスワードに関係なく、そのままでアクセスできますので、ユーザ管理を行う必要がありません。
本製品に初期設定で登録されている「disk」、「dlna」、「iTunes」の各フォルダも全共有のフォルダになります。

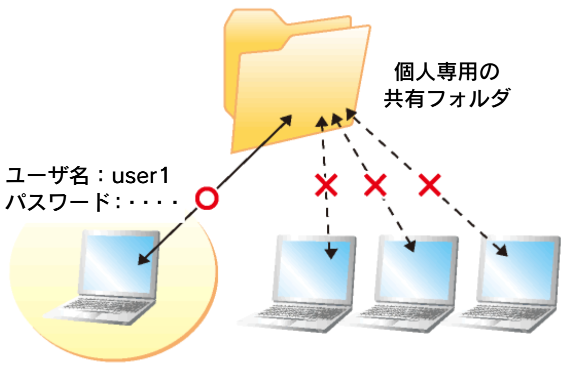
有効にできる共有サービス：
- ○Microsoft ネットワークファイル共有
- ○AppleShare ネットワークファイル共有
- ○DLNA Server で公開
- ○iTunes Server で公開
- ○リモートアクセス共有



ユーザ共有　指定したユーザのみ許可

特定の単一ユーザのみが読み書きできる共有です。
この共有にアクセスするためには、ネットワークにログイン時に特定ユーザのユーザ名、パスワードの入力が必要です。
特定のユーザ以外でも共有フォルダの存在を知ることはできますが、中に入ってファイルを見たり、ファイルやフォルダを作成することはできません。
本製品でこの共有を作成するためには、まず本製品にユーザ登録が必要です。

有効にできる共有サービス：
- ○Microsoft ネットワークファイル共有
- ○AppleShare ネットワークファイル共有
- ×DLNA Server で公開
- ×iTunes Server で公開
- ○リモートアクセス共有



注意　●マイウェブサーバーを使用する場合は、公開する共有フォルダを全共有にする必要があります。

ネットワーク上での本製品の表示

ネットワーク上から本製品に作成した、あるいは作成されている共有フォルダを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。
以下は、ネットワーク上から本製品にアクセスした場合に表示されている共有フォルダの例です。

共有フォルダ名	説明
disk	本製品出荷時にすでに作成されている内蔵ハードディスクの共有フォルダです。 アクセス権限は［全てのユーザを許可］として作成されているため、すべてのユーザからアクセスできます。
dlna	本製品出荷時にすでに作成されている DLNA クライアント公開用の共有フォルダです。 DLNA で公開するコンテンツのみ入れてください。 アクセス権限は［全てのユーザを許可］として作成されているため、すべてのユーザからアクセスできます。
itunes	本製品出荷時にすでに作成されている iTunes サービス公開用の共有フォルダです。 iTunes で公開するコンテンツのみ入れてください。 アクセス権限は［全てのユーザを許可］として作成されているため、すべてのユーザからアクセスできます。

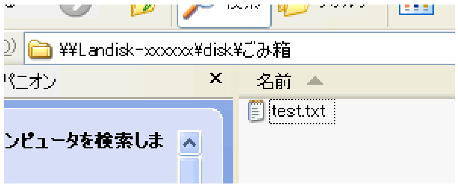
［ごみ箱］フォルダについて

ごみ箱機能が有効となっている共有フォルダからファイルを削除しても、すぐにファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダに保管されます。
ごみ箱機能は、初期設定で無効となっています。
（設定は、［共有管理］→［共有フォルダー一覧］画面で行います。新しく［ごみ箱機能］を有効・無効にする共有フォルダを作成したり、すでに作成済みの共有フォルダに［ごみ箱機能］を有効・無効に設定することもできます。）

新規で［ごみ箱機能］を有効にする共有フォルダを作成する場合	→	【共有フォルダを作成する】（48ページ）
すでに作成済みの共有フォルダに［ごみ箱機能］を有効・無効にする場合	→	【共有フォルダの設定を変更する】（52ページ）
［ごみ箱］フォルダからファイルを戻す手順	→	【[ごみ箱]フォルダからファイルを戻す】（51ページ）

▼［disk］フォルダの［ごみ箱機能］が有効にされている例
（［disk］フォルダ下のファイルを消去すると［ごみ箱］フォルダが自動で作成されます。）





●Windows（MS ネットワーク ファイル共有）とリモートアクセス共有でのみ利用できます。

●［ごみ箱］フォルダ内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダ内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダ内のファイルを削除されることをおすすめします。

●［ごみ箱］フォルダ内のファイルを削除すると、該当ファイルはハードディスクから完全に消去されますのでご注意ください。

●［ごみ箱］フォルダは、ファイルを消去してはじめて表示されます。

●ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。
知らない内に［ごみ箱］フォルダにファイルが大量に存在している場合がありますので、定期的に［ごみ箱］フォルダ内を確認することをおすすめします。

共有フォルダを作成する

特定のユーザのみがアクセスできる共有フォルダを作成します。あらかじめユーザを登録する必要があります。(登録できるユーザ数は 8 人までです。)

ユーザを登録する

STEP1 アクセスユーザを確認する

登録するユーザのネットワークにログオン時の［ユーザ名］と［パスワード］を確認し、メモします。（確認した［ユーザ名］と［パスワード］を、後で設定画面に登録します。）

注意 ［ユーザ名］［パスワード］を後で設定画面で登録しますが、設定できる文字には、以下の制限があります。
以下の個所を参照してください。
【文字制限一覧】（124ページ）

STEP2 本製品にユーザを登録する

メモした［ユーザ名］と［パスワード］を、本製品の設定画面でユーザとして登録します。

1 本製品の設定画面を開き、[新規ユーザ]をクリックします。

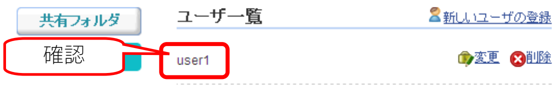


2 STEP1 の手順でメモした［ユーザ名］を［ユーザ名］欄に入力します。
メモした［パスワード］を、［パスワード］、［確認パスワード］欄に入力後、［設定する］ボタンをクリックします。



3 ユーザが追加されていることをご確認ください。

これで、ユーザ：user1 が本製品に登録されました。



以上でユーザの登録は終了です。

共有フォルダを作成する

共有フォルダを作成します。
以下の例は、「指定ユーザ」用の共有フォルダを作成する例です。

1	本製品の設定画面を開き、[新規共有]をクリックします。

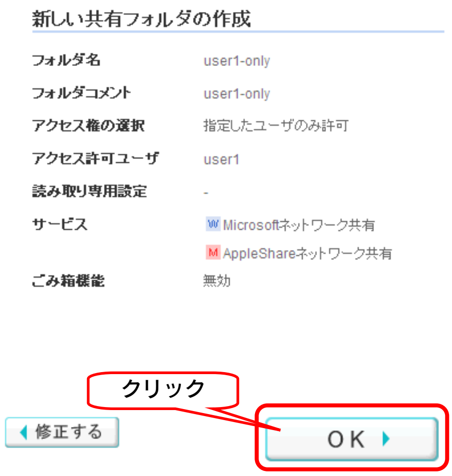


2	作成する共有フォルダを設定し、[確認する]ボタンをクリックします。 （設定項目の詳細な説明については、次ページを参照）

※以下は、"user1-only"という共有フォルダを
作成する場合の例です。



3	確認の画面が表示されます。設定した内容をご確認ください。問題が無ければ、[OK]ボタンをクリックします。 これで、ユーザ：user1 専用の共有フォルダが作成されました。



◆［新規共有フォルダの追加］画面での設定内容

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th></tr>
<tr><td>フォルダ名</td><td colspan="2">共有フォルダの名前を入力します。
この名前が、ネットワーク上（［マイネットワーク］や［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。
※使用できる文字には制限があります。
【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>フォルダコメント</td><td colspan="2">Windows 用です。
ここに入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダのコメントとして表示されます。
※使用できる文字には制限があります。
【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>アクセス権の選択</td><td colspan="2">この共有フォルダにアクセスできるユーザを選択します。
ここでは、［指定したユーザのみ許可］を選択し、ユーザ（画面例では本製品に登録した「user1」）を選択します。</td></tr>
<tr><td>読み取り専用設定</td><td colspan="2">作成した共有フォルダを読み取り専用にする場合に、チェックを付けます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">サービスの選択</td><td colspan="2">共有フォルダのサービスを選択します。
目的に応じて［Microsoft ネットワーク ファイル共有］と［AppleShare ネットワーク ファイル共有］のどちらかあるいは両方を選択します。</td></tr>
<tr><td>Microsoft ネットワーク ファイル共有</td><td>Windows からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク ファイル共有</td><td>Macintosh からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>DLNA Server で公開</td><td>このアクセス権限では指定できません。</td></tr>
<tr><td>iTunes Server で公開</td><td>このアクセス権限では指定できません。</td></tr>
<tr><td>リモートアクセス共有</td><td>リモートアクセス機能でこのフォルダを利用する場合にチェックをつけます。</td></tr>
<tr><td>ごみ箱機能</td><td colspan="2">Windows（MS ネットワーク ファイル共有）でのみ利用できます。
作成する共有フォルダについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。
ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダに保管されます。
［ごみ箱］フォルダ内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダ内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダ内のファイルを削除されることをおすすめします。
［ごみ箱］フォルダの使い方については以下の個所を参照してください。
【[ごみ箱]フォルダからファイルを戻す】（51ページ）</td></tr>
</table>

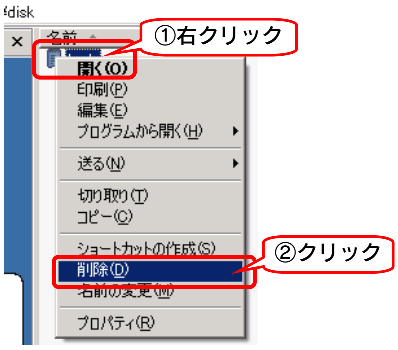
[ごみ箱]フォルダから ファイルを戻す

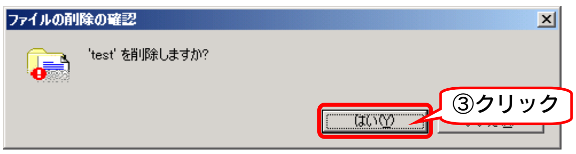
ここでは、「ごみ箱機能」を設定した［disk］フォルダからファイル（Test.txt）を削除後、［ごみ箱］フォルダから［disk］フォルダにファイル（Test.txt）を戻す手順について説明します。
※画面は Windows XP を例にしています。

1 ネットワーク上から本製品の［disk］共有フォルダにアクセスします。



2 ファイルを削除します。

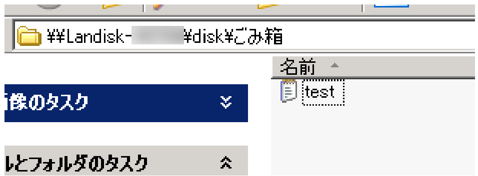




3 ［disk］フォルダからファイルが削除されると、［ごみ箱］フォルダが作成されます。
（表示されていない場合は［F5］キーを押して更新してください。）
［ごみ箱］フォルダをダブルクリックして、ファイルを移動（またはコピー）します。



4 ［ごみ箱］フォルダ内の削除したファイルを［disk］フォルダに移動（またはコピー）します。



5 ［disk］フォルダにファイルを戻すことができます。



以上で「ごみ箱機能」を設定した場合の［ごみ箱］フォルダの使い方は終了です。

共有フォルダの設定を変更する

作成した共有フォルダの設定（[共有フォルダ名]、[コメント]、[アクセス権]、[サービス]）を変更することができます。

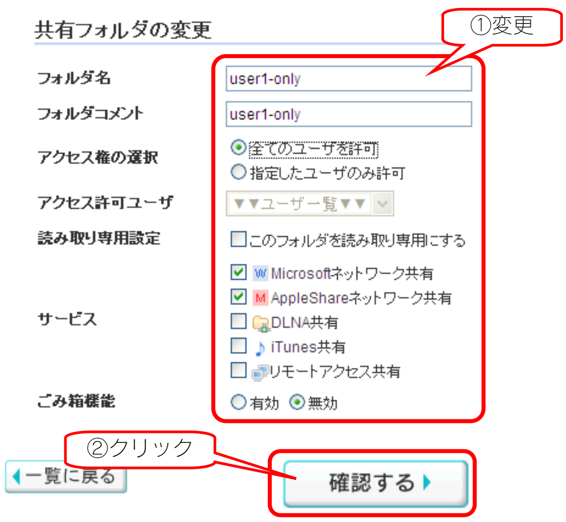
以下は、"share1"という共有フォルダのアクセス権を"全てのユーザを許可"から”指定したユーザのみ許可”に変更する例です。

注意 同時に［共有フォルダ名］、［コメント］、［アクセス権］、［サービス］を変更することはできません。
変更は、変更したい項目１つ１つ順に変更してください。

1 本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックし、設定を変更したい共有フォルダのフォルダ名横の［変更］をクリックします。

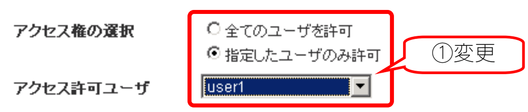


2 変更する項目を選択し（どれか１つのみ選択できます）、その項目の設定を変更後、［確認する］ボタンをクリックします。
（設定項目の詳細な説明については、次ページを参照）

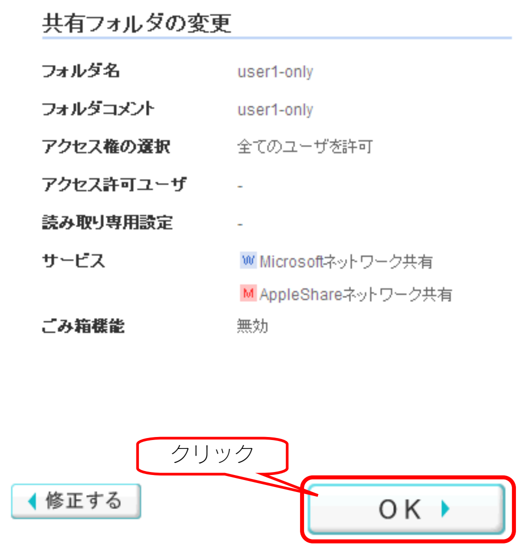


例えば、アクセス権の変更する場合は、現在、［全てのユーザを許可］となっている設定を”user1”という［指定したユーザのみ許可］する設定に変更します。

① ［指定したユーザのみ許可］にをチェックします。
② ［user1］を選択します。
③ ［確認］ボタンをクリックします。



3 確認の画面が表示されます。
変更内容に間違いが無ければ、[OK]ボタンをクリックします。



4 他の項目も変更する場合は、同様に２の手順から行って変更してください。

これで、共有フォルダの設定は変更されました。

◆［共有フォルダの変更］画面での設定内容

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th></tr>
<tr><td>フォルダ名</td><td colspan="2">共有フォルダの名前を変更できます。
この名前が、ネットワーク上（［マイネットワーク］や［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。
※使用できる文字には制限があります。
　【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>フォルダコメント</td><td colspan="2">Windows 用です。
共有フォルダのコメントを変更できます。
ここに入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダのコメントとして表示されます。
※使用できる文字には制限があります。
　【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">アクセス権の選択</td><td colspan="2">共有フォルダにアクセスする権限（アクセス権）を変更できます。</td></tr>
<tr><td>全てのユーザを許可</td><td>本製品にアクセスできるすべてのユーザがアクセスできる設定です。</td></tr>
<tr><td>指定したユーザのみ許可</td><td>本製品にユーザ登録したユーザの内、特定のユーザのみがアクセスできる設定です。</td></tr>
<tr><td>このフォルダを読み取り専用にする</td><td>本製品にアクセスできるすべてのユーザから読み取りのみできるようにする設定です。（書き込みを禁止します。）</td></tr>
<tr><td>読み取り専用設定</td><td colspan="2">作成した共有フォルダを読み取り専用にする場合に、チェックを付けます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">サービス</td><td colspan="2">共有フォルダのサービスを変更できます。</td></tr>
<tr><td>Microsoft ネットワーク ファイル共有</td><td>Windows からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク ファイル共有</td><td>Macintosh からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>DLNA Server で公開</td><td>DLNA 準拠機器からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>iTunes Server で公開</td><td>iTunes 準拠機器からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>リモートアクセス共有</td><td>リモートアクセス機能でこのフォルダを利用する場合にチェックをつけます。</td></tr>
<tr><td>ごみ箱機能</td><td colspan="2">Windows（MS ネットワーク ファイル共有）でのみ利用できます。
作成する共有フォルダについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。
ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダに保管されます。
［ごみ箱］フォルダ内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダ内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダ内のファイルを削除されることをお勧めします。
［ごみ箱］フォルダの使い方については以下の個所を参照してください。
【[ごみ箱]フォルダからファイルを戻す】（51ページ）</td></tr>
</table>

共有フォルダを削除する

作成した共有フォルダを削除することができます。

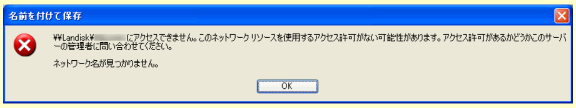
注意

●共有フォルダを削除すると、共有フォルダの中のデータも同時に削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。

管理者からのアクセス方法については、【管理者からの共有フォルダへのアクセス方法】（次ページ）を参照してください。

●削除しようとしている共有フォルダ内のファイルを編集などに使用している場合、削除後、以下のような保存先が見つからないなどのエラーとなります。

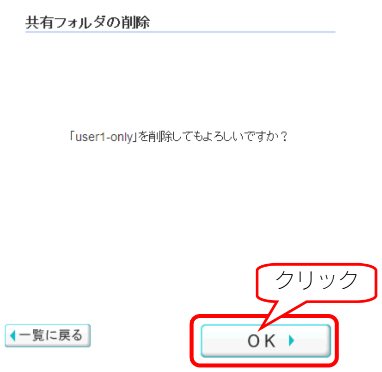
削除前に、削除する共有フォルダにアクセスしているユーザがいないかご確認ください。



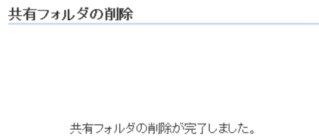
1 本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックし、削除したい共有フォルダのフォルダ名横の［削除］をクリックします。



2 削除する共有フォルダを確認後、［OK］ボタンをクリックします。



3 完了画面が表示されます。



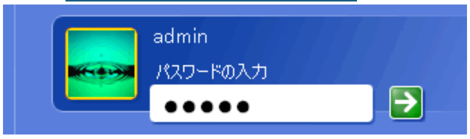
これで、共有フォルダが削除されました。

管理者からの共有フォルダへのアクセス方法

本製品の管理者は、すべての共有フォルダ（アクセス制限を設定した共有フォルダにも）にアクセスすることができます。（Windows パソコンからアクセスする場合のみ）

ネットワークにログインする際に、ユーザ名（admin）、本製品の管理者パスワード（出荷時は未設定）のユーザでログオンすれば、すべての共有フォルダにアクセスできます。
※管理者は、管理者以外の他のユーザ専用として作成した共有フォルダにもアクセスできます。





注意

●［管理者以外の場合も管理者用のユーザ名（admin）・パスワードが分かれば、すべての共有フォルダにアクセスできることになります。必ず、設定画面を開く際のパスワードは変更してください。（ユーザ名［admin］は変更することはできません。）【管理者パスワードを変更する】（103ページ）

●Macintosh パソコンから管理者権限で、すべての共有フォルダにアクセスすることはできません。

●リモートアクセス機能では、admin ユーザーは使用できません。

STEP1 パスワードを設定する

設定画面を開く際のパスワードを設定します。（ユーザ名［admin］は変更することはできません。）
以下の個所を参照してください。
【管理者パスワードを変更する】（103ページ）

※すでに設定済みの場合は設定の必要はありません。

STEP2 ユーザアカウントを作成する

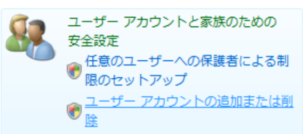
（Windows Vista®/XP/2000　のみ）

Windows Vista®/XP/2000 の場合、［step 1］でメモした［ユーザ名］と［パスワード］を、本製品の設定画面でユーザとして登録します。

Windows XP/2000 の場合は、Windows XP/2000 に以下の［ユーザ名］［パスワード］のログオンユーザを作成します。
ユーザ名：　admin
パスワード：　STEP1 の手順で設定したパスワード

●Windows Vista®の場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザアカウントと家族のための安全設定］→［ユーザアカウントの追加または削除］で上記ユーザアカウントを作成します。





●Windows XP の場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザアカウント］で上記ユーザアカウントを作成します。

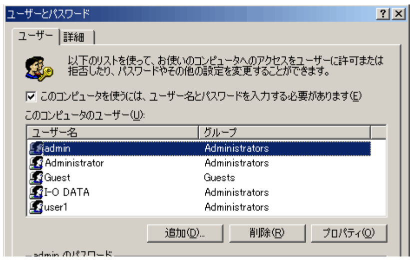




●Windows 2000 の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［ユーザとパスワード］で上記ユーザアカウントを作成します。





STEP3 共有フォルダにアクセスする

それでは実際に管理者から共有フォルダにアクセスしてみましょう。
※Macintosh パソコンからすべての共有フォルダにアクセスすることはできません。

1 以下の admin ユーザでネットワークにログオンします。

ユーザ名：	admin
パスワード：	STEP1 の手順で設定したパスワード

●Windows Vista®での例



●Windows XP での例



2 共有フォルダにアクセスします。
アクセス方法は、管理者がご利用の OS により異なりますので、下記のご使用の OS の個所へお進みください。

【③Windows から本製品にアクセスする】（20ページ）

以上で、管理者からの共有フォルダへのアクセスは終了です。

バックアップする

データのバックアップについて

万一に備えて定期的にデータはバックアップすることをおすすめします。
本製品では、以下のバックアップを行うことができます。

デジカメコピー	デジカメコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB[HOST]ポートに接続することで、USB[HOST]ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダ内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみにコピーすることができます。 デジカメコピー機能は、本製品の USB[HOST]ポートの動作モードが［デジカメコピー］となっている場合のみ動作します。
クイックコピー	クイックコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB[HOST]ポートに接続することで、USB[HOST]ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダにコピーすることができます。 クイックコピー機能は、本製品の USB[HOST]ポートの動作モードが［クイックコピー］となっている場合のみ動作します。
デジカメバックアップ	USB接続の外付ハードディスクをUSB[HOST]ポートにつないでバックアップをとることが可能です。 デジカメコピーフォルダを含む共有フォルダのみバックアップ対象となります。 フォトアルバム機能で作成したアルバム情報ごと保存しますので、万が一、本製品が故障し、新しい本製品を購入してきた場合でも、アルバム情報をそのまま新しい本製品にリストア（復元）可能です。
Sync with	Sync with は、パソコンのフォルダと本製品上のフォルダの内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。簡単な操作でパソコンのフォルダと本製品上のフォルダの内容を同一に保つことができるソフトウェアです。 パソコンにインストールして使用します。
EasySaverLE	EasySaver は、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップすることができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。

注意 ●バックアップ中、ファイル共有などが遅くなる場合があります。

使用できるデジカメや USB メモリーについて

動作確認済みデジカメや USB メモリーについては、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)の製品情報をご覧ください。
使用できるデジカメや USB メモリーは以下のものです。

・USB マスストレージクラスまたは PTP の転送に対応し、かつ、そのモードに設定されているデジカメ
・FAT または NTFS 形式のデジカメ、または USB メモリー

デジカメコピー機能、クイックコピー機能利用時の注意事項

・デジカメによっては、PTP 転送時に制限事項のあるものがあります。詳しくはお使いのデジカメの取扱説明書をご参照ください。
　また、なかには PTP ではなく、MTP と表記されているデジカメもあります。
・PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。
・マスストレージモードと PTP モードを切り替えられる機種はマスストレージモードでご使用ください。
・利用時には正しくコピーできていることをご確認ください。

本製品でご利用になる場合の注意

本製品でご利用になる場合は、以下にご注意ください。
・デジカメや USB メモリーは本製品の USB[HOST]ポートでのみご利用になれます。
・転送先のディスクに空き容量が十分あることをご確認ください。
・バックアップ先が FAT32 形式の場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルはバックアップできません。
・NTFS 形式のハードディスクに書き込みはできません。
・USB 接続モード時は USB[HOST]ポートは使用できません

デジカメコピー

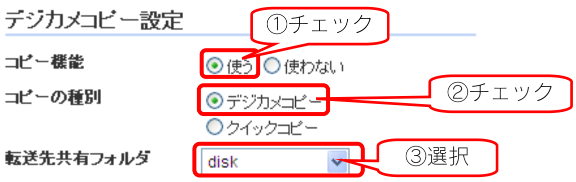
デジカメコピー機能を設定する

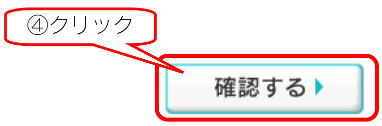
出荷時 USB[HOST]ポートの動作モードは、［デジカメコピー］に設定されています。
[クイックコピー]に変更した場合は、［デジカメコピー］に戻す必要があります。

1 設定画面の[デジカメコピー]ボタンをクリックします。



2 [コピー機能]の［使う］をチェック後、［コピーの種別］で［デジカメコピー］にチェックし、［転送先共有フォルダ］でコピー先を選択後、［確認する] ボタンをクリックします。





注意 ●コピー先共有の選択は、内蔵 HDD 上の共有のみ選択できます。

3 設定した内容を確認し、［OK］ボタンをクリックします。





4 完了画面が表示されます。

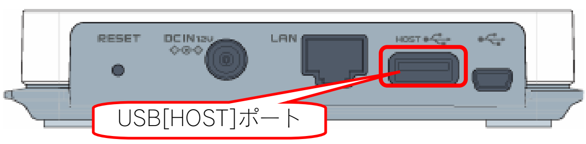
これで、USB[HOST]ポートをデジカメコピー用に使用できるようになりました。

デジカメコピー機能を使う

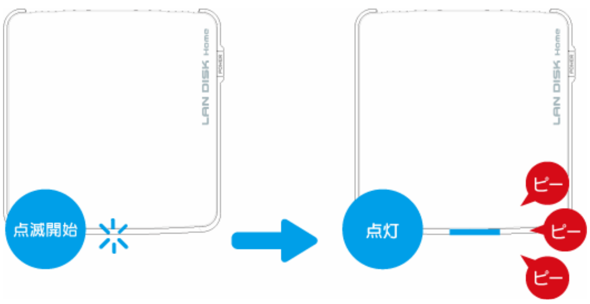
USB[HOST]ポートに挿すだけで、本製品にデジカメや USB メモリーのデータをコピーすることができます。

注意 ●必ず、USB[HOST]ポートに接続してください。

1 本製品の USB[HOST]ポートにデジカメや USB メモリーを接続します。
［STATUS］ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。



2 自動的にコピーを開始します。
コピー中は、[STATUS]ランプが点滅します。
“ピッピッピッ”と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。



3 [STATUS]ランプが点灯すれば、そのまま、デジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。
ネットワーク上からコピーしたデータを確認する場合は、以下の個所を参照して確認してください。
【コピーしたデータを確認する】（次ページ）

●データコピー先について

データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの［disk］）の共有フォルダの下に、自動で作成される［デジカメコピー］フォルダ内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。

［指定したディスク共有フォルダ］-［デジカメコピー］フォルダ

デジカメコピーでは、コピー先共有にすでに同一ファイル名で、サイズまたは更新時刻が異なるファイルが存在している場合、新規にコピーするファイル名は、3 桁数字をファイル名に追加して新規ファイルをコピーします。（例：AAA.jpg → AAA(001).jpg）

複数のデジカメ・USB メモリーをコピーする場合、「クイックコピー」をご利用ください。

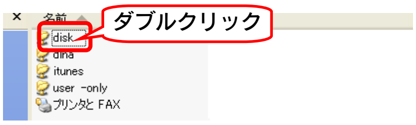
コピーしたデータを確認する

デジカメや USB メモリーのデータが正しくコピーされているかを確認します。

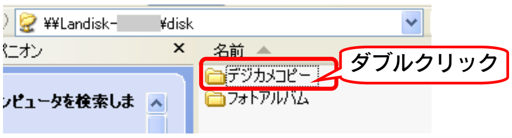
データを本製品内蔵ハードディスクの［disk］共有フォルダにコピーした場合での確認例を説明します。

1 ネットワーク上から、本製品の共有フォルダを表示させます。手順については、以下の個所を参照してください。
・Windows から本製品にアクセスする場合
【③Windows から本製品にアクセスする】（20ページ）
・Mac OS から本製品にアクセスする場合
【③Mac OS から本製品にアクセスする】（27ページ）

2 [disk]フォルダをダブルクリックします。



3 ［デジカメコピー]フォルダが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。



[デジカメコピー]フォルダについて･･･
デジカメコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダです。

4 コピーしたファイルやフォルダが日付フォルダに振り分けて表示されます。



以上で確認は終了です。

●ログファイルについて

デジカメコピーは、[コピー先共有フォルダ]-[デジカメコピー]に[コピーした日付時刻.log]と言うファイルを自動的に作成します。
ログファイルを確認することで、コピー結果を確認することができます。

・出力形式（UTF-8、CRLF 改行）
[1 行目：(ファイル名 or フォルダ名)　　追加情報]

追加情報一覧

COPY	新規ファイルをコピー
COPY（RENAME：新しいファイル名）	新規ファイルをリネームコピー
COPYERROR	新規ファイルをコピー失敗
COPYERROR（RENAME）	新規ファイルをリネーム失敗
COPYERROR（RENAME：新しいファイル名）	新規ファイルをリネームコピー失敗
MKDIR	新規フォルダを作成
SKIP	新規ファイルをスキップ

実行結果一覧

SUCCESS.（xxx files copied.）	コピー成功。xxx 個のファイルをコピー。
ERROR.（xxx files copied.）	コピー失敗。xxx 個のファイルをコピー。

xxx の数値には、MKDIR、SKIP、COPYERROR の数は含まれません。

クイックコピー

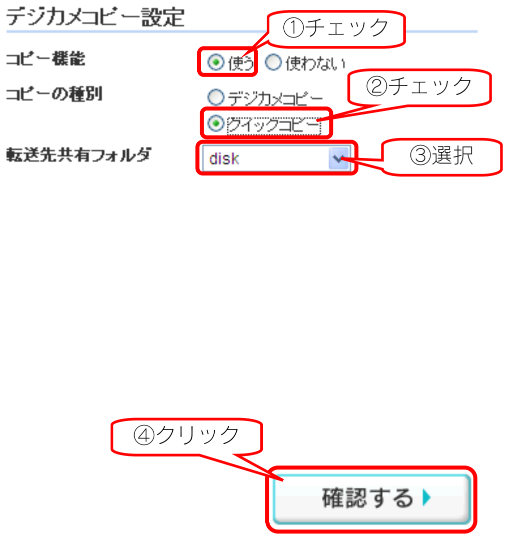
クイックコピー機能を設定する

出荷時 USB[HOST]ポートの動作モードは、［デジカメコピー］に設定されています。
クイックコピー機能を使うには、［クイックコピー］に変更する必要があります。

1 設定画面の[デジカメコピー]ボタンをクリックします。

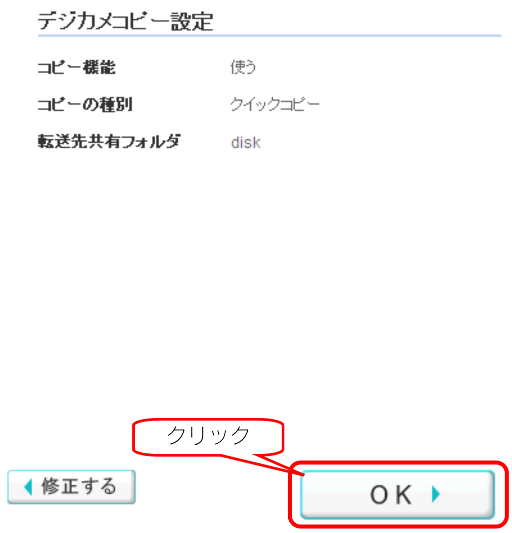


2 [コピー機能]の［使う］をチェック後、［コピーの種別］で［クイックコピー］にチェックし、［転送先共有フォルダ］でコピー先を選択後、［確認する］ボタンをクリックします。



注意 ●コピー先共有の選択は、内蔵 HDD 上の共有のみ選択できます。

3 設定した内容を確認し、［OK］ボタンをクリックします。



4 完了画面が表示されます。

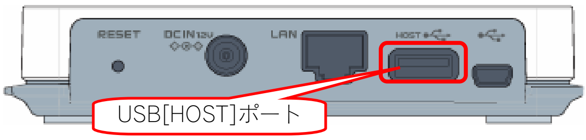
これで、USB[HOST]ポートをクイックコピー用に使用できるようになりました。

クイックコピー機能を使う

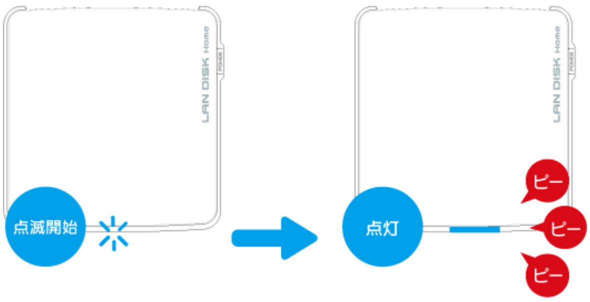
USB[HOST]ポートに挿すだけで、本製品にデジカメや USB メモリーのデータをコピーすることができます。

注意 ●必ず、USB[HOST]ポートに接続してください。

1 本製品の USB[HOST]ポート にデジカメや USB メモリーを接続します。
[STATUS]ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。



2 自動的にコピーを開始します。
コピー中は、[STATUS]ランプが点滅します。
“ピッピッピッ”と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。



3 [STATUS]ランプが点灯すれば、そのまま、デジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。
ネットワーク上からコピーしたデータを確認する場合は、以下の個所を参照して確認してください。
【コピーしたデータを確認する】（次ページ）

●データコピー先について

データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの［disk］）の共有フォルダの下に、自動で作成される［クイックコピー］フォルダ内にコピーされます。
さらにその下に順に「コピー時点の［年月日-時刻］を元にしたフォルダ」フォルダを作成し、そのフォルダ内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。

［指定したディスク共有フォルダ］-［クイックコピー］-［年月日-時刻］

複数のデジカメ・USB メモリーをコピーする場合にも、データは［年月日-時刻］フォルダで区別されますので、上書きされることはありません。

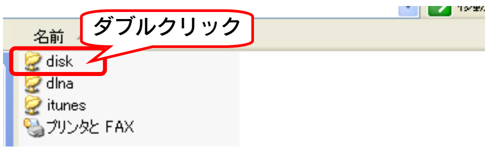
コピーしたデータを確認する

デジカメや USB メモリーのデータが正しくコピーされているかを確認します。

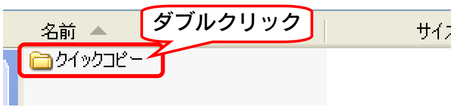
※以下は、Windows XP での確認例です。
　データを本製品内蔵ハードディスクの［disk］共有フォルダにコピーした場合での確認例を説明します。

1 ネットワーク上から、本製品の共有フォルダを表示させます。
手順については、以下の個所を参照してください。
・Windows から本製品にアクセスする場合
【③Windows から本製品にアクセスする】（20ページ）
・Mac OS から本製品にアクセスする場合
【③Mac OS から本製品にアクセスする】（27ページ）

2 [disk]フォルダをダブルクリックします。

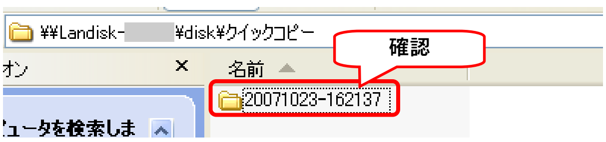


3 ［クイックコピー]フォルダが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。



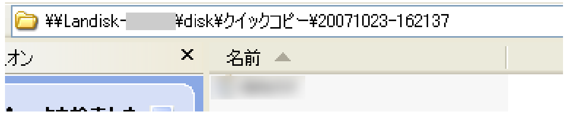
[クイックコピー]フォルダについて･･･
クイックコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダです。

4 年月日-時刻のフォルダが作成されていることを確認後、ダブルクリックし、ファイルがコピーされているかご確認ください。



年月日-時刻フォルダについて･･･
クイックコピーを行った場合に、［クイックコピー］フォルダの下に、デジカメ・USB メモリーのデータコピーを開始した年月日・時刻をもとにして、自動で作成されるフォルダです。
上記画面例（［20070413-150145］）は、2007 年 04 月 13 日 15 時 01 分 45 秒にコピーを開始したときに作成した例です。

5 コピーしたファイルやフォルダが表示されます。



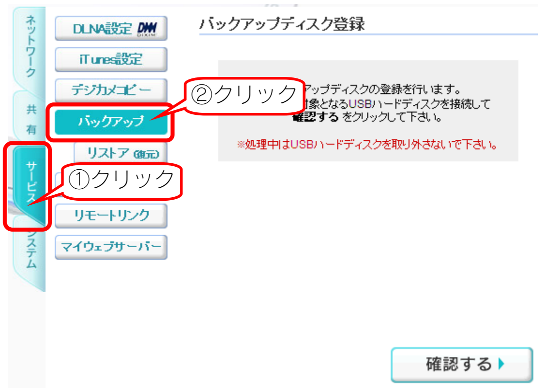
以上で確認は終了です。

デジカメバックアップ

バックアップディスクを登録する

デジカメバックアップ機能を使うには、バックアップ先となるハードディスクを登録する必要があります。

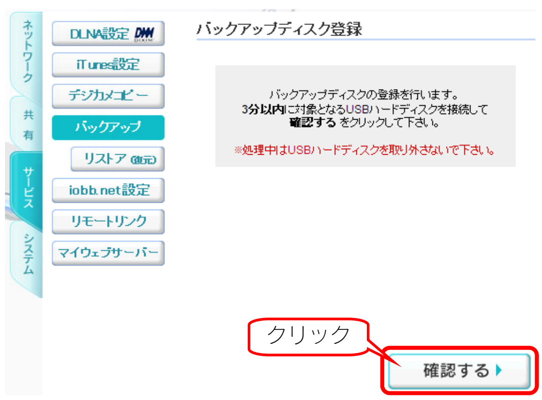
1 設定画面の[サービス]タブをクリックし、[バックアップ]ボタンをクリックします。



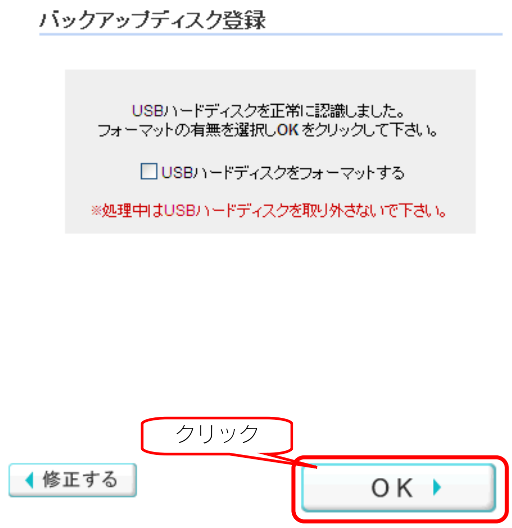
2 バックアップデータを保存するFATフォーマットの外付ハードディスクの電源をONにします。
外付ハードディスクの電源の入れ方については、外付ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

注意
電源連動機能ハードディスクの場合は、電源ボタン（スイッチ）を[AUTO]または[ON]にします。
本製品に接続するまでハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。

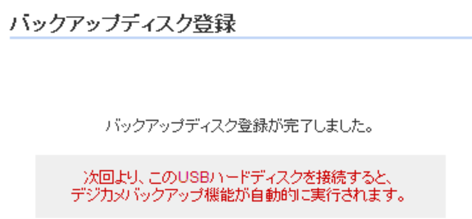
3 本製品の USB[HOST]ポートに外付ハードディスクを接続し、[確認する]ボタンをクリックします。



4 ハードディスクが認識されると以下の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



5 次の画面が表示されたら、登録したバックアップディスクをUSB[HOST]ポートから取り外します。



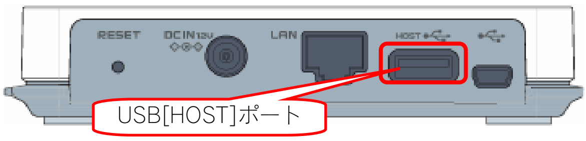
これで、デジカメバックアップ用ハードディスクの登録を完了しました。

デジカメバックアップ機能を使う

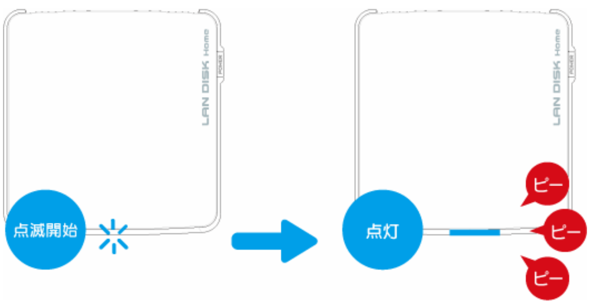
登録したハードディスクを USB[HOST]ポートに挿すだけで自動でデータをバックアップすることができます。

注意 ●必ず、USB[HOST]ポートに接続してください。

1 【バックアップディスクを登録する】の手順で登録した外付ハードディスクの電源を入れ、本製品のUSB[HOST]ポートに接続します。
※外付ハードディスクの電源の入れ方については、外付ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
※本製品が処理を行っている間（[STATUS]ランプが点滅中）は、バックアップディスクを接続しないでください。



2 自動でデジカメバックアップ機能が実行されます。
デジカメバックアップ実行中は本製品の[STATUS]ランプが点滅します。
"ピッピッピッ"と鳴り、点滅が点灯に変わったらバックアップ完了です。



3 [STATUS]ランプが点灯すれば、そのまま、バックアップディスクを取り外すことができます。

●データのバックアップ先について
バックアップデータはバックアップを実行した日時とともにバックアップディスクに記録されます。リストア（復元）する際には日時を元にバックアップデータを指定します。

以上でバックアップは完了です。

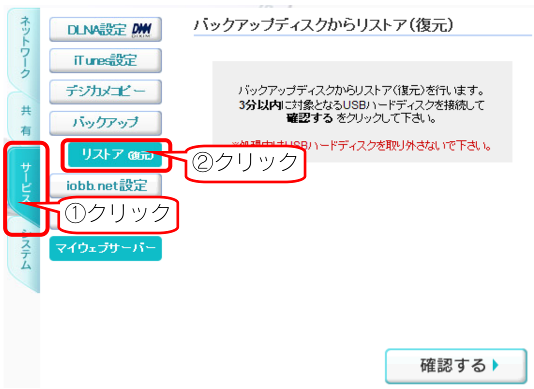
バックアップディスクの内容を書き戻す

新しく購入した本製品に、以前使用していた本製品のバックアップディスクからデータを書き戻すことができます。

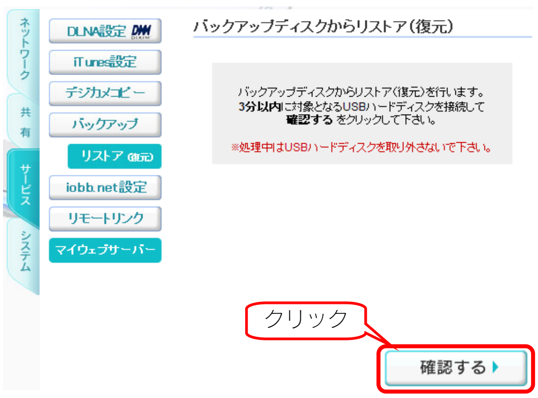
デジカメコピー機能を一度も実行していない状態で、
[フォトアルバム]をクリックした場合、
右のような画面が表示されます。



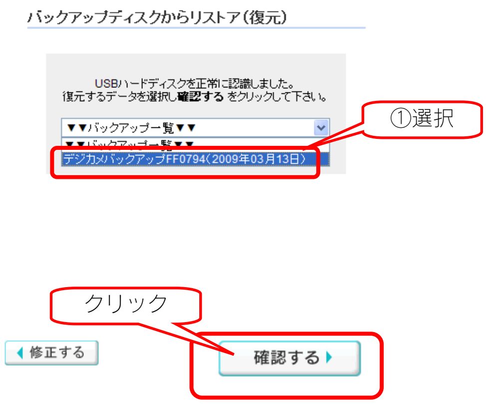
1 設定画面の[サービス]タブをクリックし、[リストア(復元)]ボタンをクリックします。



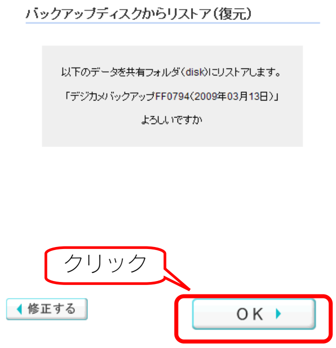
2 バックアップディスクの電源を ON にして、本製品のUSB[HOST]ポートに接続し、[確認する]ボタンをクリックします。



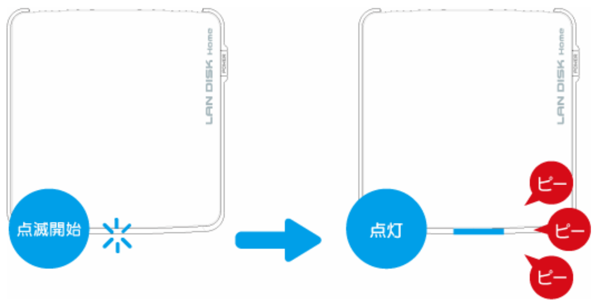
3 ハードディスクが認識されると以下の画面が表示されますので、[バックアップ一覧]からリストア（復元）するデータ（バックアップを実行した日時が表示されます）を確認し、[確認]ボタンをクリックします。

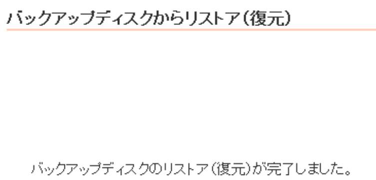


4 確認画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



5 リストア（復元）が実行されます。リストア（復元）実行中は本製品のSTATUSランプが点滅します。
”ピッピッピッ”と鳴り、点滅が点灯に変わったらリストア（復元）完了です。





6 以上でリストア（復元）の作業は完了です。
バックアップディスクをUSB[HOST]ポートから取り外すことができます。
設定画面右上の[トップに戻る]で Top ページに戻り、[フォトアルバム]をクリックするとアルバム情報そのままリストア（復元）できたことがわかります。

これで、バックアップディスクの書き戻しは、完了しました。
以上で確認は終了です。

Sync with

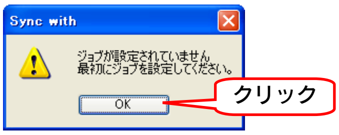
Sync with は２つのフォルダ内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。
簡単な操作でフォルダ内容を更新したり一致させることのできるソフトウェアです。
インストール方法については、【①設定ソフトをインストールする】（15ページ）をご覧ください。

注意
- ●同期するドライブに十分な容量の空きが必要です。
- ●同一のフォルダは指定できません。
- ●下位のフォルダとの同期はできません。
- ●OS が使用しているフォルダは、同期できないものもあります。
- ●アクセス権がないものや、ロックやライトプロテクトされているフォルダ・CD-ROM・MO などは同期できません。
- ●実行中・使用中のファイルの同期はできません。
- ●隠しファイル(隠しフォルダ)はフォルダの設定にて「隠しファイルを表示する」となっていた時のみ同期できます。
- ●Windows 標準の文字コードを使用していないフォルダやファイルは、設定・同期できません。

●ジョブの設定方法

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」（または[プログラム]）→［I-O DATA］→［Sync with］→［Sync with］を順にクリックします。

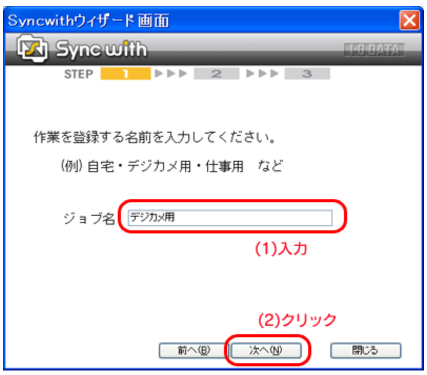
2 はじめて起動したときなど、まだ同期のジョブが何も設定されていないときは、以下が表示されますので[OK]をクリックします。



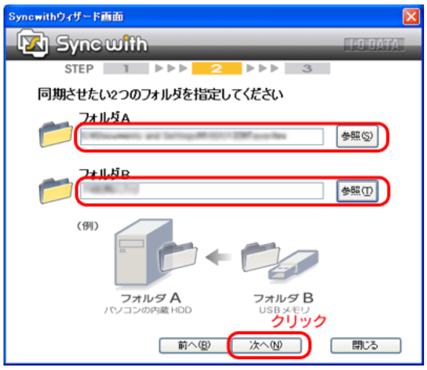
3 ［ジョブを作成する］をクリックします。



4 ジョブ名を入力します。



5 同期させたいフォルダを指定し、[次へ]をクリックします。

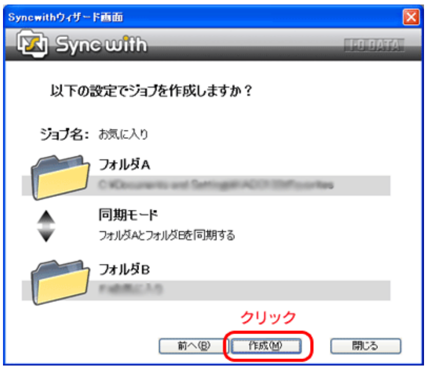


6 同期の方法を選択して、[次へ] をクリックします。

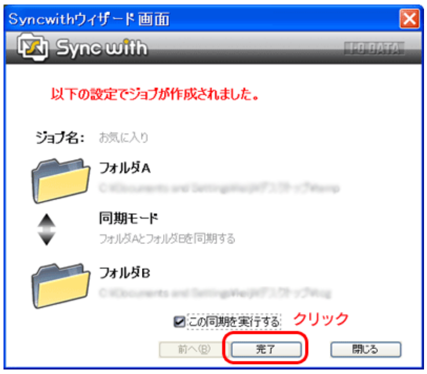


双方向更新	フォルダＡとフォルダＢを比較し､双方の新しいファイルを相手にコピーします。同期完了後はフォルダＡフォルダＢともに最新のファイルとなります。 ＜用途例＞ 双方に同じデータを持ちたい際に、この更新方法をお勧めします。
フォルダ Ｂ を更新	フォルダＡとフォルダＢを比較し、フォルダＡにある新しいファイルのみフォルダＢにコピーします。 デジカメの写真データをパソコンの画像編集用フォルダにコピーするといった元データを変えたくない際に、この更新方法をお勧めします。 ＜用途例＞ デジカメの写真データのフォルダを Ａに指定し、パソコンの編集用フォルダをＢに指定します。 同期を実行すると、デジカメの新しいデータが編集用フォルダにコピーされ、編集用フォルダで編集したファイルは元データにコピーされません。 元データ（デジカメの写真データ）を残しつつ新たなデータを編集用フォルダにコピーできます。 また、編集用フォルダで編集されたファイルの方が新しいファイルなので、元データに上書きされることもありません。
ファルダ Ａ を更新	フォルダＡとフォルダＢを比較し、フォルダ Ｂ にある新しいファイルのみフォルダＡにコピーします。

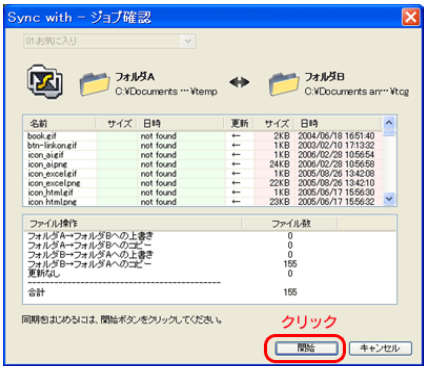
7 表示内容を確認して、[作成]をクリックします。



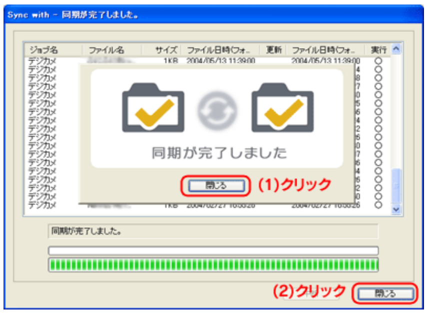
8 ［完了］をクリックします。



9 ［開始］をクリックします。
→同期処理が開始します。



10 ［閉じる］→「閉じる」を順にクリックします。



以上で設定は完了です。

●新規ジョブの作成方法

	［新規作成］をクリック→ジョブ名を入力→フォルダＡ、同期モード、フォルダＢを指定→表示アイコンを選択→[決定]をクリックします。

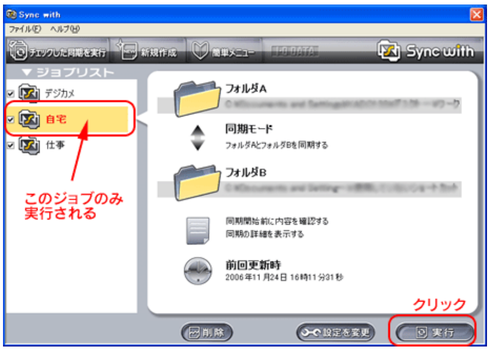


●ジョブの実行

ジョブ（同期）を実行するには、[実行]または[チェックした同期を実行]をクリックします。

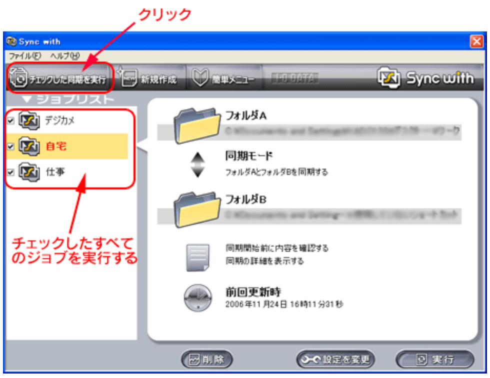
→[実行]をクリックする場合

	ジョブリストから選択して、[実行]をクリックします。



→[実行]をクリックする場合

	ジョブリストの同期を実行したいジョブにチェックして、[チェックした同期を実行]をクリックします。



→ジョブ実行時のエラーについて

エラー内容	説明
チェックがつけられていません。同期したいジョブにチェックをつけてから実行してください	チェックされたジョブが無かった時
Sync with の設定を確認してください フォルダ xx エラー ディレクトリ名が無効です	フォルダ A、フォルダ B が存在しなかった(または書き込み不可だった)場合
フォルダ XXXX のフォルダ名が正しくありません	フォルダ A、フォルダ B が同一フォルダ・サブフォルダなど設定できないフォルダだった場合
エラーが発生したため同期を中止しました	コンペア中にエラーが発生した場合
空き容量がありません。処理を中止します	ハードディスクの容量が足りなくなった場合
xxxxxx（ファイル名）エラーが発生しました。 処理を続けますか？ [はい] [いいえ]	ここで[はい]を選択すると、次のファイルから再度コピーを開始します。 [いいえ]を選択した際には、以降のファイルはコピーされなくなります。 コピーに失敗したファイルの結果欄に「×」(赤字)がつきます。

EasySaver LE

本製品は、オートバックアップソフト「EasySaverLE」の無料ダウンロード対象製品です。
EasySaverLE は弊社ホームページ「サポートライブラリ」からダウンロードできます。

＜サポートライブラリ＞
http://www.iodata.jp/lib/

弊社製 EasySaver LE を使用して、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップしたりすることができます。
詳細は、EasySaver LE の取扱説明書を参照してください。

注意
●EasySaverLE を使用してバックアップする場合、バックアップ元（先）に使用する本製品を事前にネットワークドライブに割り当てておく必要があります。
【（Windows）ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（174ページ）

ハードディスク をチェックする

ハードディスクのチェック方法

ここでは、本製品のハードディスクの状態をチェックする方法について説明します。

●チェックディスクを行う場合

本製品のチェックディスクは USB 接続モード時のみ行えます。
本製品のチェックディスクは Windows のチェックディスク機能を使用してチェックします。
チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復を行います。

注意 チェックディスク中は本製品をパソコンから取り外さないでください。

●[チェックディスク]でチェックする

1. 本製品を USB 接続でパソコンに接続します。
2. [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。
3. [HDLP-G]のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
4. [ツール]タブの[チェックする]をクリックします。
チェックディスク画面が表示されます。
5. 必要に応じてオプションにチェックを入れ、[開始]をクリックします。

注意
●チェックディスクを中断することはできません。
●オプションにチェックを入れなくてもチェックディスクは実行できます。

以上でハードディスクのチェックは終了です。

DLNA サーバー機能を利用する

DLNA サーバー

本製品を DLNA サーバーとして使用する場合の注意

「DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤー」などの DLNA クライアント※1 なら、ネットワーク経由で本製品内のコンテンツをテレビなどで楽しむことができます※2。

※1　DLNA 対応版の弊社製 AVeL LinkPlayer や各家電メーカー製の DLNA ガイドライン準拠「ネットワークメディアプレーヤー」

※2　本製品は DLNA の策定するデジタル機器の相互接続性の標準設計ガイドライン「Home Network Device Interoperability Guidelines v1.0」に対応しています。

ご利用になる前に、以下をご確認ください。

注意

●ライブラリとして公開できる共有フォルダは、共有フォルダのアクセス権が［全てのユーザを許可］となっている共有フォルダのみです。

●本製品で再生できるファイルフォーマットは以下を参照してください。
【メディアプレーヤーで再生できるファイルフォーマット】（次ページ）

●本製品は工場出荷時状態で、DLNA サーバー機能が有効となっています。本機能を利用しない場合は、［サービス設定］の［DLNA Server］機能は無効に設定してください。【DLNA 設定】（129ページ）参照

●公開しているフォルダ内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダ内のファイルに変化があると、データベースの構築が行われます。この間、クライアントから再生できない場合があります。
また、DLNA サーバーで公開している共有フォルダへのファイルコピーは、公開していないものより遅くなります。

●パスワード機能はありません。

●本製品の設定中は、ネットワークメディアプレーヤーから接続しないでください。

●ネットワークメディアプレーヤーで再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

●公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、DLNA クライアントからの接続に時間がかかります。
また、公開中の共有にファイルをコピーしたり削除した場合にも、データベース構築が行われるため、時間がかかる場合があります。ファイル数によっては、数時間かかることもあります。

●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にデータをバックアップしてください。

●Windows Vista®のネットワークに表示されるアイコンについて
本製品の DLNA Server 機能を有効に設定している場合、Windows Vista®の「スタート」－「ネットワーク」で開いた画面に追加アイコンが表示されます。ダブルクリックするとメディアプレイヤーが起動する場合がありますが、お使いの PC のメディアプレイヤーが DLNA に準拠していない場合は、本製品の共有フォルダ内のコンテンツの再生はできません。

●弊社修理センターでは、本製品が故障した場合のデータ復旧は行っておりません。

メディアプレーヤーで再生できるファイルフォーマット

DLNA クライアントで再生できるファイルのファイルサイズによる制限はありませんが、本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。
※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

種類	ファイル拡張子
動画	mpg mpeg mpeg2 vob wmv asf avi mts m2ts mp4 divx
写真	jpeg jpg png bmp
音楽	mp3 wma wav pcm lpcm m4a mpa flac

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

注意

●ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で本製品内のファイルを再生する場合、本製品およびネットワークメディアプレーヤーの両方が対応しているファイルフォーマットである必要があります。
お使いのネットワークメディアプレーヤーが対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書などで確認してください。

メディアプレーヤーから参照できるようにする

ここでは、DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤーから本製品内のデータを参照できるようにする手順について説明します。

参照できるようにするには、参照させる共有フォルダに［DLNA Server で公開］設定する必要があります。
※本製品には、出荷時すでに［DLNA Server で公開］設定されている［dlna］フォルダがあります。

STEP 1 公開する共有フォルダを確認する

ネットワークメディアプレーヤーから参照できる共有フォルダを確認します。

1 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックします。



2 現在ネットワークメディアプレーヤーに公開されている共有フォルダが表示されます。



注意
●一覧に表示されている共有フォルダ以外は、ネットワークメディアプレーヤーで見ることができません。
【参照できる共有フォルダを追加・削除する】の79ページをご覧になり、参照できる共有フォルダを追加してください。

STEP2 ネットワークメディアプレーヤーからアクセスする

ネットワークメディアプレーヤーからのアクセス方法については、お持ちの「ネットワークメディアプレーヤー」の取扱説明書を参照してください。

以下は、弊社製 AVeL LinkPlayer（DLNA 対応版）からのアクセス手順の例です。

●ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の165ページ

●ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の165ページ

参考：
DLNA 対応の AVeL LinkPlayer からのアクセス手順

ここでは、DLNA 対応の AVeL LinkPlayer からのアクセス手順を例として説明します。

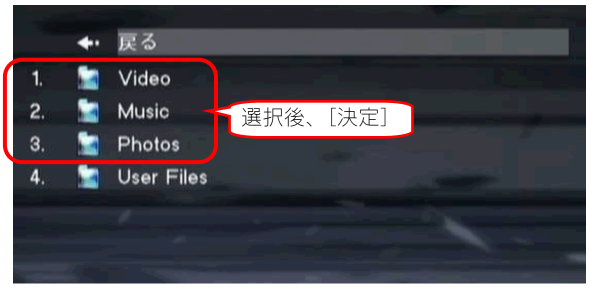
1 AVeL LinkPlayer をネットワークに接続します。
※詳細については、AVeL LinkPlayer の取扱説明書を参照してください。

2 AVeL LinkPlayer を起動すると自動的に「LANDISK」を認識します。
表示された本製品を選択後、リモコンの［決定］ボタンを押します。



▲設定されている本製品の名前が表示されます。

3 再生したい種類（［Video］［Music］［Photos］）を選択後、
リモコンの［決定］ボタンを押します。



4 ［DLNA Server で公開］設定した共有フォルダ内のデーター覧が表示されます。

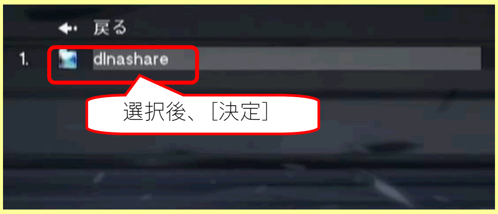
●弊社製 AVeL LinkPlayer でのムービーの再生方法などについては、弊社製 AVeL LinkPlayer の取扱説明書をご覧ください。

●複数の共有フォルダを［DLNA Server で公開］設定した場合は、それらすべての共有フォルダ内のデーター覧として表示されます。（共有フォルダ別には表示されません。）

●共有フォルダの一覧表示にしたい場合・・・

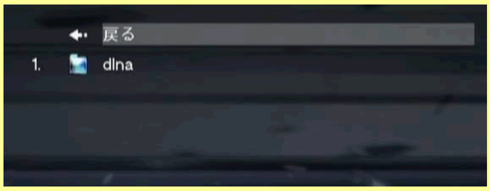
①共有フォルダ毎にデータを確認したい場合は、上記　3の手順の［User Files］で確認できます。

②以下の画面が表示されますので、［dlnashare］を選択後、リモコンの［決定］ボタンを押します。



③本製品で公開した共有フォルダ一覧が表示されます。

▼製品出荷状態の表示例



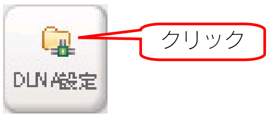
以上ですべての設定は終了です。

参照できる共有フォルダを追加・削除する

ネットワークメディアプレーヤーからの本製品内のデータの参照は、共有フォルダ単位での設定で行います。
ここでは、参照できる共有フォルダを追加したり、逆に参照できなくする手順について説明します。

共有フォルダを追加する

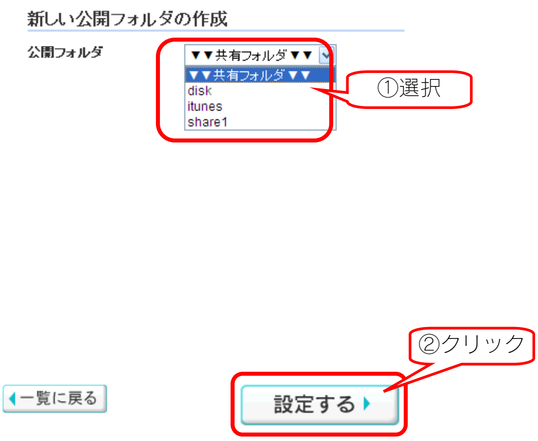
1 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックします。



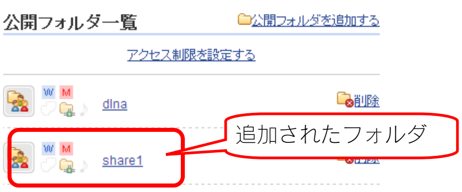
2 ［公開フォルダを追加する］ボタンをクリックします。



3 公開したいフォルダを選択し、[設定する]ボタンをクリックします。

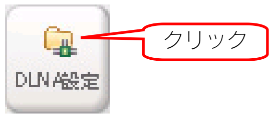


4 新しい公開フォルダの作成が完了したら、[一覧に戻る]ボタンをクリックし、公開フォルダ一覧で確認します。
以下は、share1 を公開フォルダに追加した例です。



共有フォルダを削除する

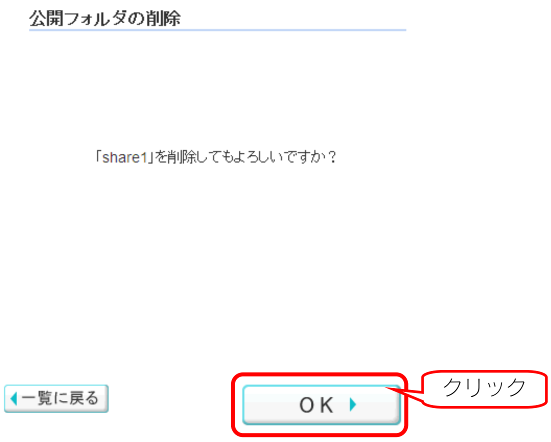
1 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックします。



2 削除したいフォルダの［削除］をクリックします。



3 確認画面が表示されますので、間違いが無ければ、[OK]ボタンをクリックします。



アクセスできるメディアプレーヤーを制限する

一部の「ネットワークメディアプレーヤー」で再生できなくする（アクセスできなくする）手順について説明します。

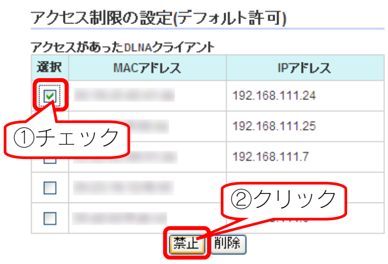
本製品の「DLNA Server」設定を有効にした場合、同一ネットワーク内のすべての「ネットワークメディアプレーヤー」からデータを再生できるように設定されます。
一部の「ネットワークメディアプレーヤー」で再生できなくする（アクセスできなくする）には以下の手順を行います。

> **注意** アクセス制限を行うには、「ネットワークメディアプレーヤー」から事前に一度本製品にアクセスしておく必要があります。

1 設定画面の［サービス］タブをクリックし、[DLNA 設定]をクリックします。



2 「アクセスがあった DLNA クライアント」一覧からアクセスを禁止する DLNA クライアント（ネットワークメディアプレーヤー）の［選択］をチェック後、［禁止］ボタンをクリックします。



3 選択した DLNA クライアントが、［アクセスを禁止する DLNA クライアント］一覧に移動したことを確認します。

> **注意** 上記設定変更後は、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）を起動しなおしてください。

これで、選択したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）からは本製品にアクセスできなくなります。

※アクセスを禁止したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）を元に戻す（アクセスを許可させる）場合は、画面の禁止したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）横の［選択］ボタンをチェック後、［許可］ボタンをクリックすれば戻ります。

初期設定をアクセス禁止にする設定にしたい場合は、以下の個所を参照してください。
【初期設定をアクセスを禁止する設定にする場合】（次ページ）

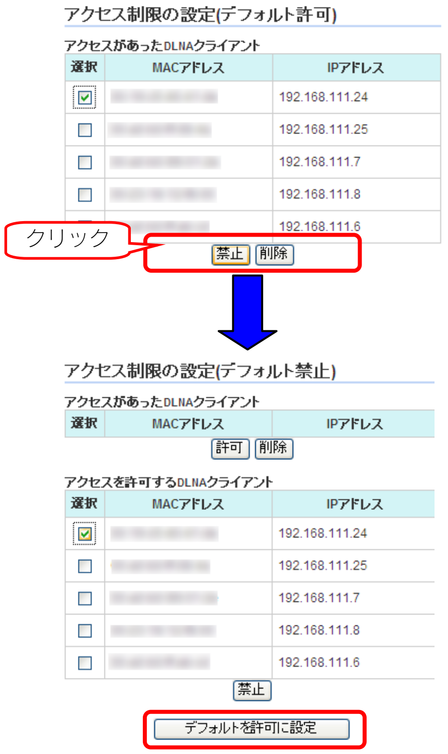
初期設定をアクセスを禁止する設定にする場合

複数のネットワークメディアプレーヤーの内、アクセス禁止よりも、アクセス許可のネットワークメディアプレーヤーの方が少ない場合には、初期設定をアクセス禁止（デフォルトを禁止）にし、許可するネットワークメディアプレーヤーのみを選択することもできます。

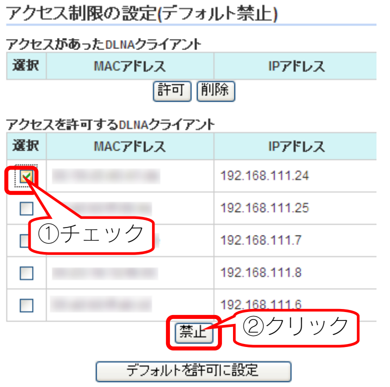
1 上記アクセス設定画面の［デフォルトを許可に設定］ボタンをクリックします。
ボタンが［デフォルトを禁止に設定］になります。

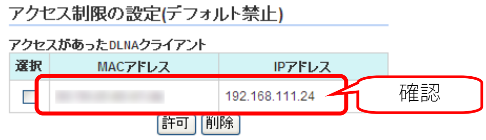
これで、今後本製品にアクセスする新規のネットワークメディアプレーヤーはすべてアクセス禁止になります。

※以前にアクセスを許可したネットワークメディアプレーヤーは、［アクセスを許可する DLNA クライアント］欄に表示され、許可した設定のままとなります。

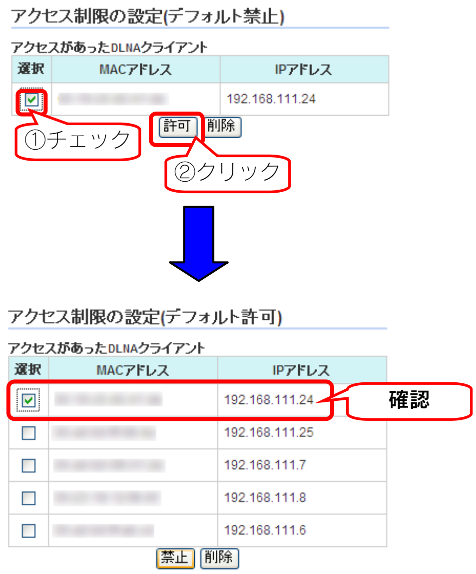


2 以前にアクセス許可をしたネットワークメディアプレーヤーを禁止に変更する場合は、［アクセスを許可する DLNA クライアント］一覧から禁止する DNLA クライアント横の［選択］をチェック後、［禁止］ボタンをクリックすれば禁止となります。





3 アクセス禁止しているネットワークメディアプレーヤーを許可に変更する場合は、［アクセスがあった DLNA クライアント］一覧から許可する DNLA クライアント横の［選択］をチェック後、［許可］ボタンをクリックすれば許可となります。



上記設定変更後は、ネットワークメディアプレーヤーを起動しなおしてください。

iTunes サーバー 機能を利用する

iTunes サーバー

本製品を iTunes サーバーとして使用する場合の注意

本製品の iTunes サーバー機能で公開した音楽ファイルは、iTunes をインストール済みのネットワーク接続されたパソコン上で再生することができます。
本製品の iTunes サーバー機能を利用するには、以下の iTunes が必要です。
Windows Vista®/XP/2000 の場合…iTunes7 以降
Mac OS X の場合…iTunes7 以降または 6.0.5
iTunes は apple 社のホームページ（http://www.apple.com.jp/itunes/download/）より入手することができます。
ご利用になる前に、以下をご確認ください。

注意

●ライブラリとして公開できる共有フォルダは、共有フォルダのアクセス権が［全てのユーザを許可］となっている共有フォルダのみです。

●本製品で公開できるファイルフォーマットは以下を参照してください。
【iTunes Server で公開できるファイルフォーマット】（次ページ）

●本製品は工場出荷時状態で、iTunes サーバー機能が有効となっています。本機能を利用しない場合は、共有フォルダの［iTunes Server］機能は無効に設定してください。

●公開しているフォルダ内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダ内にファイルの追加･削除を行った場合、最新状態を iTunes に反映するには、データベースの更新操作が必要です。データベースの更新中は、iTunes から再生できません。

●公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、iTunes からの接続に時間がかかる場合があります。

●iTunes 再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

●MP3 の ID3 タグ情報の文字は、UTF-16 のエンコーディングに対応しています。
UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。

●iTunes Store で購入した著作権保護されたファイルを共有する場合、iTunes にて再生しようとすると、「コンピュータ認証」画面が表示される場合があります。これは、iTunes の著作権管理機能により、著作権保護されたファイルを再生する場合の手続きになります。「コンピュータ認証」画面で認証を行うことで、最大 5 台まで著作権保護されたファイルを再生することができます。

●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にデータをバックアップしてください。

●弊社修理センターでは、本製品が故障した場合のデータ復旧は行っておりません。

iTunes Serverで公開できるファイルフォーマット

本製品は以下のファイル拡張子のファイルのみ可能です。

種類	ファイル拡張子		
音楽	mp3	m4a	m4p

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

iTunes から再生できるようにする

ここでは、iTunes から本製品内の音楽ファイルを再生できるようにする手順について説明します。

再生できるようにするには、iTunes に公開する共有フォルダに［iTunes Server で公開］設定する必要があります。
※本製品には、出荷時すでに［iTunes Server で公開］設定されている［itunes］フォルダがあります。

STEP1 公開する共有フォルダを確認する

iTunes から参照できる共有フォルダを確認します。

1 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックします。



2 現在 iTunes に公開されている共有フォルダが表示されます。

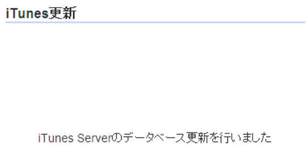


STEP2 データベースを更新する

1 設定画面の［iTunes 更新］ボタンをクリックします。



2 iTunes Server のデータベース更新が行われます。



以上で iTunes で再生することができる共有フォルダの設定は完了です。
次に実際に iTunes からアクセスできるかを確認します。

STEP3 iTunes からアクセスする

以下は、アクセス手順の例です。

●iTunes で本製品が表示されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の167ページ

●iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の167ページ

参考：iTunes からのアクセス手順

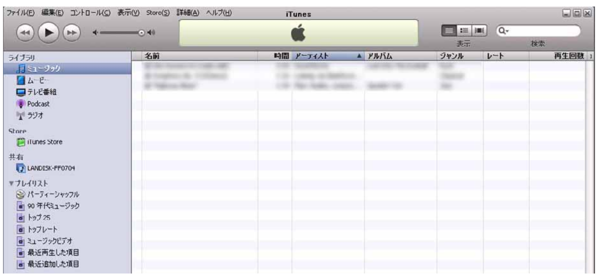
1 本製品と同じネットワークに接続されたパソコンの iTunes を起動します。

2 iTunes が起動すると、自動的に本製品の LANDISK の名前が iTunes の共有に表示されます。



注意 ●LANDISK の名前を変更している場合は、変更した名前が表示されます。

3 iTunes に表示された LANDISK の名前をクリックすると、本製品の iTunes サーバー機能で公開されている音楽ファイルが表示されます。



曲名をダブルクリックするとパソコンで音楽ファイルを再生します。

公開する共有フォルダを追加・削除する

iTunes からの本製品内のデータの参照は、共有フォルダ単位での設定で行います。
ここでは、参照できる共有フォルダを追加したり、逆に参照できなくする手順について説明します。

共有フォルダを追加する

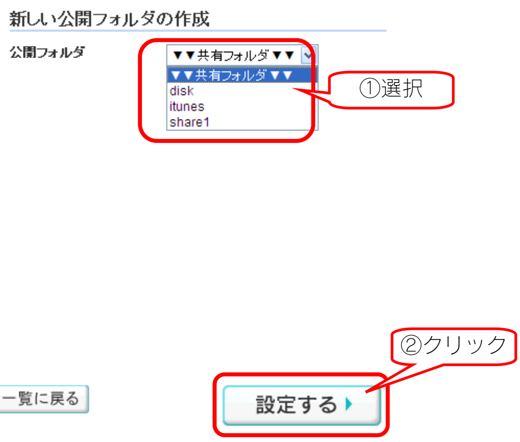
1 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックします。



2 追加して公開したい場合は、［公開フォルダを追加する］ボタンをクリックします。



3 公開したいフォルダを選択し、[設定する]ボタンをクリックします。



4 新しい公開フォルダの作成が完了したら、[一覧に戻る]ボタンをクリックし、公開フォルダ一覧で確認します。
以下は、share1 を公開フォルダに追加した例です。



共有フォルダを削除する

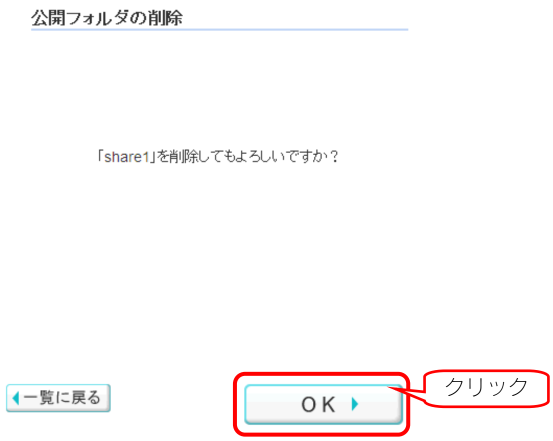
1 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックします。



2 削除したいフォルダの［削除］をクリックします。



3 確認画面が表示されますので、間違いが無ければ、[OK]ボタンをクリックします。



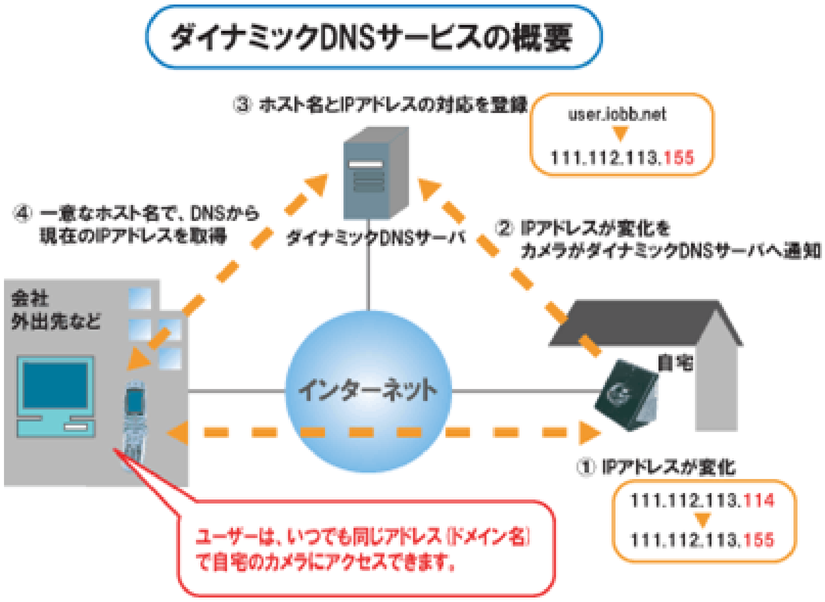
リモートリンク機能を利用する

iobb.net

本製品のリモートリンク機能を使用する場合の注意

弊社（I-O DATA）が提供するダイナミック DNS サービス「iobb.net」について説明します。

リモートリンク機能を使用するには、弊社が提供するダイナミック DNS サービスである「iobb.net」を使用します。
ダイナミック DNS とは、仮想サーバーなどを公開する場合に、IP アドレスを指定せずにドメイン名で指定できるようにする機能です。
接続するたびに IP アドレスが変わってしまう場合でも、ダイナミック DNS サービスを利用すれば、常にドメイン名でアクセスできます。



注意

●ご利用にはプロバイダよりグローバル IP が配布される環境が必要です。

●複数のルーターが存在している環境ではご利用いただけない場合があります。

●本製品は「iobb.net」以外のダイナミック DNS サービスには対応しておりません。

●アクセスしようとしているサーバーと同じ LAN 内でのパソコンからはドメイン名ではアクセスできません。外部の別のネットワークからドメイン名でアクセスできる事をご確認ください。
サーバーと同じ LAN 内から接続する場合には、ローカル IP アドレスでアクセスしてください。

●リモートリンク機能をご利用になる場合は、FTTH(光)、ADSL、CATV 等のブロードバンド回線をご用意ください。

●ホームメディアリンク機能を利用して外出先から自宅の本製品のコンテンツの再生を行う場合､本製品およびホームメディアリンククライアントを動作させるインターネット環境は FTTH(光)などの高速回線(実効速度 10Mbps 程度の回線速度を想定)を推奨します。

●高ビットレートの動画コンテンツ(8Mbps 以上)は正常に再生できない場合があります。

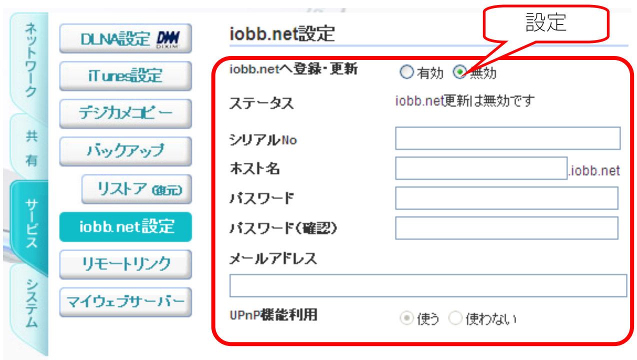
●ホームメディアリンク機能は、お客様のご利用環境、通信環境、接続回線の混雑状況により映像が乱れる、途切れる、見えない等の品質劣化が生じる場合があります。予めご了承ください。

iobb.net に登録する

STEP 1 仮登録する

1 設定画面の[サービス]タブをクリックし、[iobb.net 設定]をクリックします。

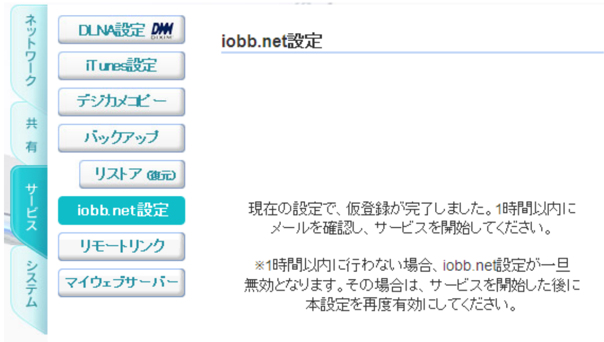
2 以下の順に設定します。
①[iobb.net へ登録・更新]を[有効]にチェックをつけます。
②[シリアル No]に本製品のシリアル番号（12 桁の英数字）を入力します。
※本製品貼付のシールに記載されています。
③[ホスト名]に iobb.net に登録するホスト名を入力します。
※ここで登録するホスト名が iobb.net で登録するドメイン名「http://(ホスト名).iobb.net/」となります。
④[パスワード]、[パスワード(確認)]に iobb.net に登録するパスワードを入力します。
※iobb.net の登録情報の確認、変更の為に必要です。
パスワードは確認のため、2 回入力してください。
⑤[メールアドレス]に iobb.net から送信される登録通知メールを受信するメールアドレスを入力します。
※Iobb.net は仮登録と本登録があり、それぞれ入力したメールアドレス宛に通知メールが送られます。
⑥[UPnP 機能利用]の[使う]にチェックをつけます。
※UPnP 機能はリモートリンクを利用する上で必要な機能です。
⑦必要な項目を入力したら、[確認する]ボタンをクリックします。



注意 ●使用できる文字については、【文字制限一覧】（124 ページ）をご覧ください。

3 入力内容が表示されますので、確認の上、[OK]ボタンをクリックします。
→iobb.net の登録処理が始まります。

4 しばらくすると、以下のような画面が表示されます。



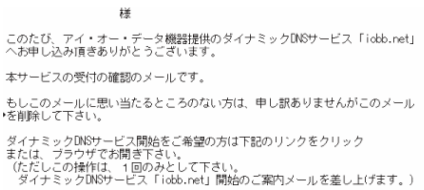
これで仮登録は完了です。

注意 ●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがって、入力し直し、再度[確認する]ボタンをクリックしてください。

●一部の環境では、LAN DISK の設定画面から UPnP 機能を使用してポート設定ができないことがあります。
この場合は、設定画面から UPnP 機能を使わないを選び、お使いのルーターの設定画面より手動でポートを開放の設定をしてください。
ポートの開放方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。
※「ポートの開放」はお使いのルーターによって、「ポートフォワーディング」や「仮想サーバー」などと表記される場合があります。

STEP2 本登録する

1 iobb.net より仮登録の通知メール（件名：ダイナミック DNS サービス「iobb.net」申込みのご案内(xxx.iobb.net)）が送信されますので、通知メールの内容にしたがい、本登録のための登録フォームにアクセスします。


様

このたび、アイ・オー・データ機器提供のダイナミックDNSサービス「iobb.net」へお申し込み頂きありがとうございます。

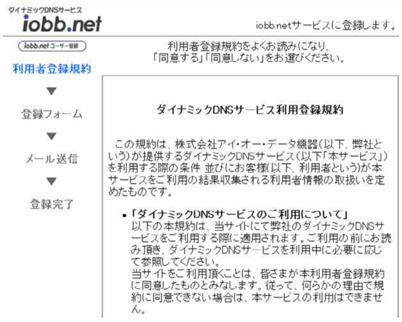
本サービスの受付の確認のメールです。

もしこのメールに思い当たるところのない方は、申し訳ありませんがこのメールを削除して下さい。

ダイナミックDNSサービス開始をご希望の方は下記のリンクをクリックまたは、ブラウザでお開き下さい。
（ただしこの操作は、１回のみとして下さい。
ダイナミックDNSサービス「iobb.net」開始のご案内メールを差し上げます。）

注意 ●仮登録後 1 時間経つと、iobb.net 設定が無効となります。この場合は本登録を行った後、再度設定を有効にしてください。

2 登録フォームの指示にしたがって、iobb.net の本登録を行います。

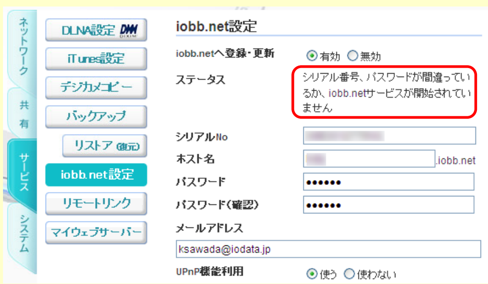


▼

次のように表示されたら、iobb.net の登録は完了です。



注意 ●仮登録完了後、改めて設定画面（iobb.net 設定）を開き直すと、以下のように表示されますが、本登録が済んでいないためです。本ページの本登録を完了してください。
「シリアル番号、パスワードが間違っているか、ダイナミック DNS サービスが開始されていません」



3 iobb.net の本登録完了のメールが送信されます。

本登録後、設定画面に戻ると、以下のように表示されます。



iobb.net のサイトから登録情報の確認と変更が行えます。
Web ブラウザーで次の URL を入力すると画面が表示されます。
http://www.iobb.net/ddns/xxx.iobb.net/
※xxx は登録したホスト名になります。
(サイトにアクセスする際、登録した製品シリアル番号とパスワードの入力が必要です。)



これで、iobb.net の登録は完了しました。
次に【リモートアクセス】（次ページ）の設定を行ってください。

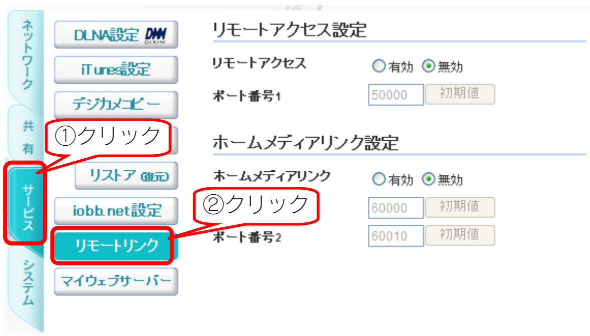
リモートアクセス

●リモートアクセスにログインできるのは、同時に 3 ユーザーまでです。

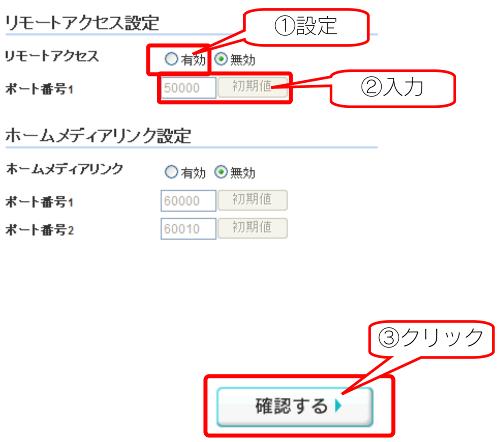
リモートアクセスの設定を行う

本製品の共有フォルダを「公開フォルダ」として設定することで、インターネット経由で外部からファイルにアクセスできる「リモートアクセス機能」を以下の方法で設定します。

1 設定画面の[サービス]タブをクリック、[リモートリンク]をクリックします。



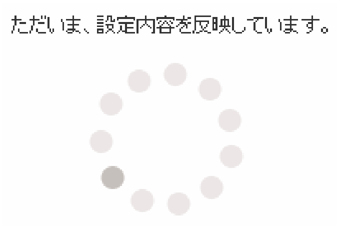
2 以下の順に設定します。
①[リモートアクセス]を[有効]にします。
②[ポート番号 1]にリモートアクセスに使用するポート番号を入力します。
③必要な項目を入力したら、「確認する」ボタンをクリックします。



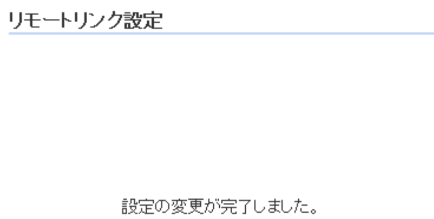
●ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。
ただし、同一ネットワーク上で複数の LAN DISK Home でリモートアクセスを使用する場合は、それぞれ異なるポート番号を設定する必要があります。

●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがって、入力し直し、再度[確認する]ボタンをクリックしてください。

4 入力内容が表示されますので、確認の上、[OK]ボタンをクリックします。
→リモートアクセスの設定処理が始まります。



次のような画面が表示されたら、設定完了です。

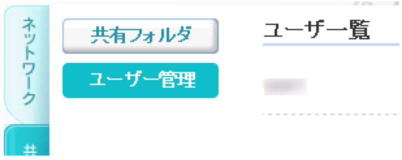


これで、リモートアクセスの設定は完了しました。
次ページ以降で、リモートアクセスでの操作を説明していますのでご確認ください。

インターネット経由で共有フォルダにアクセスする

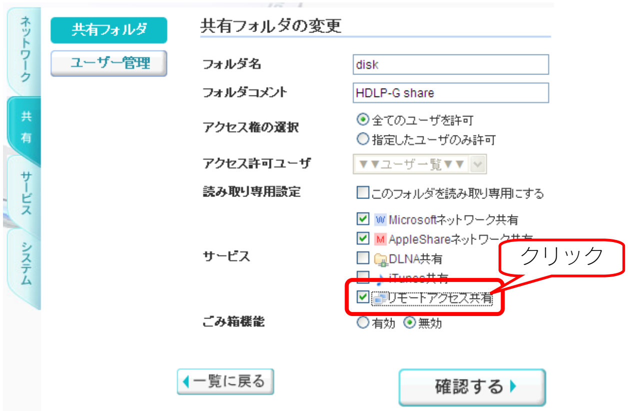
インターネットから、リモートアクセス機能にて LANDISK 内のファイルにアクセスする手順について説明します。

リモートアクセスにログインするユーザーを確認/登録する



リモートアクセスは、リモートアクセスクライアントをリモートリンクスタートページから実行します。このとき LAN DISK に登録されているユーザーでリモートアクセスクライアントにログインします。LAN DISK に登録されているユーザーを確認するには、設定画面の[共有]タブから、[ユーザ管理]ボタンをクリックし、表示されるユーザー一覧を確認してください。
また、ユーザーが登録されていない場合は、新規ユーザーボタンよりユーザーを新規登録してください。【ユーザを登録する】（48ページ）

リモートアクセスで公開する共有フォルダを設定する



1 設定画面の[共有]タブから、[共有フォルダ]ボタンをクリックします。

2 各共有フォルダの設定にて、リモートアクセスで公開するフォルダの[リモートアクセス共有]にチェックをつけます。

リモートアクセスを開始する

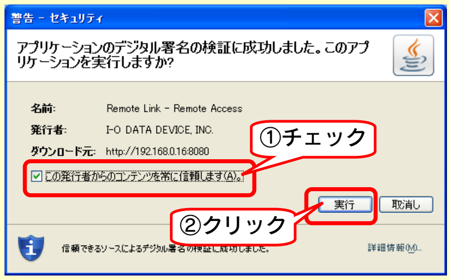
1 Web ブラウザでリモートリンクスタートページを開きます。
http://rm.iobb.net/

2 リモートリンクスタートページの[リモートアクセス]ボタンをクリックします。
→しばらく待つとリモートアクセスクライアントが起動します。



注意

●次のような画面が表示された場合は、「この発行社からのコンテンツを常に信頼します」にチェックをつけて「実行」ボタンをクリックしてください。



●次のような画面が表示された場合は、お使いのパソコンに Java Runtime Environment がインストールされていません。【Java Runtime Environment をインストールする】（95ページ）の手順にしたがって、Java Runtime Environment をインストールしてください。



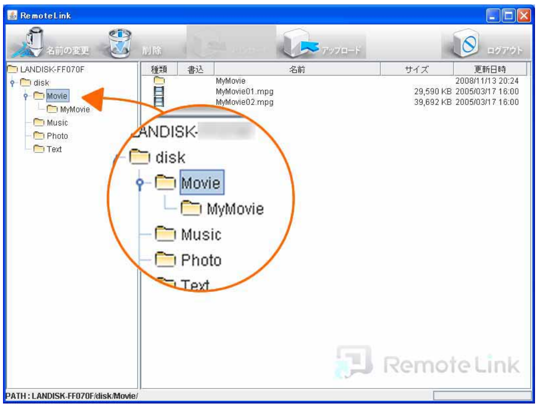
3	リモートアクセスクライアントにログインします。 ①[ユーザー名]に、LAN DISKに登録したユーザー名を入力します。 ②[ホスト名]に、LAN DISKのiobb.net設定で登録したホスト名を入力します。 ③[パスワード]に、LAN DISKに登録したユーザーのパスワードを入力します。 ④[ログイン]ボタンをクリックします。



注意 ●リモートアクセスに同時にログインできるのは、3ユーザーまでです。

公開するフォルダを参照する

公開するフォルダがツリー構造で表示されます。



【参考】Java Runtime Environment をインストールする

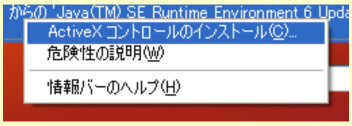
①次のサイトで、Java Runtime をダウンロードします。

http://www.java.com/ja/download

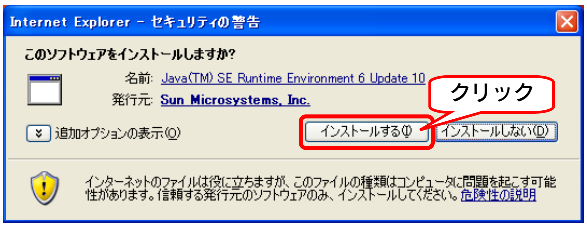


注意

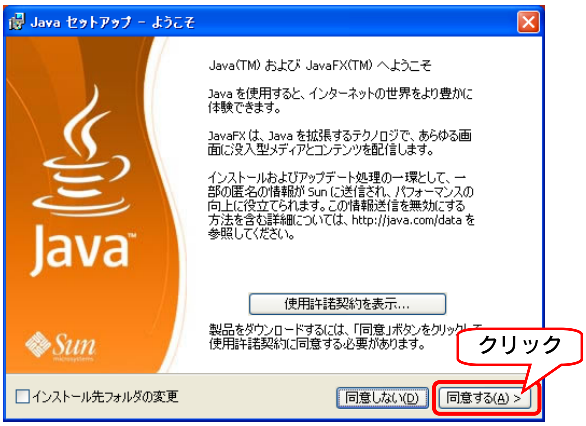
●自動的にダウンロードが開始されずに、エラーが発生した場合は、Web ブラウザのアドレス表示部下の帯部分を右クリックして、「ActiveX コントロールのインストール」をクリックします。



②以下のような画面が表示された場合は、[インストールする]ボタンをクリックします。

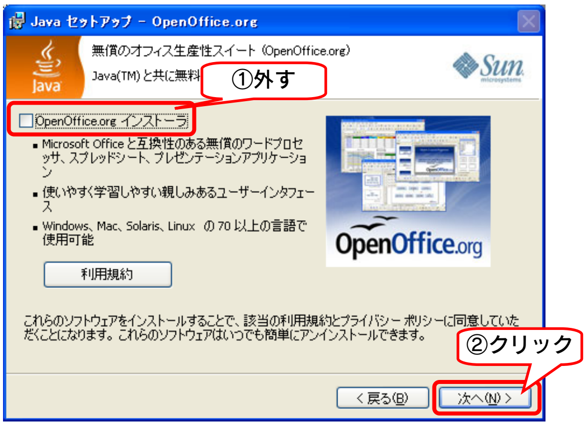


③使用許諾契約を確認の上、[同意する]をクリックします。

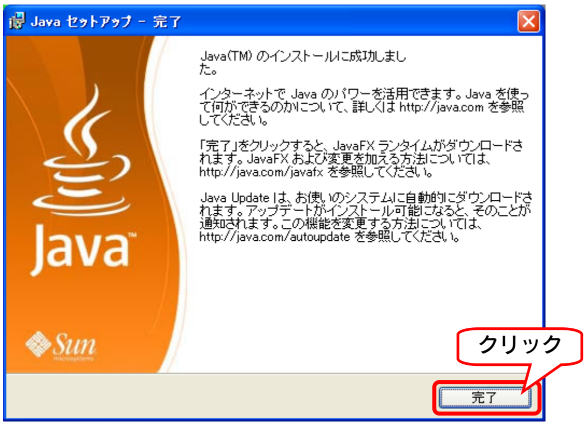


④オプションソフトウェアのインストールが選択できます。

リモートリンク機能を使用する上で、このソフトウェアは必要ないので、チェックボックスのチェックを外して、[次へ]ボタンをクリックします。



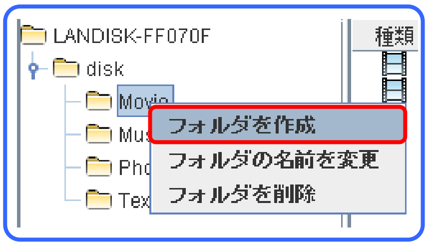
⑤以下の画面で[完了]ボタンをクリックしたら、Java Runtime のインストールが完了です。



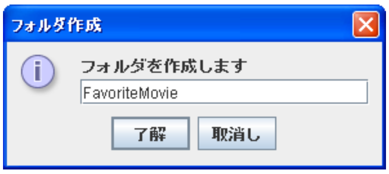
使用方法

フォルダを作成する

1 フォルダを右クリックし、表示されたメニューから[フォルダを作成]をクリックします。



2 名前を入力し、[了解]ボタンをクリックします。



ファイルやフォルダの名前を変更する

1 [名前の変更]ボタンをクリックします。



ファイル/フォルダを選択して、右クリックメニューでも実行できます。



2 名前を入力し、[了解]ボタンをクリックします。



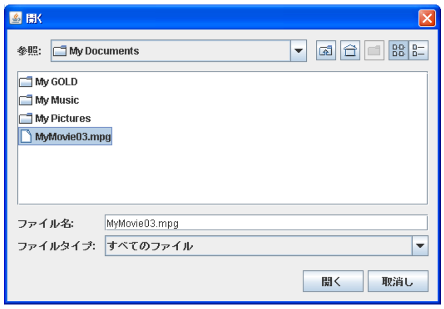
注意 ●使用できる文字については、【文字制限一覧】（124ページ）をご覧ください。

ファイルをアップロードする

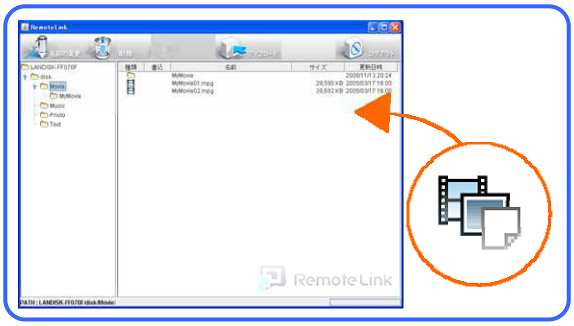
1 [アップロード]ボタンをクリックします。



2 表示されるファイルダイアログからアップロードするファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
→ファイルがLAN DISK内にアップロードされます。



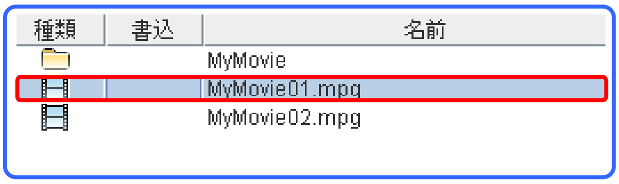
ファイルのアップロードはドラッグ&ドロップでもできます。



注意
●フォルダごとにアップロードすることはできません。フォルダを作成後、作成したフォルダ内にファイルをアップロードしてください。
●すでにアップロードされているファイルを再度アップロードして上書きすることはできません。すでにアップロードされているファイルを削除して、再度アップロードしてください。

ファイルをダウンロードする

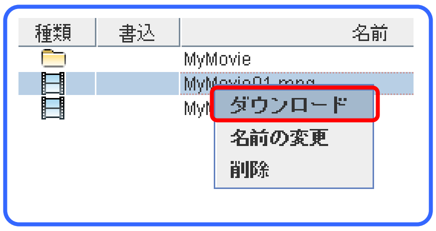
1 ダウンロードするファイルを選択します。



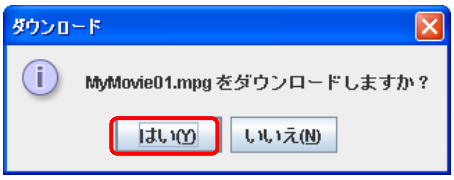
2 [ダウンロード]ボタンをクリックします。



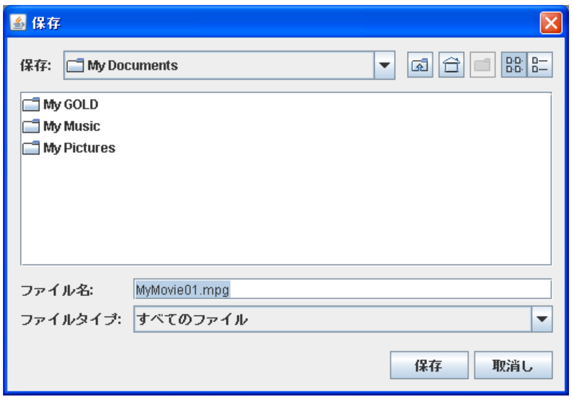
ファイルを選択して右クリックメニューでも実行できます。



3 [はい]をクリックします。



4 表示されるファイルダイアログからファイルのダウンロード先を選択し、[保存]ボタンをクリックします。



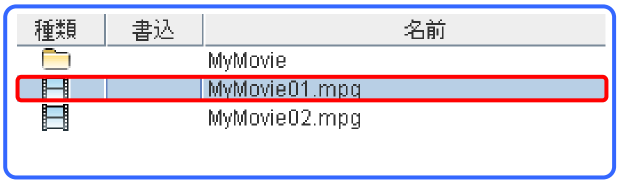


●フォルダごとにダウンロードすることはできません。フォルダを作成後、作成したフォルダ内にファイルをダウンロードしてください。

●ファイルのダウンロードはドラッグ&ドロップで行えません。

ファイル/フォルダを削除する

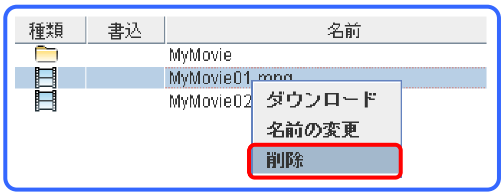
1 削除するファイル/フォルダを選択します。



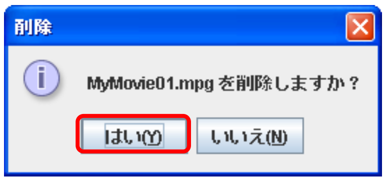
2 [削除]ボタンをクリックします。



ファイル/フォルダを選択して、右クリックメニューでも実行できます。



3 [はい]ボタンをクリックすると、削除されます。



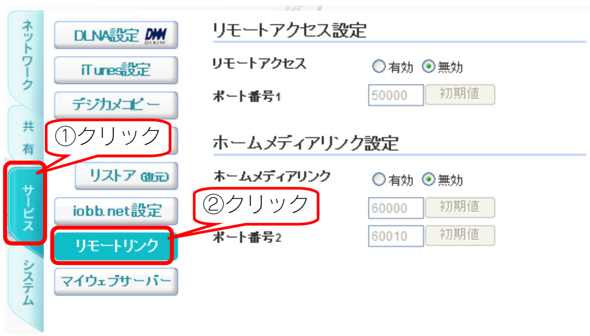
ホームメディアリンク

異なるネットワーク上にある PC にて、ホームメディアリンククライアントから
ログインすることで、インターネットを経由して、LAN DISK 上に保存されている
コンテンツを再生することが可能になります。

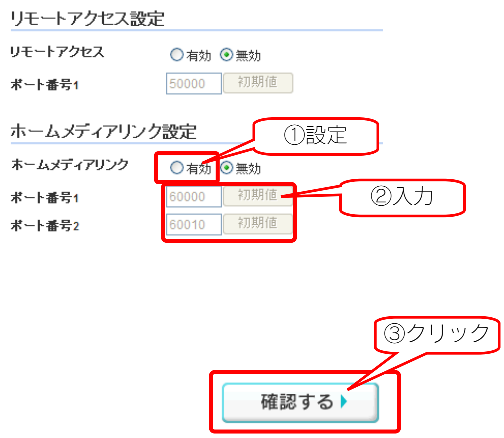


ホームメディアリンクの設定を行う

1 設定画面の[サービス]タブをクリック、[リモートリンク]をクリックします。

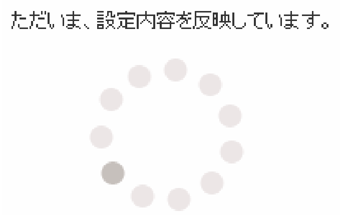


2 以下の順に設定します。
①[ホームメディアリンク]を[有効]にします。
②[ポート番号 1][ポート番号 2]にホームメディアリンクに使用するポート番号を入力します。
③[確認する]ボタンをクリックします。

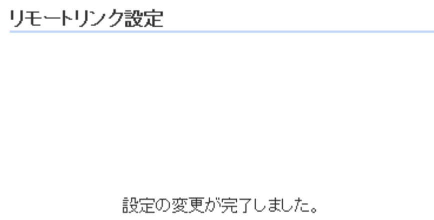


注意
●ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。
●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがい、入力しなおしてから、再度「確認する」ボタンをクリックしてください。
●同一ネットワーク上で複数の LAN DISK Home がホームメディアリンクを使用する場合は、それぞれの LAN DISK home に異なるポート番号を設定してください。

3 入力内容が表示されますので、確認の上、「OK」ボタンをクリックします。
→リモートアクセスの設定処理が始まります。



次のような画面が表示されたら、設定完了です。



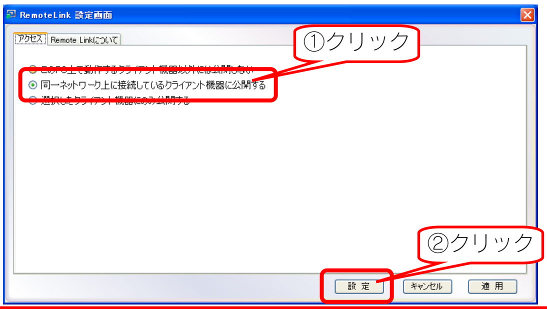
これで、ホームメディアリンクの設定は完了しました。
次ページで、インターネット経由で LAN DISK 内のコンテンツを再生する方法を説明していますのでご確認ください。

インターネット経由で LAN DISK 内のコンテンツを再生する

Home Media Link Client を起動する

1 インストールした Home Media Link Client を起動します。
サポートソフトのインストール方法は、次のページをご確認ください。
【①設定ソフトをインストールする】（15ページ）

2 接続する機器を設定します。
①ネットワーク上のクライアント機器で再生できるようにするため、[同一ネットワーク上に接続しているクライアント機器に公開する]をクリックします。
②[設定]ボタンをクリックします。



再生できる機器を限定したい場合は、[選択したクライアント機器にのみ公開する]をクリックします。
機器のリストが表示されますので、再生できる機器を選択して、[公開]ボタンをクリックします。



3 ログインします。
①[ユーザ名]に、LAN DISK に登録されたユーザー名を入力します。
②「ホスト」に iobb.net に登録したホスト名を入力します。
※必ず、ホスト名の後に「.iobb.net」を追記し、
ホスト名.iobb.net の形式で入力してください。
③パスワードに、LAN DISK ユーザーのパスワードを入力します。
④[リンク開始]ボタンをクリックします。



DiXiM Media Client を起動する

1 DiXiM Media Client を起動し、コンテンツを再生します。
使用方法については、[スタート] → [すべてのプログラム] → [DigiOn] → [DiXiM ヘルプ] をご確認ください。
サポートソフトのインストール方法は、次のページをご確認ください。
【①設定ソフトをインストールする】（15ページ）



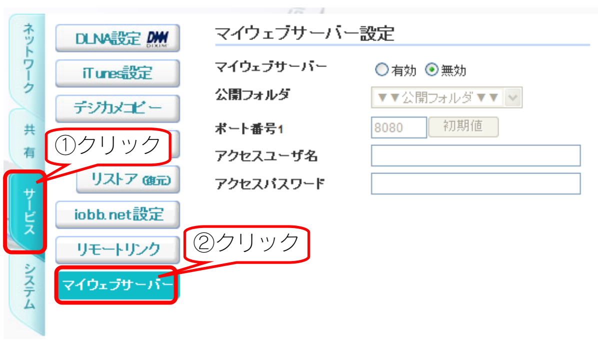
注意
- 1 台の LAN DISK Home に対して、ホームメディアリンククライアントは、2 クライアントまで接続できます。
- 同時再生は 2 台まで対応しています。複数のホームメディアリンククライアントで接続する場合、トータルで 2 台まで再生できます。
- ホームメディアリンククライアントを実行するパソコンはスタンバイ機能を無効に設定してください。

マイウェブサーバー

マイウェブサーバー機能とは、自分で作成したお好みの Web ページを本製品内に保存し、自分専用の Web サーバーとしてインターネット経由で Web ページを参照することができます。マイウェブサーバー機能の設定は以下の手順で行います。

マイウェブサーバーの設定を行う

1 設定画面の[サービス]タブをクリック、[マイウェブサーバー]をクリックします。



2 以下の順に設定します。

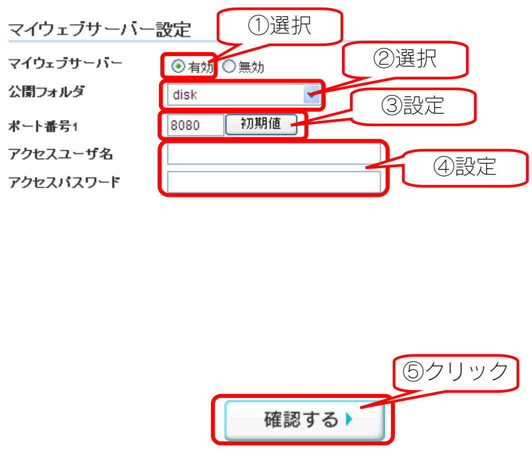
①[マイウェブサーバー]を[有効]にします。

②[公開フォルダ]から、公開する Web ページが保存されている共有フォルダを選択します。

③[ポート番号 1]にポート番号を設定します。ポート番号は通常変更する必要がありません。

④[アクセスユーザー名]と[パスワード]を設定します。自分専用の Web ページを公開するとき、特定のユーザーのみ参照できるように、認証機能を設定するためのものです。何も入力しない場合は、Web ページへのユーザー制限を行いません。

⑤[確認する]ボタンをクリックします。



注意

●ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。

●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがい、入力しなおしてから、再度「確認する」ボタンをクリックしてください。

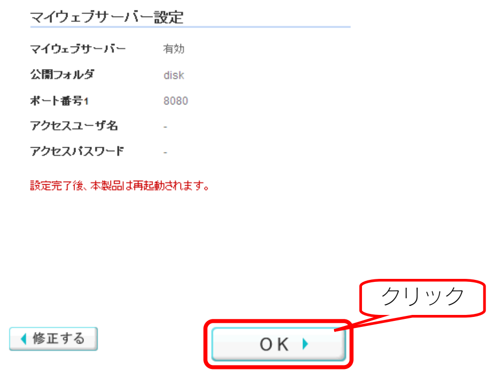
注意

●同一ネットワーク上で複数の LAN DISK Home がマイウェブサーバー設定する場合は、それぞれの LAN DISK Home に異なるポート番号を設定してください。

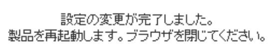
●公開フォルダは、すべてのユーザーがアクセス可能な全共有のみ指定できます。

●ここで指定するアクセスユーザーは、マイウェブサーバー専用です。【ユーザを登録する】（48ページ）で作成したユーザーとは関係ありません。

3 入力内容が表示されますので、確認の上、「OK」ボタンをクリックします。設定完了後、本製品は再起動します。



次のように表示されたら、マイウェブサーバーの設定は完了です。



これで、マイウェブサーバーの設定は完了しました。
次ページで、インターネット経由で自分専用のウェブページを閲覧する方法を説明していますのでご確認ください。

注意

●マイウェブサーバー設定を有効に設定したタイミングで、選択した公開用共有フォルダのルートに「robot.txt」というファイルが存在しなければ生成します。

「robot.txt」はマイウェブサーバー機能で公開する Web コンテンツを、検索エンジンのサーチ対象になりにくくする効果があります。特に問題なければ削除することもできます。

●設定によっては、アクセス制限なしで共有フォルダ内の WEB コンテンツをインターネット上に公開することになりますのでご注意ください。

インターネット経由で自分専用のウェブページを閲覧する

マイウェブサーバーにアクセスするには、Web ブラウザに以下のアドレスを入力します。

http://[ホスト名].iobb.net:[ポート番号]/[HTML ファイル]

※ホスト名は、iobb.net に登録したホスト名、［ポート番号］はマイウェブサーバーを有効にした際に設定したポート番号、[HTML ファイル]は公開フォルダ内に保存された、閲覧したいウェブページファイルを入力します。

マイウェブサーバーへアクセスした時､以下のような画面が表示された場合は、マイウェブサーバー設定で登録した「アクセスユーザ名」と「アクセスパスワード」を入力します。



以上で自分専用の Web ページが参照できます。

注意

- ●マイウェブサーバー機能では、CGI 機能は使用できません。
- ●マイウェブサーバー機能で公開する共有フォルダのディレクトリインデックスは、共有フォルダのルートの「index.html」または、「index.htm」となります。

システムを管理する

管理者パスワードを変更する

管理者は本製品の設定すべてや、全ての共有（全共有、ユーザ共有）にアクセスできる権限を持っています。
※全ての共有にアクセスできるのは Windows パソコンからのみです。他の人にパスワードが漏れないようしっかり管理し、定期的にパスワードを変更するようにしましょう。
※管理者パスワードは以下の場合に使用します。

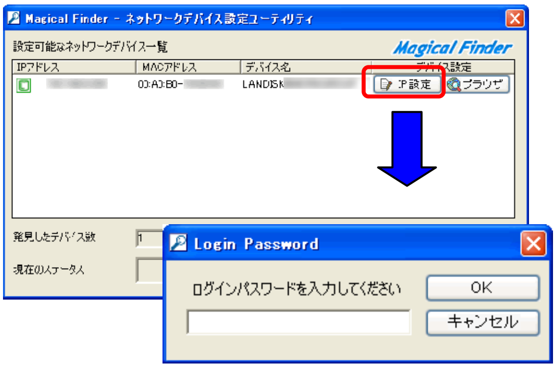
注意
●パスワードは忘れないようしっかり管理しましょう。
設定したパスワードを忘れた場合、確認する方法はありません。
設定したパスワードを忘れてしまった場合には、本製品背面の［RESET］ボタンでリセットしないと使用できなくなります。
【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（111ページ）参照

●出荷時、パスワードは設定されていません。

・本製品の設定画面を開く場合



・Windows 用ユーティリティー「Magical Finder」から「IP 設定」画面を開く場合

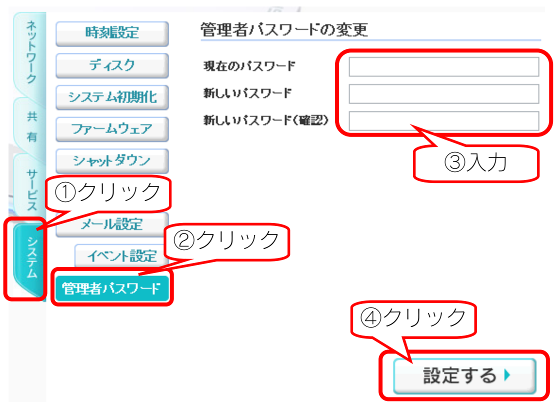


・管理者として共有フォルダにアクセスする際のパスワード
※全ての共有にアクセスできるのは Windows パソコンからのみです。



ここでは、管理者用の本製品設定時のパスワードの設定手順について説明します。

1 本製品の設定画面の[システム]タブをクリックし、[管理者パスワード]をクリックします。
「現在のパスワード」と「新しいパスワード」「新しいパスワード（確認）」を設定後、［設定する］ボタンをクリックします。



現在のパスワード	管理者の現在のパスワードを入力します。 ※出荷時の場合は、設定されていません。（空欄のままにします。）
新しいパスワード	管理者の新しいパスワードを入力します。 注意 ●パスワードで使用できる文字には、以下の制限があります。 【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。 ●入力するパスワードは、「●●●●●」と表示され、確認できませんので、お間違えないようご注意ください。
新しいパスワード（確認）	確認のため管理者の新しいパスワードをもう一度入力します。

2 ［結果］の画面が表示されます。

以上で管理者用パスワードの設定は終了です。

ファームウェアを更新する

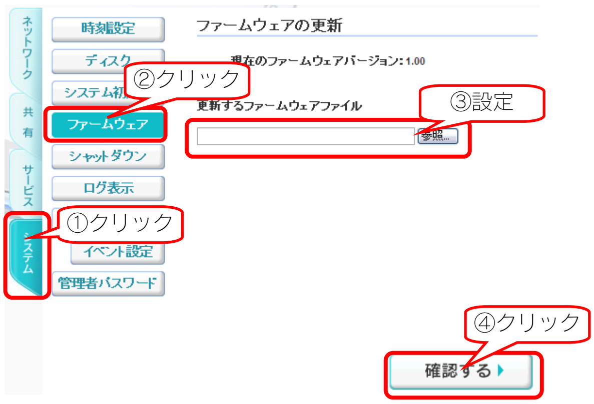
ファームウェアは弊社ホームページよりダウンロードできます。

http://www.iodata.jp/lib

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも装置の修正など、重要な更新が含まれます。
定期的に弊社サポート・ライブラリ（http://www.iodata.jp/lib）を確認し、最新のファームウェアで本製品をご利用ください。

ここでは、ファームウェアの更新手順について説明します。

1 本製品の設定画面の[システム]タブをクリックし、[ファームウェア]ボタンをクリックします。
[参照]ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアのファイル名(update.tgz)を設定し、［確認する］ボタンをクリックします。



2 本製品の[STATUS]ランプが点滅を開始します。
更新後、本製品が再起動します。

※ファームウェアのファイルサイズおよび本製品の状態により変化しますが、5～6 分程度かかります。

以上でファームウェアの更新（アップデート）は終了です。

注意

●ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアーウォールの設定を解除してください。
解除されていないと、正常に更新できない場合があります。

●ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。
更新中に電源を切ると、本製品を破損する恐れがあります。

●ファームウェアの更新後、本製品は自動的に再起動します。
再起動完了時、DHCP サーバーのあるネットワーク環境では、[STATUS]ランプ（青色）が点灯します。
DHCP サーバーのないネットワーク環境や、DHCP サーバーからの IP アドレス取得に失敗すると、[STATUS]ランプが赤く点滅します。
DHCP サーバーがあるのに、[STATUS]ランプが赤く点滅している場合には、以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の145ページ

●完全にファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザがいないことを確認するか、パソコンと本製品を 1 対 1 で接続して実行してください。

●ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。

●ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、ブラウザのキャッシュのクリアを行ってください。

システムログを確認する

本製品の動作履歴がログ情報として記録されています。
※システムログの一覧は、以下の個所を参照してください。
【ログ一覧】（125ページ）

1	本製品の設定画面の[システム]タブをクリックし、[ログ表示]ボタンをクリックします。 システムログが表示されます。



※画面は一例です。
ご利用環境により、表示される内容は異なります。

▼ログ	
日時	ログを記録した日時を表示します。
プログラム	イベント名を表示します。
内容	ログ内容を表示します。 ログ内容の詳細については【ログ一覧】（125ページ）をご覧ください。

注意
ログ情報は、以下のような状況のときに削除されます。
- ・ログのサイズが一定のサイズを超えた場合
- ・メール通知の設定で[通知する]にチェックしていて、ログメールが送信された後

※システムログをメール送信する設定については、【システムログをメール送信する】（次ページ）をご覧ください。

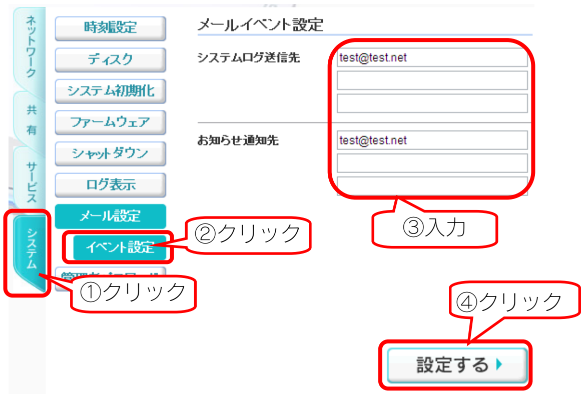
これでシステムログの確認は終了です。

システムログをメール送信する

システムログ情報をメール送信することができます。
※システムログの一覧は、以下の個所を参照してください。

【ログ一覧】（125ページ）

1 本製品の設定画面の[システム]タブをクリックし、[イベント設定]ボタンをクリックします。
送信先メールアドレスを入力後、［設定する］ボタンをクリックします。
メール送信先を変更したい場合は、入力し直して、[設定する]ボタンをクリックしてください。



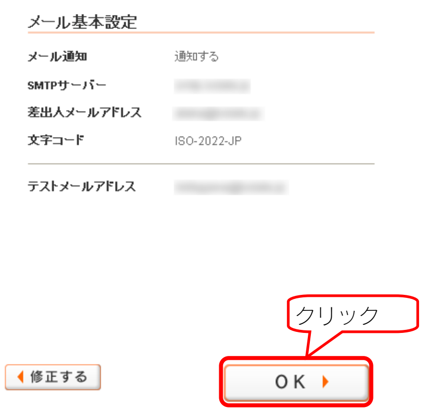
システムログ送信先	システムログを送信する送信先のメールアドレスを入力します。 ※メール送信先は、３宛先までです。
お知らせ通知先	エラー通知、デジカメバックアップの正常終了/失敗、リビルド（復元）の成功/失敗を通知するメールアドレスを入力します。 ※メール送信先は、３宛先までです。

2 メール送信機能全般の設定をします。
[メニュー]の［メール設定］ボタンをクリックします。
［メール通知］の［通知する］をチェックし、［SMTP サーバー］［差出人メールアドレス］を入力します。
すべて設定後、［確認する］ボタンをクリックします。

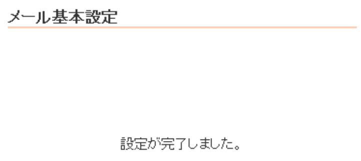


メール基本設定	
メール通知	ログ情報やバックアップ完了通知などをメールで送信するかどうかを設定します。
SMTP サーバー	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバ一名を入力してください。
差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定します。
文字コード	メールの本文のエンコード方式を指定します。 ※通常は、「ISO-2022-JP」を選択してください。
メール送信テストを行う	テストメールの送信先を入力します。

3 確認画面が表示されますので、間違いがなければ、[OK]ボタンをクリックします。



4 設定が完了すると、以下の画面が表示され、メールの送信テストにチェックをつけていた場合、テストメールが送信されます。

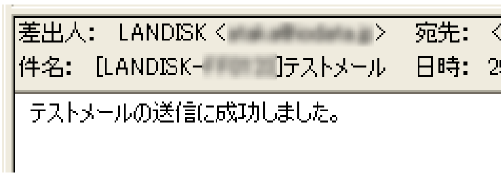


5 メール受信側のパソコンでは、以下のようなメールが届きます。
※表示はお使いのメーラーにより異なります。

▼件名



▼内容



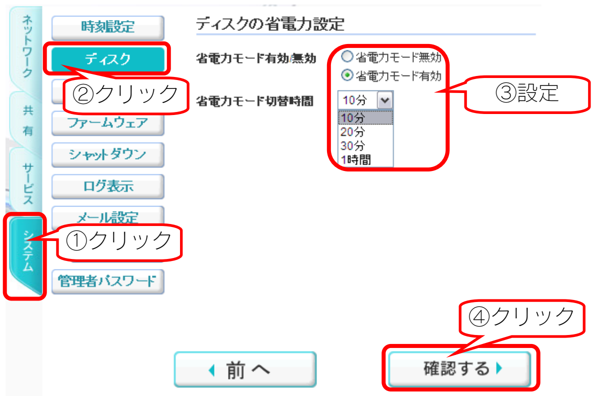
これでシステムログ情報のメール送信設定は終了です。

> 注意
> ●システムログは、LAN DISK 内のログが一定の大きさを超えた場合に送信されます。

省電力機能を使う

ここでは、ハードディスクの省電力機能の設定について説明します。
ハードディスクを省電力設定にすることにより、一定時間アクセスがなければ内蔵ハードディスクの回転を停止します。
これにより電力消費を抑えることができます。
SSD 搭載モデルは消費電力が低いので設定しなくても消費電力を抑えられます。

1 本製品の設定画面の[システム]タブをクリックし、[ディスク]ボタンをクリックします。
[省電力有効]をクリックし、設定したい時間を選択して、[確認する]ボタンをクリックします。

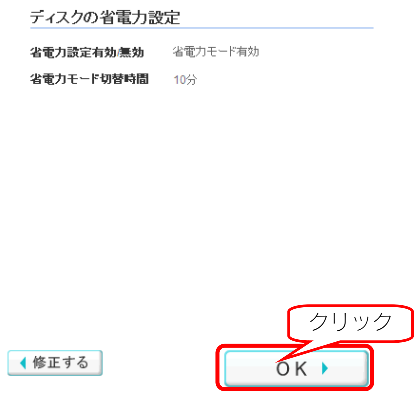


▼ディスクの省電力設定	
	一定時間、本製品や外付ハードディスクにアクセスがない場合に、ハードディスクの動作を停止させる機能です。この停止までの時間を変更できます。（初期値は「なし」です。）

注意

●設定時間内にハードディスクにアクセスしなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクは停止しません。
また、ハードディスク停止中に本製品にアクセスしていなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクが回転する場合があります。

2 確認画面が表示されます。
設定内容に間違いが無いか確認し、[OK]ボタンをクリックします。



以上でハードディスクの省電力機能の設定は終了です。

注意

本製品を DHCP クライアントモードでご使用の場合、アドレスを更新する際に、内蔵ディスクがスピンアップします。
また、ネットワークの通信中やシステム処理のためにディスクアクセスすることがあります。
DHCP サーバーのリース時間を長く設定すると、アドレス更新によるスピンアップ間隔も長くできます。

出荷時設定に戻す

出荷時設定への戻し方

次のような場合、設定を出荷時設定（初期設定）に戻してください。

・本製品の IP アドレスがわからなくなった場合
・管理者の情報（［パスワード］など）がわからなくなった場合

本製品の出荷時設定への戻し方

本製品の出荷時設定への戻し方には 2 通りの方法があります。

●方法 1：IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

→手順については【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（次ページ）参照

本製品背面の［RESET］ボタンで初期化します。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。

初期化される項目は下記の３つのみです。

IP アドレス	［DHCP クライアント］設定を［on］にします。 IP アドレスを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	「なし」に設定します。 管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。

注意
●上記以外のすべての設定情報は変更されません。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）

●方法 2：本製品のすべての設定を出荷時状態に戻す

→手順については【本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す】（112ページ）参照

設定画面の[システム初期化]で本製品のすべての設定の初期化、および、内蔵ハードディスクをフォーマットします。
※HDLP-G250 の場合で約 5 分かかります。 （時間は本製品の容量によって変化します。）

注意
●[内蔵 HDD の完全消去を行う]をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、すべてのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、以下の時間を要します。）
・HDLP-G500：約 11 時間

初期化される項目は下記のとおりです。

・すべての装置設定
・内蔵ハードディスクの全データ

注意
●事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。
※USB 接続モード時に保存したデータも消去されます。
(外付ハードディスクのデータも事前にバックアップしてください。)

方法１

IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

本製品背面の［RESET］ボタンで IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。

●初期化項目

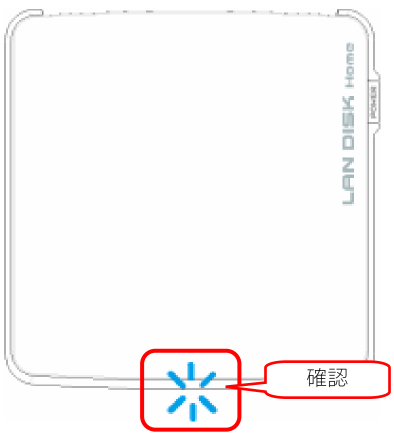
初期化される項目は下記の３つのみです。
※他の設定は初期化されません。

IP アドレス	［DHCP クライアント］設定を［on］にします。 IP アドレスを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	「なし」に設定します。 管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。

注意

●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
●ネットワークに接続したまま行うことができます。

1 本製品の電源が入っていること（［STATUS］ランプが点灯していること）を確認します。
電源が入っていない場合は、電源を入れます。



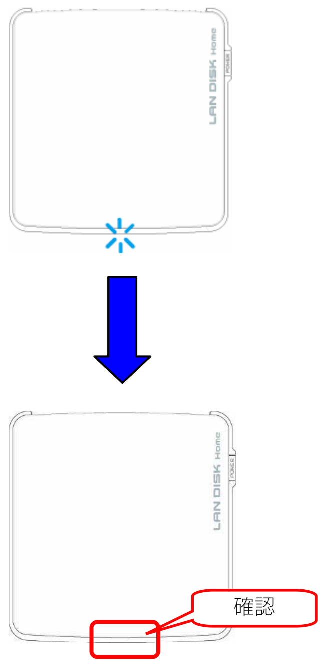
注意

●初期化は、本製品の電源が入っている状態で行います。
●STATUS ランプ点滅中には、初期化しないでください。

2 背面の RESET ボタンを先の細いもので約５秒以上、STATUS ランプが点滅し、「ピッ」と音が鳴るまで押します。



3 ［STATUS］ランプが青点灯（DHCP サーバーがある場合）、または、赤色点滅（DHCP サーバーがない場合）すれば、初期化完了です。



IP アドレスと管理者パスワードが初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

方法2

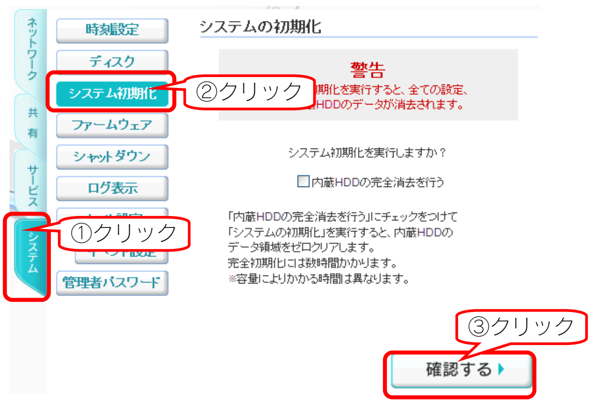
本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す

設定画面の[システム初期化]で本製品のすべての設定を出荷時設定にもどし（初期化）、さらに、内蔵ハードディスクをフォーマットします。

●初期化項目
初期化される項目は下記の項目です。
・すべての装置設定
・内蔵ハードディスクの全データ

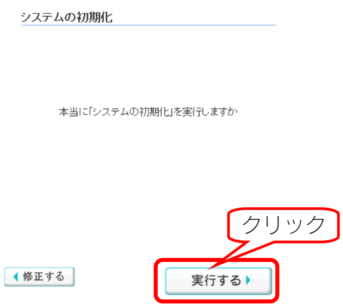
注意 ●事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。

1 本製品の設定画面の［システム］タブをクリックし、［システム初期化］ボタンをクリックします。
内容を確認し、[実行する]ボタンをクリックします。



注意 ●[内蔵HDDの完全消去を行う]をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、全てのデータ領域に０（ゼロ）を書き込みます。
本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、以下の時間を要します。
・HDLP-G500：約 11 時間

2 ［OK］ボタンをクリックします。



3 システム初期化が開始されます。
自動的に本製品の再起動を行いますので、Web ブラウザーを閉じ、本製品の STATUS ランプの点滅が終わるまでお待ちください。

注意 ●［結果］画面が表示された後、自動的に本製品が再起動しますが、再起動後にもシステム初期化処理を続行しています。
［STATUS］ランプが青点灯または赤点滅状態になるまでそのまましばらくお待ちください。
●システム初期化処理中に電源を切ると、本製品が正常に起動しなくなります。
［STATUS］ランプが青点灯または赤点滅状態になるまで、何も操作しないでください。

すべての設定が初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

ランプ・ブザー別の対応

ランプ・ブザー別の対応

ランプやブザーによって、現在の状態や操作が正常か、あるいは、エラーが発生しているかを知ることができます。

[STATUS] ランプ	緑点灯	USB 接続モードで接続していることを示します。
	緑点滅	USB 接続モードで本製品にアクセスしていることを示します。
	青点灯	LAN 接続モードで使用可能な状態を示します。
	青点滅	LAN 接続モードでシステムが起動しているとき、または LAN 接続モードでシステム設定処理を行っている状態を示します。
	赤点滅	LAN 接続モード時にエラーが発生したことを示します。
	消灯	本製品の電源が入っていないことを示します。

ランプ・ブザー / 状態・操作	ブザー	STATUS	状態
電源コンセント接続時	なし	消灯	本製品の電源が入っていない状態です。
電源投入後	ピッ	青点滅	システム起動中
	「ピピピピ…」（繰り返し）	赤点滅	システム起動不能状態です。 内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。いったん電源を切り、再度同じ状態の場合は、修理を依頼してください。
システム起動直後	ピー	青点灯	正常起動完了
	ピーピーピー	赤点滅	IP アドレス取得エラーが発生しています。 【困ったときには】→【本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと３回鳴った】（140ページ）
システムシャットダウン時	なし	青点滅	システムシャットダウン処理中です。
システム運用中	ピーピーピー	赤点滅	インターネット接続障害などの理由で、iobb.net と通信できない状態です。 iobb.net 設定が無効になっています。ネットワーク環境が復旧後、再度有効にしてください。
設定操作を実行中	なし	青点滅	本製品の設定画面による設定操作を実行中です。STATUS ランプが点滅中は WEB 設定画面による操作はできません。
内蔵ディスクに対する操作（フォーマット、チェックディスク、メンテナンス）を実行中	なし	青点滅	内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク、メンテナンス）を実行中は共有サービスが停止しており、共有フォルダのファイルにアクセスすることはできません。
設定完了時	ピッ	青点灯	実行中の設定が完了しました。

●USB バックアップディスクを接続/デジカメを接続/USB ディスクを接続

ランプ・ブザー / 状態・操作	ブザー	STATUS	状態
デジカメコピー実行中	なし	青点滅	デジカメコピーを実行しています。
デジカメバックアップ実行中	なし	青点滅	デジカメバックアップを実行しています。
デジカメコピー終了	ピピピッ	青点灯	デジカメコピーが正常終了しました。
デジカメバックアップ終了	ピピピッ	青点灯	デジカメバックアップが正常終了しました。
デジカメコピー異常終了	ピーピーピー	赤点滅	デジカメコピーに失敗しました。データを確認してください。
デジカメバックアップ異常終了	ピーピーピー	赤点滅	デジカメバックアップに失敗しました。データを確認してください。
USB 機器接続直後	ピーピーピー	赤点滅	使用できない USB 機器を接続しました。

仕　　様

仕　様

インターフェイス（LAN）	転送規格	IEEE802.3ab、IEEE802.3u、IEEE 802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	最大転送速度	1000/100/10Mbps
	コネクター	RJ45×1
	アクセス方法	CSMA/CD
	MDI/MDI-X	自動切換
	適合ケーブル	UTP カテゴリ６以上、100m 以下
インターフェイス（USB）	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps
	コネクター	USB miniB コネクター×1
USB ホスト	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps
	コネクター	USB A コネクター×1
電力	電源	AC 100V、50/60Hz/バスパワー（USB 接続モード時のみ）
	消費電力	LAN 接続時 7.5W(TYP)/USB 接続時 2.5W(TYP)
動作環境	使用温湿度	5～35℃、10～85%(結露無きこと)
物理仕様	外形寸法	126(W)×130(D)×24(H)mm
	質量	約 350g

動作環境

本製品は、「LAN インターフェイス及び USB ポートを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」であれば対応しています。

● サポート対象機種・OS

機種	OS
DOS/V マシン	・Windows Vista®（32 ビット版） ・Windows XP（32 ビット版） ・Windows 2000 Professional
Apple Macintosh シリーズ	・Mac OS X （10.4～）

※LAN 環境に関しての詳細は、【使用上のご注意】（7ページ）の【全般のご注意】をご覧ください。

※USB ポートに関しての詳細は、【使用上のご注意】（7ページ）の【USB ハードディスクとして使用する場合の注意】をご覧ください。

※リモートリンク対応 OS

リモートアクセス対応 OS	・Windows Vista®（32 ビット版） ・Windows XP（32 ビット版） ・Mac OS X （10.4～）
ホームメディアリンク対応 OS	・Windows Vista®（32 ビット版） ・Windows XP（32 ビット版）

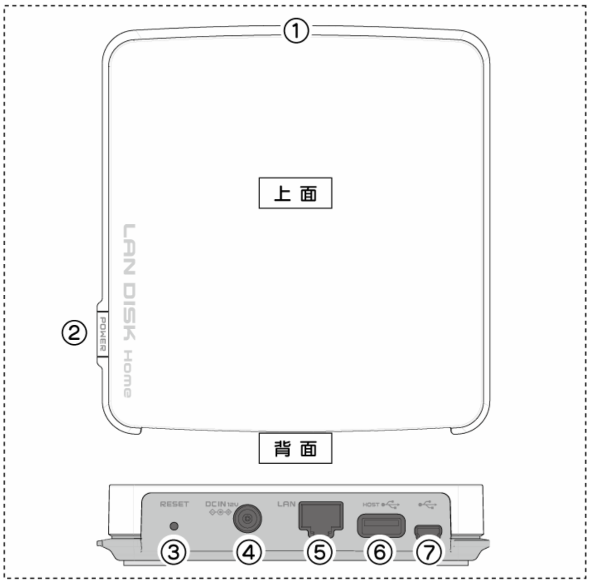
弊社では、上記の OS でご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいております。
上記以外の OS でご利用いただく場合のサポートは行っておりませんのでご了承ください。

● 設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のバージョンのいずれかの Web ブラウザが必要です。お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。

・Internet Explorer バージョン 6.0 以上
・Safari バージョン 3.0 以上

各部の名称・機能



	名称	機能・状態	
①	[STATUS]ランプ	青点灯	LAN 接続モードで動作中
		青点滅	LAN 接続モードで処理中（起動/終了/設定中など）
		赤点滅	LAN 接続モードでエラー
		緑点灯	USB 接続モードで動作中
		緑点滅	USB 接続モードでアクセス中
		消灯	電源が切れている状態
②	[POWER]ボタン	本製品の電源を入/切します。 ※USB ハードディスクとして使用する場合は、動作しません。	
③	[RESET]ボタン	本製品の LAN 接続モードの設定を初期化します。 ※LAN 接続モード時のみ動作します。(USB 接続モード時は動作しません。)	
④	DC ジャック	添付の AC アダプターを接続します。	
⑤	LAN ポート	添付の LAN ケーブルを接続します。	
⑥	USB[HOST]ポート	USB 機器を接続します。 ※接続できる USB 機器については、【接続できる USB 機器】（次ページ）をご覧ください。	
⑦	USB ポート	添付の USB ケーブルを接続します。 ※本製品とパソコンを USB で接続し、USB ハードディスクとして使用できます。	

接続できる USB 機器

本製品背面の USB[HOST]ポートに USB 機器を接続して使用することができます。

●USB 機器を接続する前に、以下の注意もご確認ください。
【使用上のご注意】（7ページ）
●本製品の USB[HOST]ポートには、以下の対応機器以外の機器は接続しないでください。
※USB ハブも接続できません。
最新の対応機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

ハードディスク

※最新の対応機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

本製品のUSB[HOST]ポートで使用できる動作確認済みのハードディスク	・RHD-UX シリーズ ・HDH-USR2 シリーズ ・HDC2-U シリーズ※1 ・HDPG-SU シリーズ※2	・RHD2-U シリーズ ・HDCN-U シリーズ ・RHD4-UXE シリーズ ・HDPG-SUX シリーズ※2	・USB2-iVDR シリーズ ・HDCN-UE シリーズ ・HDP-US シリーズ※2
	※1 ミラーリングモード、ストライピングモードのみ対応です。 ※2 AC アダプターによる電源供給が必要です。		

	対応フォーマット※1
	FAT※2
本製品での対応	○ （読み書き可）
パソコンに接続した場合	○ （読み書き可）
主な用途	データバックアップ用
本製品からの取り外し	○ （取り外し可）
最大ファイルサイズ	4G-1 byte ※Windows Vista®は、4G-1Mbyte

※1　OS により、ネットワーク上で扱えるファイルサイズには制限があります。
以下の個所を参照してください。【各 OS で使用できるファイルサイズについて】（121ページ）

USB 対応デジカメ、USB メモリー

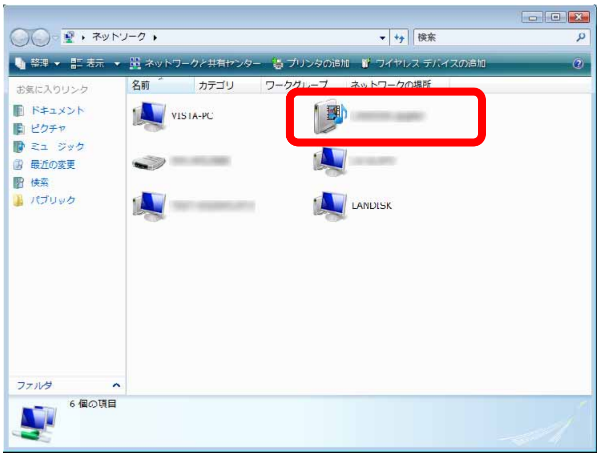
動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

共有フォルダ使用上の注意

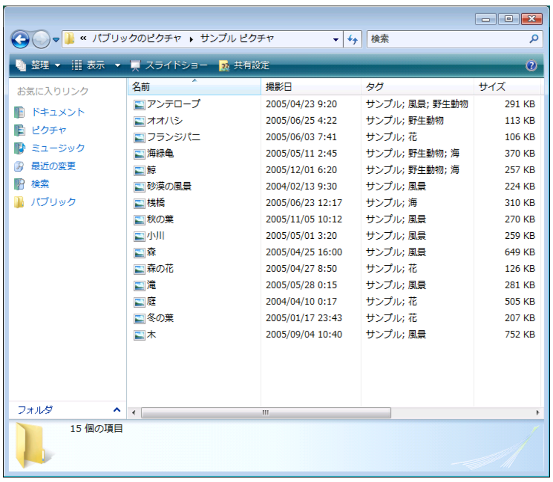
Windows Vista®での制限・注意事項

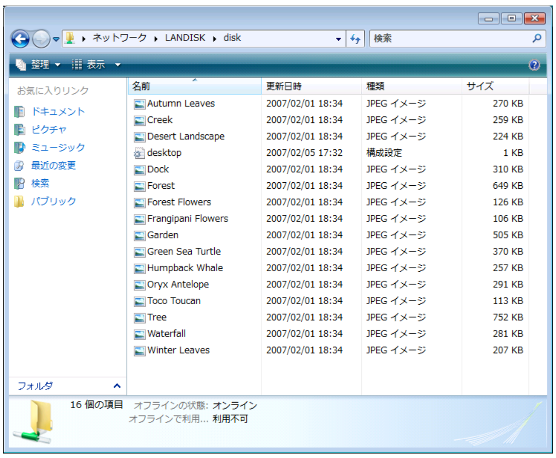
●Windows Vista®の「ファイルのバックアップ」機能について
Windows Vista®付属の「ファイルのバックアップ」機能で、バックアップの保存先として本製品の共有フォルダを指定することはできません。

●Windows Vista®のネットワークに表示されるアイコンについて
本製品の DLNA Server 機能を有効に設定している場合、Windows Vista®のネットワーク画面に以下のようなアイコンが表示されます。ダブルクリックするとメディアプレーヤーが起動する場合がありますが、お使いの PC のメディアプレーヤーが DLNA に準拠していない場合は、本製品の共有フォルダ内のコンテンツの再生はできません。



●Windows Vista®上の表示と共有フォルダ上の表示の違いに関する注意
Windows Vista®に標準インストールされるサンプルピクチャフォルダのファイルは、Windows Vista®上では画面例(左)のように表示されています。
画面例左のサンプルピクチャを共有フォルダ上にコピーすると、画面例（右）のように全く名前が異なって表示されます。





実際のファイル名は、LAN DISK 共有フォルダで表示されるアルファベット文字のファイル名で正しいようですが、Windows Vista®上のサンプルピクチャのフォルダはファイルの表示設定が、実ファイル名表示しない設定がデフォルト設定になっています。
このように名前＝ファイル名ではないフォルダ表示設定が Windows Vista®では可能ですので、注意してください。

ファイル名やフォルダ名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、OS により以下の文字数までとなっています。

【Windows の場合】

半角 255 文字（全角 85 文字）まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※Windows Vista®では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。

よって Windows Vista®でのみ使用可能な文字を共有フォルダに保存するファイル名やフォルダ名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。

Windows Vista®と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx)にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004)対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をして頂く必要があります。

【Macintosh の場合】

・Mac OS X では半角 255 文字（全角 85 文字）まで

使用できるファイルサイズについて

特に制限はありません。

USB 接続モード、LAN 接続モードでお使いの際の注意

USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダを使用したい場合は、LAN 接続モードで作成してください。
USB 接続モードで作成したフォルダは、LAN 接続モードでは使用できません。

出荷時設定一覧

項目			初期値		
システムバージョン			1.00（出荷時期による）		
MACアドレス			00:A0:B0:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）		
◆ネットワーク					
Windows共有	LANDISKの名前		LANDISK-xxxxxx（xxxxxxはMACアドレスの下6桁）		
	コメント		HDLP-G		
	ワークグループ名		WORKGROUP		
TCP/IP設定	DHCP有効/無効		IPアドレスを自動取得する（DHCP有効）		
	IPアドレス		自動取得失敗時	IPアドレス	192.168.0.200 AutoIP 自動割当 169.254.xxx.xxx
	サブネットマスク			サブネットマスク	255.255.255.0 AutoIP アドレスは 255.255.0.0
	ゲートウェイ			ゲートウェイ	なし
	DNSサーバ			DNSサーバ	なし
◆共有					
共有フォルダ	共有フォルダ一覧 （作成済み共有）		disk	Microsoftネットワーク共有	
				AppleShareネットワーク共有	
			dlna	Microsoftネットワーク共有	
				AppleShareネットワーク共有	
				DLNA共有	
			itunes	Microsoftネットワーク共有	
				AppleShareネットワーク共有	
				iTunes共有	
ユーザ管理	登録済みユーザ		なし		
◆サービス					
DLNA設定	公開フォルダ一覧		dlna		
iTunes設定	公開フォルダ一覧		itunes		
デジカメコピー	デジカメコピー設定	コピー機能	使う		
		コピーの種別	デジカメコピー		
		転送先共有フォルダ	disk		
◆システム					
時刻設定	時刻設定	設定時刻	手動設定		
		サーバーと同期	同期しない		
ディスク	ディスク		手動選択		
メール設定	メール基本設定	メール通知	通知しない		
		SMTPサーバー	なし		
		差出人メールアドレス	なし		
		文字コード	非選択		
イベント設定	メールイベント設定	システムログ送信先	なし		
		お知らせ通知先	なし		
管理者パスワード	管理者パスワードの変更	現在のパスワード	なし		
		新しいパスワード	なし		
		新しいパスワード（確認）	なし		

●新規ユーザ			
新しいユーザの登録	ユーザ名		なし
	パスワード		なし
	パスワード（確認）		なし
●新規共有			
新しい共有フォルダの作成	フォルダ名		なし
	フォルダコメント		なし
	アクセス権の選択		全てのユーザを許可
	読み取り専用設定		チェックなし
	サービス		Microsoftネットワーク共有
			AppleShareネットワーク共有
	ごみ箱機能		無効
●DLNA設定			
DLNA設定	公開フォルダ一覧		dlna
●iTunes設定			
iTunes設定	公開フォルダ一覧		itunes
●デジカメコピー			
デジカメコピー	デジカメコピー設定	コピー機能	使う
		コピーの種別	デジカメコピー
		転送先共有フォルダ	disk
●iobb.net設定			
iobb.net設定	iobb.netへ登録・更新		無効
	ステータス		なし
	シリアルNo.		なし
	ホスト名		なし
	パスワード		なし
	パスワード（確認）		なし
	メールアドレス		なし
	UPnP機能利用		使う

文字制限一覧

設定画面上で使用できる文字/できない文字

本製品の設定画面で設定する下記項目は、半角英数字のみが有効となります。さらに各項目には、使用文字の制限があります。
次の文字はそれぞれの項目に対して使用できません。（パスワードに空白文字を使用しないでください。）

<table>
<tr><th>項目名</th><th>文字数</th><th>使用できる文字</th><th>使用できない文字</th></tr>
<tr><td>ワークグループ</td><td>15 文字以下</td><td>[使用できない文字]以外</td><td>¥ / ˜ $: , ' ; * ? ″ < > | ` [ ] = + . 空白
（ハイフン － で始まる文字列は不可）</td></tr>
<tr><td>コンピュータの説明</td><td rowspan="2">48 文字以下</td><td>[使用できない文字]以外</td><td>¥ : ″ | ' [ ] ˜ $ '</td></tr>
<tr><td>コメント</td><td>[使用できない文字]以外</td><td>¥ ˜ $: , ″ | ' [ ]
（ハイフン － で始まる文字列は不可）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ユーザ名</td><td rowspan="3">20 文字以下</td><td>[使用できない文字]以外の小文字のみ</td><td rowspan="2">¥ ˜ $ / : , ' ; * ? ″ < > | ` [ ] = + . @ ( ) # %
^ 空白
（ハイフン － で始まる文字列は不可）
（数字のみでの設定は不可）</td></tr>
<tr><td>[使用できない文字]以外</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>[使用できない文字]以外</td><td>¥ : , ; * < > | ' [ ] = + . ` ( ) ˜ $ ″ / ? 空白
（ハイフン － で始まる文字列は不可）</td></tr>
<tr><td>コンピュータ名</td><td>14 文字以下</td><td>半角英数文字 0～9 A～Z a～z
（数字で始まる文字列は不可）
アンダーバー _
ハイフン －
(ハイフン - で始まる文字列は不可)</td><td rowspan="2">［使用できる文字］以外の記号や空白などの文字列は不可</td></tr>
<tr><td>共有フォルダ名</td><td>12 文字以下</td><td>半角英数文字 0～9 A～Z a～z
アンダーバー _
ハイフン －
(ハイフン - で始まる文字列は不可)</td></tr>
<tr><td>アルバム名</td><td>14 文字以下</td><td>[使用できない文字]以外</td><td>¥ < > | ? ˜ /
で始まる文字は不可</td></tr>
</table>

iobb.net 設定で使用できる文字/できない文字

項目名	文字数	使用できる文字	使用できない文字
ホスト名	3 文字以上 16 文字以内	小文字英字,数字,-（ハイフン）	「使用できる文字」以外不可 ※－（ハイフン）をホスト名の頭、末尾につけることはできません。
パスワード	6 文字以上 8 文字以内	小文字英字,数字,-（ハイフン）	「使用できる文字」以外不可

ファイル名やフォルダ名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、OS により以下の文字数までとなっています。

【Windows の場合】

半角 255 文字（全角 85 文字）まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※Windows Vista®では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。
よって Windows Vista®でのみ使用可能な文字を共有フォルダに保存するファイル名やフォルダ名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。
Windows Vista®と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報(http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx)にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004)対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をして頂く必要があります。

【Macintosh の場合】

・Mac OS X では半角 255 文字（全角 85 文字）まで

ログ一覧

分類	表示 (***は追加メッセージ)	追加メッセージ	内容
パスワード認証	ログオン：***	IP アドレス	ログオンに成功した時に出力されます。
	ログオフ：***		ログオフした出力されます。
	ログオン失敗：***		ログオンに失敗した時に出力されます。
管理者パスワード変更	管理者パスワード：変更	–	管理者パスワードの変更を行った時に出力されます。
はじめて設定	はじめて設定：変更	–	はじめて設定の変更を行った時に出力されます。
ネットワーク設定	ネットワーク設定：変更	–	ネットワーク設定の変更を行った時に出力されます。
ユーザ設定	ユーザ：登録：***	ユーザ名	ユーザの新規登録を行った時に出力されます。
	ユーザ：パスワード変更：***		ユーザのパスワード変更を行った時に出力されます。
	ユーザ：削除：***		ユーザの削除を行った時に出力されます。
共有フォルダ設定	共有フォルダ：作成：***	共有フォルダ名	共有フォルダの新規作成を行った時に出力されます。
	共有フォルダ：変更：***		共有フォルダの設定変更を行った時に出力されます。
	共有フォルダ：削除：***		共有フォルダの削除を行った時に出力されます。
	共有フォルダ：検出エラー：***		システム起動時、共有の実フォルダがなかった場合に出力されます。
DLNA 設定	DLNA：公開：***	共有フォルダ名	DLNA 公開フォルダの追加を行った時に出力されます。
	DLNA：公開終了：***		DLNA 公開フォルダの削除を行った時に出力されます。
	DLNA：アクセス許可設定：変更	–	DLNA アクセス許可設定の変更を行った時に出力されます。
iTunes 設定	iTunes：公開：***	共有フォルダ名	iTunes 公開フォルダの追加を行った時に出力されます。
	iTunes：公開終了：***		iTunes 公開フォルダの削除を行った時に出力されます。
	iTunes：データベース更新：開始	–	iTunes データベースの更新を開始した時に出力されます。
	iTunes：データベース更新：終了	–	iTunes データベースの更新が終了した時に出力されます。
時刻設定	時刻設定：変更	–	時刻設定の変更を行った時に出力されます。
	タイムサーバ：同期：***	サーバアドレス	タイムサーバとの同期に成功した時に出力されます。
	タイムサーバ：同期失敗：***		タイムサーバとの同期に失敗した時に出力されます。
省電力設定	省電力設定：変更	–	省電力設定の変更を行った時に出力されます。
メール基本設定	メール基本設定：変更	–	メール基本設定の変更を行った時に出力されます。
メールイベント設定	メールイベント設定：変更	–	メールイベント設定の変更を行った時に出力されます。
USB 処理	USB デバイス：接続：***	デバイスタイプ (STOR or PTP)	システム側で USB デバイスの接続処理を行った時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。
	USB デバイス：切断：***		システム側で USB デバイスの切断処理を行った時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。
	USB デバイス：マウント失敗：***		システム側で USB デバイスのマウントに失敗した時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。
デジカメコピー設定	デジカメコピー設定：変更	–	デジカメコピー設定の変更を行った時に出力されます。
デジカメコピー処理	デジカメコピー：開始	–	デジカメコピーを開始した時に出力されます。
	デジカメコピー：終了	–	デジカメコピーが正常終了した時に出力されます。
	デジカメコピー：異常終了	–	デジカメコピーが異常終了した時に出力されます。
クイックコピー処理	クイックコピー：開始	–	クイックコピーを開始した時に出力されます。
	クイックコピー：終了	–	クイックコピーが正常終了した時に出力されます。
	クイックコピー：異常終了	–	クイックコピーが異常終了した時に出力されます。
バックアップディスク登録	バックアップディスク：登録	–	バックアップディスクの登録をに成功した時に出力されます。
	バックアップディスク：登録失敗	–	バックアップディスクの登録をに失敗した時に出力されます。
デジカメバックアップ処理	バックアップ：開始	–	デジカメバックアップを開始したときに出力されます。
	バックアップ：終了	–	デジカメバックアップが正常終了した時に出力されます。
	バックアップ：異常終了	–	デジカメバックアップが異常終了した時に出力されます。
リストア処理	リストア：開始	–	リストアを開始した時に出力されます。
	リストア：終了	–	リストアが正常終了した時に出力されます。
	リストア：異常終了	–	リストアが異常終了した時に出力されます。

分類	表示 (***は追加メッセージ)	追加メッセージ	内容
フォーマット処理	本体フォーマット：開始	–	本体フォーマットを開始した時に出力されます。
	本体フォーマット：終了	–	本体フォーマットが正常終了した時に出力されます。
	本体フォーマット：異常終了	–	本体フォーマットが異常終了した時に出力されます。
ファームウェア更新処理	ファームウェア：更新：***	バージョン	ファームウェアの更新を行った時に出力されます。
USB フォーマット処理	USB フォーマット：開始	–	USB フォーマットを開始した時に出力されます。
	USB フォーマット：終了	–	USB フォーマットが正常終了した時に出力されます。
	USB フォーマット：異常終了	–	USB フォーマットが異常終了した時に出力されます。
フォトアルバム処理（アルバム）	アルバム：作成：***	アルバム名	アルバムの新規作成を行った時に出力されます。
	アルバム：作成失敗：***		アルバムの新規作成に失敗した時に出力されます。
	アルバム：変更：***		アルバムの設定変更を行った時に出力されます。
	アルバム：変更失敗：***		アルバムの設定変更に失敗した時に出力されます。
	アルバム：削除：***		アルバムの削除を行った時に出力されます。
	アルバム：削除失敗：***		アルバムの削除に失敗した時に出力されます。
フォトアルバム処理（画像）	フォト：追加：***	アルバム名	アルバムに画像を追加した時に出力されます。
	フォト：追加失敗：***		アルバムに画像を追加できなかった時に出力されます。
	フォト：削除：***		アルバムから画像を削除した場合に出力されます。
	フォト：削除失敗：***		アルバムから画像を削除できなかった時に出力されます。
リセット処理	リセット：実行	–	リセット処理を行った時に出力されま。
テストメール	テストメール：送信：***	送信先メールアドレス	テストメールの送信に成功した時に出力されます。
	テストメール：送信失敗：***		テストメールの送信に失敗した時に出力されます。
ログメール	ログメール：送信：***	送信先メールアドレス	ログメールの送信に成功した時に出力されます
	ログメール：送信失敗：***		ログメールの送信に失敗した時に出力されます
お知らせメール	お知らせメール：送信：***	送信先メールアドレス	お知らせメールの送信に成功した時に出力されます
	お知らせメール：送信失敗：***		お知らせメールの送信に成功した時に出力されます
システム	システム：起動	–	システムが起動した時に出力されます。
	システム：終了	–	システムの終了処理が開始された時に出力されます。
DHCP 自動取得	DHCP 自動取得：成功	–	DHCP サーバから取得に成功した時に出力されます。
	DHCP 自動取得：失敗	–	DHCP サーバから取得に失敗した時に出力されます。
メディア書き出し	メディア：書き出し	–	アルバム書き出しが成功した時に出力されます。
	メディア：書き出し失敗	–	アルバム書き出しが失敗した時に出力されます。
	メディア：消去	–	書き出しデータ消去が成功した時に出力されます。
	メディア：消去失敗	–	書き出しデータ消去が失敗した時に出力されます。
ダイナミック DNS 設定	iobb 設定：変更	–	iobb.net 設定の変更を行った時に出力されます。
	iobb 設定：登録	–	iobb.net 設定の仮登録を行った時に出力されます。
	iobb 設定：失敗:***	–	iobb.net 設定の有効化に失敗した時に出力されます。
	iobb 設定：無効	–	iobb.net 設定が無効にされた時に出力されます。
ダイナミック DNS 更新通知	iobb 更新：成功	–	iobb.net 更新通知に成功した時に出力されます。
	iobb 更新：失敗：***	–	iobb.net 更新通知に失敗した時に出力されます。
リモートリンク設定	リモートリンク設定：変更	–	リモートリンク設定の変更を行った時に出力されます。
マイウェブサーバー設定	マイウェブサーバー設定：変更	–	マイウェブサーバー設定の変更を行った時に出力されます。
ポート通知	ポート通知：成功	–	ポート通知に成功した時に出力されます。
	ポート通知：失敗:***	–	ポート通知に失敗した時に出力されます。
ポートオープン	UPnP ポートオープン：失敗	–	UPnP ポートオープンに失敗した時に出力されます。
EasySetup	EasySetup：成功	–	EasySetup に成功した時に出力されます。
	EasySetup：失敗	–	EasySetup に失敗した時に出力されます。

設定画面のリファレンス

［ネットワーク］



項目	設定する内容	出荷時設定
[Windows共有]		
LANDISKの名前	ネットワーク上で表示される名前を入力します。 →ネットワーク上に同じ名前が存在しないよう設定します。 出荷時設定では、製品個々にLANDISK-xxxxxx（xxxxxはMACアドレスの下6桁）が設定されています。	LANDISK-xxxxxx
コメント	Windows ネットワークから本製品を参照したときに表示されるコメントです。（入力しなくてもかまいません。）	HDLP-G
ワークグループ名	ワークグループ名を入力します。	WORKGROUP

項目		設定する内容	出荷時設定
[TCP/IP設定]			
DHCP有効無効		本製品のIPアドレスを、ルータなどのDHCPサーバーから自動取得する場合に選択します。 →DHCPサーバーからの自動取得に失敗した場合、本製品は「169.254.xxx.xxx」の自動IPアドレスと、「192.168.0.200」の固定アドレスの２つが自動的に設定されますので、設定変更などの際にはこれらのアドレスで通信してください。このとき、［STATUS］ランプは赤く点滅し、ブザー音が鳴ります。[手動で設定する（DHCP無効）]にした場合は、以下を設定します。	自動で取得する（DHCP有効）
	IPアドレス	本製品に設定するIPアドレスを入力します。 （Auto IP　自動割当は、169.254.xxx.xxx）	–
	サブネットマスク	本製品に設定するサブネットマスクを入力します。 （Auto IPアドレスは、255.255.0.0）	–
	ゲートウェイ	本製品が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。一般にインターネットと接続しているルータのIPアドレスを入力します。	–
	DNSサーバ	本製品が所属しているネットワークのDNSサーバーアドレスを入力します。	–

［共有フォルダ一覧］

現在作成されている共有フォルダ名を表示します。



出荷時に作成されている共有フォルダ
disk、dlna、itunes

アイコンの意味	
W	この共有はWindowsネットワークファイル共有サービスで利用可能です。
M	この共有はMacintoshネットワークファイル共有サービスで利用可能です。
	この共有はDLNAサービスとして公開されます。
	この共有はiTunesサービスとして公開されます。
	この共有はリモートアクセス共有サービスで利用可能です。

[DLNA 設定]

DLNAに関する設定を行います。

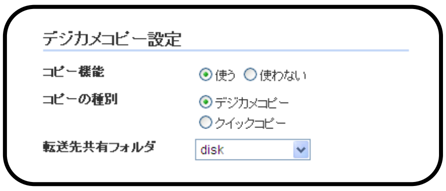
詳しくは、【DLNA サーバー機能を利用する】（74ページ）をご覧ください。

[iTunes 設定]

iTunesに関する設定を行います。

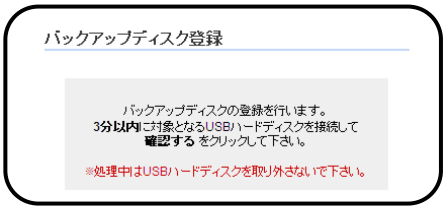
詳しくは、【iTunes サーバー機能を利用する】（82ページ）をご覧ください。

[デジカメコピー設定]



項目	設定する内容		出荷時設定
コピー機能	デジカメコピー機能を使う/使わないを選択します。		使う
コピーの種類	コピー機能の種類を「デジカメコピー」か「クイックコピー」から選択します。		デジカメコピー
	デジカメコピー	デジカメコピー機能は、デジカメやUSBメモリーを［USB[HOST]ポート］に接続すると、データをあらかじめ指定されている本製品の共有フォルダ内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみにコピーすることができます。	
	クイックコピー	クイックコピー機能は、デジカメやUSBメモリーを［USB[HOST]ポート］に接続すると、データをあらかじめ指定されている本製品の共有フォルダにコピーすることができます。	
転送先共有フォルダ	「デジカメコピー」フォルダ、「クイックコピー」フォルダの作成先を指定します。		disk

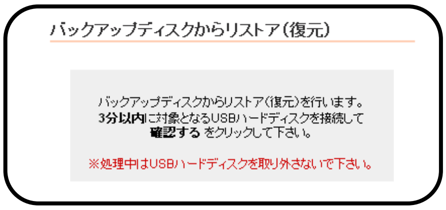
▼バックアップ

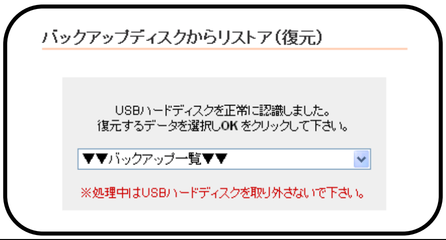




項目	内容
バックアップディスク登録	バックアップを行う前にバックアップディスクの登録作業が必要です。 登録が完了したUSBハードディスクを次回、USB[HOST]ポートに接続すると自動的にバックアップがはじまります。
USBハードディスクをフォーマットする	チェックボックスにチェックをつけると、バックアップディスク登録するUSBハードディスクをFAT32形式でフォーマットします。

▼リストア（復元）





項目	内容
バックアップディスクからリストア（復元）	バックアップディスクからデータを書き戻します。 "[▼▼バックアップ一覧▼▼]から復元するデータを選択します。 デジカメバックアップ（LAN DISKのMACアドレス下6桁）（バックアップを行った日付）"

[iobb.net 設定]

弊社が提供するダイナミックDNSサービス「iobb.net」に関する設定を行います。



項目	設定する内容		出荷時設定
iobb.net設定	iobb.netへ登録更新の有無を設定します。		無効
	有効	iobb.netへの登録・更新を有効にします。	
	無効	iobb.netへの登録・更新を無効にします。	
ステータス	現在の状態を表示します。		－
シリアルNo.	本製品のシリアル番号（12桁の英数字）を入力します。		－
ホスト名	iobb.netに登録するホスト名を入力します。		－
パスワード	iobb.netに登録するパスワードを入力します。		－
パスワード（確認）	確認のため再度パスワードを入力します。。		－
メールアドレス	iobb.netから送信される、登録通知メールを受信するメールアドレスを入力します。		－
UPnP機能利用	使う	UPnP機能を使用してポート設定をします。	使う
	使わない	UPｎP機能を使用してポート設定ができない場合、「使わない」に設定しお使いのルーターから手動でポートを開放の設定をしてください。	

[リモートリンク]

リモートリンクに関する設定を行います。

詳しくは、【リモートアクセス】（92ページ）をご覧ください。

[マイウェブサーバー]

マイウェブサーバーに関する設定を行います。

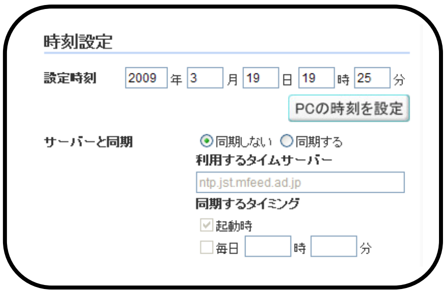
詳しくは、【マイウェブサーバー】（100ページ）をご覧ください。

[ログ表示]



項目	設定する内容	出荷時設定
日付	ログを記録した日付を表示します。	－
時間	ログを記録した時刻を表示します。	－
メッセージ	ログ内容を表示します。 ログ内容の詳細については【ログ一覧】（125ページ）をご覧ください。	－

[時刻設定]



<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="2">設定時刻</td><td colspan="3">本製品に設定する時刻を入力できます。</td><td rowspan="2">手動設定</td></tr>
<tr><td>[PCの時刻を設定]ボタン</td><td colspan="2">パソコンと同じ時刻を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">サーバーと同期</td><td colspan="3">タイムサーバーを使用する場合に選択します。タイムサーバーの設定を実行すると、そのタイミングでいったんタイムサーバー時刻を本製品に設定します。</td><td rowspan="5">同期しない</td></tr>
<tr><td>利用するタイムサーバー</td><td colspan="2">タイムサーバー名かタイムサーバーのIPアドレスを入力します。通常は初期設定のタイムサーバーをお使いください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">同期するタイミング</td><td colspan="2">どんな時に時刻同期を行なうかを設定します。どちらかにチェックを入れてください。(システム起動時/毎日指定時刻を両方同時に選択することもできます。)</td></tr>
<tr><td>システム起動時</td><td>本製品起動時にタイムサーバーとの時刻同期を行ないます。</td></tr>
<tr><td>毎日指定時刻</td><td>指定した時間(24時間表記で入力します)にタイムサーバーとの時刻同期を行ないます。本製品を24時間稼働させる場合はこちらを選択してください。</td></tr>
</table>

[ディスク]



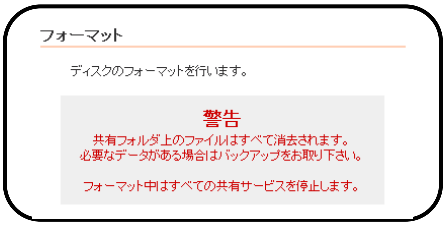
以下から内蔵ディスクに対して実行する操作を選択します。

▼省電力設定



<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="3">省電力モード有効無効</td><td colspan="2">一定時間、本製品にアクセスがない場合にハードディスクの動作を停止させる機能です。</td><td rowspan="3">省電力モード無効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>省電力機能を有効にします。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>省電力機能を無効にします。</td></tr>
<tr><td>省電力モード切替時間</td><td colspan="2">省電力モードを有効にした場合にのみ表示されます。
※設定した時間内にハードディスクにアクセスしなくても本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクの動作は停止しません。</td><td>10分</td></tr>
</table>

▼フォーマット



項目	内容
フォーマット	本製品の内蔵ハードディスクをフォーマットします。 フォーマット完了後、システムの再起動を行ってください。

［メール基本設定］



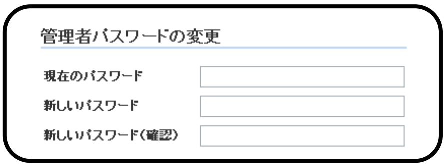
項目	設定する内容		出荷時設定
メール通知	ログ情報やバックアップ完了通知などをメールで送信するかどうかを設定します。		通知しない
	以下の項目は「通知する」を選択した場合にのみ入力可能となります。		－
	SMTPサーバー	メール送信に利用するSMTPサーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。	
	差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定します。	
	文字コード	メール本文のエンコード方式を選択します。通常は、[ISO-2022-JP]で使用します。	
メールの送信テストを行う	上記の設定情報が正しく機能するか、実際にメールを送信してテストすることができます。 チェックボックスにチェックを入れ、テストメールの送信先アドレスを設定します。		－

［メールイベント設定］



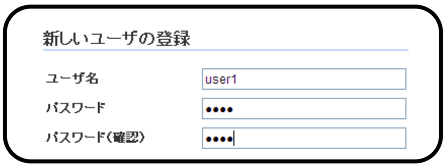
項目	設定する内容	出荷時設定
システムログ送信先	ログや通知情報を送信するメールアドレスを指定します。	－
お知らせ通知先	エラー通知、デジカメバックアップの正常終了/失敗、リビルド（復元）の成功/失敗を通知するメールアドレスを指定します。	－

［管理者パスワードの変更］



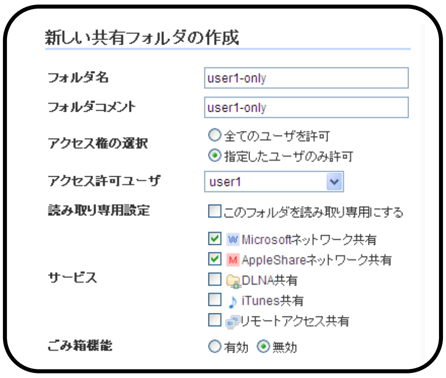
項目	設定する内容	出荷時設定
現在のパスワード	管理者の現在のパスワードを入力します。	
新しいパスワード	管理者の新しいパスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（125ページ）を参照してください。	なし
新しいパスワード（確認）	管理者の確認パスワードを入力します。	

［新しいユーザの登録］



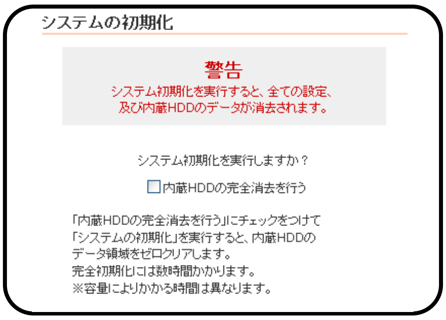
項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザ名	ユーザ名を入力します。	
パスワード	パスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。	なし
パスワード（確認）	確認のため再度パスワードを入力します。	

［新しい共有フォルダの作成］



<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>フォルダ名</td><td colspan="2">共有フォルダの名前を入力します。
この名前が、ネットワーク上（［マイネットワーク］や［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。
※使用できる文字には制限があります。
【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>フォルダコメント</td><td colspan="2">Windows 用です。
ここに入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダのコメントとして表示されます。
※使用できる文字には制限があります。
【文字制限一覧】（124ページ）を参照してください。</td><td>LANDISK</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アクセス権の選択</td><td colspan="2">共有フォルダにアクセスする権限（アクセス権）を設定できます。</td><td rowspan="3">全てのユーザを許可</td></tr>
<tr><td>全てのユーザを許可</td><td>本製品にアクセスできるすべてのユーザがアクセスできる設定です。</td></tr>
<tr><td>指定したユーザのみ許可</td><td>本製品にユーザ登録したユーザのうち、特定のユーザと admin のみがアクセスできる設定です。</td></tr>
<tr><td>アクセス許可ユーザ</td><td colspan="2">「指定したユーザのみ許可」を選択した場合に、アクセスを許可するユーザを選択します。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>読み取り専用設定</td><td colspan="2">本製品にアクセスできるすべてのユーザから読み取りのみできるよう（書き込み禁止）にする設定です。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="6">サービス</td><td colspan="2">この共有で利用するネットワークサービスを選択します。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>Microsoft ネットワーク共有</td><td>Windows からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td><td>有効</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td><td>Macintosh からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。</td><td>有効</td></tr>
<tr><td>DLNA 共有</td><td>DLNA 準拠機器からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。上記［アクセス権の選択］設定が「全てのユーザを許可」となっている場合のみ、選択できます。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>iTunes 共有</td><td>iTunes からこのフォルダにアクセスしたい場合にチェックします。上記［アクセス権の選択］設定が「全てのユーザを許可」となっている場合のみ、選択できます。</td><td rowspan="2">無効</td></tr>
<tr><td>リモートアクセス共有</td><td>リモートアクセス機能でこのフォルダを利用する場合にチェックをつけます。</td></tr>
<tr><td>ごみ箱機能</td><td colspan="2">Windows（MS ネットワーク ファイル共有）でのみ利用できます。
作成する共有フォルダについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、一旦［ごみ箱］フォルダに保管されます。
［ごみ箱］フォルダ内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダ内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダ内のファイルを削除されることをお勧めします。
［ごみ箱］フォルダの使い方については以下の個所を参照してください。
【[ごみ箱]フォルダからファイルを戻す】（51ページ）</td><td>無効</td></tr>
</table>

[システム初期化]

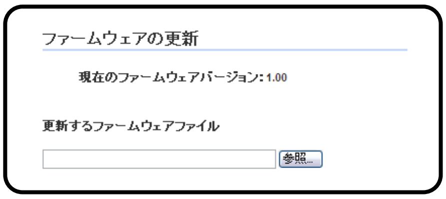


［OK］ボタンをクリックすると、すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。
ハードディスク内に必要なデータがある場合は、必ずシステム初期化前に、データをバックアップしてください。
出荷時設定については、【出荷時設定一覧】（122ページ）をご覧ください。

項目	設定する内容	出荷時設定
内蔵HDDの完全消去を行う	チェックすると、出荷時設定へ戻すと同時に内蔵ハードディスクのデータ領域を0（ゼロ）クリアします。 注意 ●[内蔵 HDD の完全消去を行う]をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、全てのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。 本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、以下の時間を要します。 ・HDLP-G500：約 11 時間	－

[ファームウェアの更新]

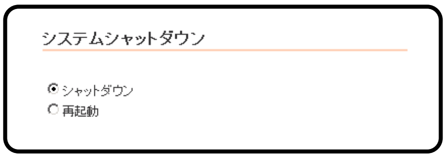
ファームウェアの更新（アップデート）手順については、
以下の個所を参照してください。
【ファームウェアを更新する】（104ページ）



項目	設定する内容	出荷時設定
ファームウェアのファイル名	[参照]ボタンをクリックして、ファームウェアのファイル名(update.tgz)を選択し、［更新］ボタンをクリックします。ファームウェアのアップデートは画面にしたがって正しく行ってください。 また、あわせてダウンロードしたアップデートプログラム内のREADME.TXTファイルもご覧ください。	－

[システムシャットダウン]

システムのシャットダウンまたは、再起動を行います。



項目	設定する内容	出荷時設定
シャットダウン	本製品をシャットダウンします。 シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。[STATUS]ランプが消灯するまでそのままお待ちください。［STATUS］ランプが消灯することを確認するまでは電源ケーブルを抜かないでください。	－
再起動	本製品を再起動します。	－

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

●トラブルの状態と対処

以下のトラブルの状態をクリックしてください。

弊社ホームページの[製品 Q&A]もご覧ください

⇒http://www.iodata.jp/support/product/hdlp-g/

サポート Web ページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

◆本製品起動時のトラブル

◆セットアップ時のトラブル（ネットワークへの導入時）

◆本製品へアクセス時のトラブル

●Windows

●Macintosh

◆設定画面に関するトラブル

◆本製品の IP アドレスについて

◆ファイルの保存について

◆ランプやブザーについて

◆DLNA サーバー機能使用時のトラブル

◆iTunes サーバー機能使用時のトラブル

◆リモートアクセス機能使用時のトラブル

◆内蔵および外付ハードディスクについて

◆タイムサーバー機能使用時のトラブル

◆メール送信でのトラブル

◆パソコンのネットワーク設定について

◆本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、[STATUS]ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと３回鳴った

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていない。 ※本製品の IP アドレスの設定が、自動取得(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。

原因	DHCP サーバーのない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【はじめて設定】(35ページ)

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST]ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST]ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると青点灯に変わります。

原因	LAN 接続モードで使用する共有フォルダを、USB 接続モードから削除やリネームした。
対処	設定画面の[詳細設定]で、[ログ表示]をクリックし、「共有フォルダ：検出エラー：***」が表示される場合、上記の可能性があります。 リネームした場合は USB 接続モードから元の名前に戻せば再び共有フォルダとして使用可能になります。削除した場合は、設定画面の［共有］タブより、不要となった共有を削除してください。

原因	USB 接続モードで本製品をフォーマットした、パーティションを変更した。
対処	LAN 接続モードでデータ領域を認識できなくなっている可能性があります。Magical Finder で本製品を検索し、設定画面の[詳細設定]で、[ディスク状況]の[状態]が「マウント失敗」となっている場合は、本製品のフォーマットが必要です。 フォーマットは、［システム］タブの[ディスク]から行ってください。

◆セットアップ時のトラブル（ネットワークへの導入時）

Mac OS と Windows が混在している環境の場合どのパソコンで設定したらよいですか？

対処	本製品は、本製品と同一ネットワーク内の１台のパソコンからすべての設定を行うことができます。 ご利用環境に、Windows と Mac OS のどちらもある場合は、一方のパソコンからすべての設定を行うことができますが、Windows パソコンから設定することをおすすめします。 Windows 環境では、「EasySetup」を使用できますので、本製品の IP アドレスの設定などを簡単に行うことができます。

EasySetup を実行したら選択画面が表示された

原因	複数のネットワークを使用しているため、インターフェイスの設定画面が表示された。
対処	本製品を接続する予定のネットワークにつながっているインターフェイスを選択するか、本製品を接続予定のネットワークのみにパソコンをつなげてください。

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法１】あるいは【方法２】などの手順で確認できます。 方法１：パソコンの IP アドレスの設定で確認する（以下参照） 方法２：Windows 標準添付のツールを使って確認する（Windows のみ）（次ページ）

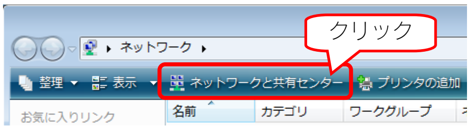
方法１：パソコンの IP アドレスの設定で確認する

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。
（IP アドレスの設定が”DHCP サーバーから取得する”設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。）

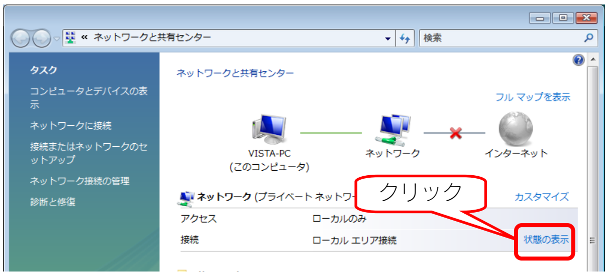
●Windows Vista®の場合

1	［スタート］→［ネットワーク］をクリックします。

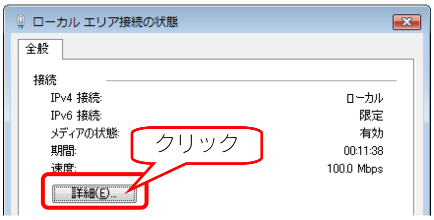
2	［ネットワークと共有センター］をクリックします。



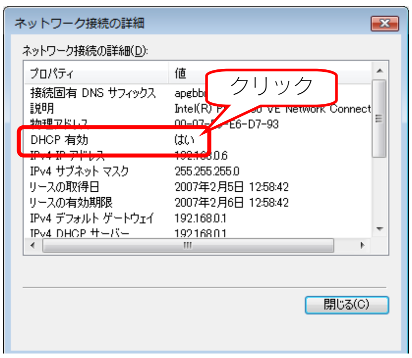
3	［状態の表示］をクリックします。



4	［詳細］をクリックします。



5	［DHCP 有効］欄に［はい］と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

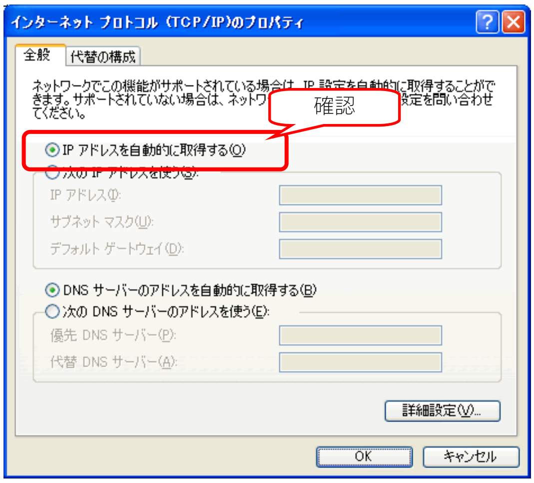


●Windows Vista®以外の OS の場合

1	パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

2	パソコンの IP アドレスの設定が、［IP アドレスを自動的に取得（する）］や［DHCP サーバーを参照］となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。

▼Windows XP で DHCP サーバーを使用している場合



▼Mac OS X で DHCP サーバーを使用している場合



方法２：Windows 標準添付のツールを使って確認する（Windows のみ）

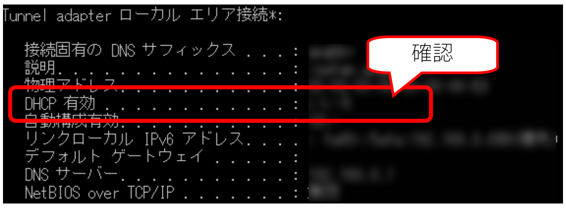
Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

●Windows Vista®の場合

1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2 IPCONFIG　-ALL
　（G と-の間にスペースが入ります）
と入力して［Enter］キーを押します。

3 DHCP 有効の欄に「はい」が表示されている場合は、DHCP サーバーがあります。

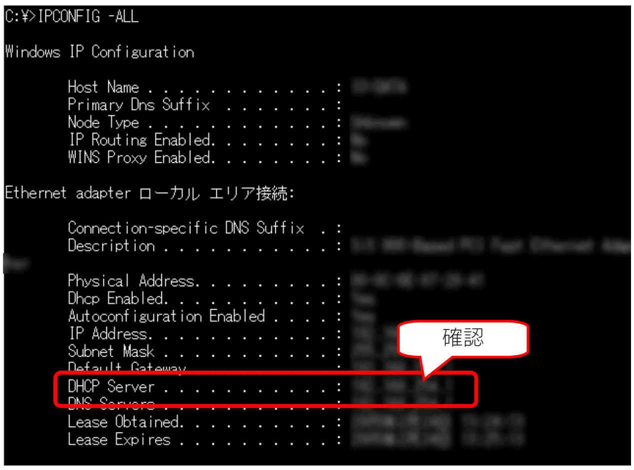


●Windows XP/2000 の場合

1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2 IPCONFIG　-ALL
　（G と-の間にスペースが入ります）
と入力して［Enter］キーを押します。

3 ［DHCP Server］欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



（Windows）
[Magical Finder]で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが青色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「Magical Finder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、 ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 （詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 1)USB 接続モードで本製品をパソコンにつなぎます。（自動的にメニューが表示されます。） 2)「サポートソフトインストール」→「Magical Finder」をクリックし、画面の指示に従いインストールを行ってください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows Vista®のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。	

＜参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 1)USB 接続モードで本製品をパソコンにつなぎます。（自動的にメニューが表示されます。） 2)「サポートソフトインストール」→「Magical Finder」をクリックし、画面の指示に従いインストールを行ってください。
②	［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③	一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
④	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows XP SP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。［スタート］→[すべてのプログラム]→[I-O DATA]-[Magical Finder]をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。	

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが青色に点灯※するまで）お待ちください。 ※DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、赤く点滅します。

DHCP サーバーがあるのに、STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の[POWER]ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【はじめて設定】(35ページ)

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST]ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST]ポートに接続された場合、接続に失敗したことを［STATUS]ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると青点灯に変わります。

（Mac OS）
パソコンに直接接続した後、本製品の設定画面が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが青色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレスの設定があっていない。
対処	パソコンと本製品を直接接続して設定画面を開くには、以下の設定にする必要があります。

①	本製品の[STATUS]ランプを確認してください。 ・赤く点滅している場合 本製品の IP アドレスは 192.168.0.200 に設定されています。 パソコンの IP アドレスを 192.168.0.xxx に設定します。 設定方法は、次の②の手順をご覧ください。 ・青色に点灯している場合 本製品の IP アドレスは、設定画面で設定した値に設定されています。 本製品に設定した IP アドレスにあわせてパソコンの IP アドレスを設定します。 設定方法は、次の②の手順をご覧ください。 本製品の IP アドレスが分からない場合は、以下の個所を参照してください。 【本製品に設定した IP アドレスを忘れた】（191ページ）
②	パソコンの IP アドレスを設定します。 本製品の IP アドレスと同じセグメントのアドレスに設定します。 例）本製品の IP アドレスが 192.168.0.200 の場合・・・パソコンの IP アドレスは 192.168.0.123 などに設定します。 パソコンの IP アドレスの設定方法がわからない場合は、以下の個所を参照してください。 【パソコンに固定の IP アドレスを設定するには】（206ページ）
③	IP アドレスを設定できましたら、Safari を起動し、アドレス欄に以下を入力して開きます。 http://192.168.0.200/　※本製品の IP アドレスが 192.168.0.200 の場合 本製品の IP アドレスを変更されている場合は、変更した IP アドレスを入力してください。

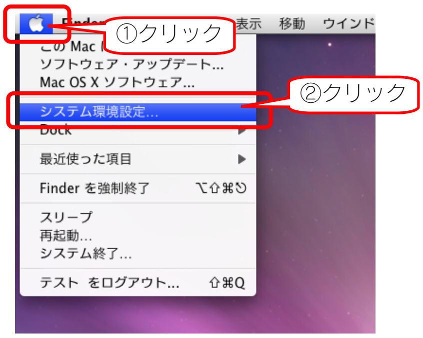
原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアのファイヤウォール機能により制限されている場合があります。 ファイヤウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイヤウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイヤウォール機能に関する設定については、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。
対処	RESET ボタンで、本製品の IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。 【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(111ページ)参照 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。 【はじめて設定】(35ページ)

原因	Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 注意　本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。 以下の個所を参照してください。

Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定

1 [アップルメニュー]→[システム環境設定]をクリックします。



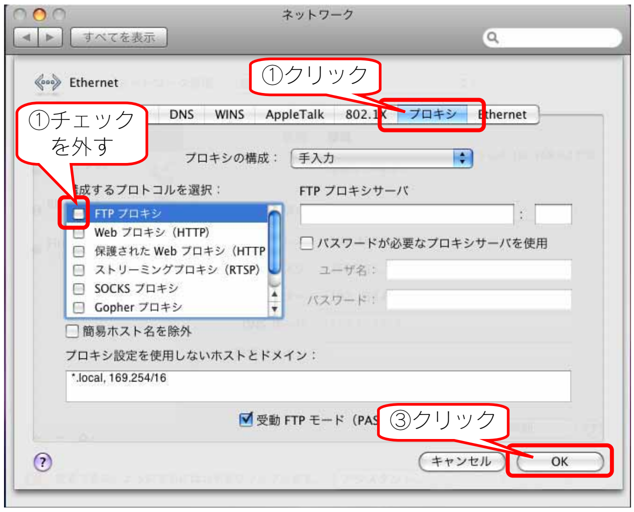
2 [ネットワーク]を開きます。



3 [詳細]をクリックします。



4 [プロキシ]タブをクリックし、以下の設定を行います。



以上で設定は完了です。

パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤く点滅している

原因	はじめて本製品をパソコンに接続した。
対処	パソコンにはじめて直接接続した場合、STATUS ランプが赤く点滅します。 設定画面で、本製品の IP アドレスを固定に設定し、電源ボタンで一度本製品の電源を切り(シャットダウン)後、再度本製品の電源を入れれば、STATUS ランプが青色に点灯します。

[LANDISK の名前]を変更したい

対処	【はじめて設定】(35ページ)を参照してください。

ファイアウォールソフトで、本製品に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない

対処	137～139 番、445 番のポートに対してアクセスを許可する設定を行ってください。 詳しい設定方法については、アプリケーションメーカーにご確認ください。

パソコンの IP アドレスがわからない

対処	パソコンの IP アドレスは以下の方法で確認することができます。 ・Windows の場合 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。以下の個所を参照してください。 【Windows パソコンの IP アドレスの確認】(次ページ)参照 ・Mac OS Xの場合 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。以下の個所を参照してください。 【Mac OS Xパソコンの IP アドレスの確認】(150ページ)参照

USB 接続時にフォーマットしてしまった、Mac OS X に接続して TimeMachine 機能を有効にした

対処	USB 接続時にフォーマットしてしまった場合、あるいは Mac OS X に接続して TimeMachine 機能を有効にした場合、そのままでは LAN 接続で使用できなくなります。 LAN 接続で使用したい場合は、LAN 接続の上で設定画面を開き[ディスク]項目からフォーマットを行ってください。 ※フォーマットを行った場合記録されていたデータは失われます。必要なデータが含まれている場合は別の媒体等へデータの退避を行ってください。

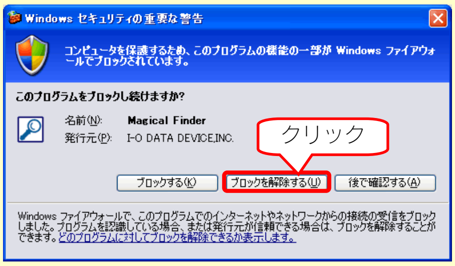
Windows パソコンの IP アドレスの確認

Windows パソコンの IP アドレスは、添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。

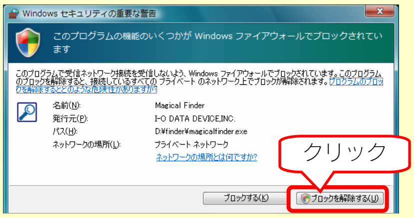
1 インストールした「Magical Finder」を起動します。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「I-O DATA」→「Magical Finder」をクリックします。
サポートソフトのインストール方法は、次のページをご確認ください。
【①設定ソフトをインストールする】(15ページ)参照

注意

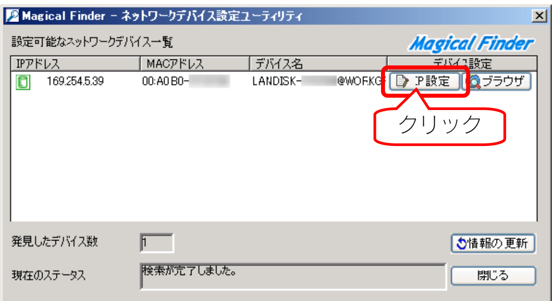
●Windows XP SP2 をお使いで以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。



●Windows Vista®をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。

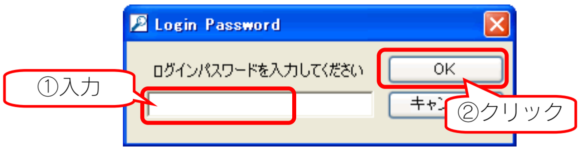


2 自動で本製品が検索されますので、[IP 設定]ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 ～2 分かかる場合があります。



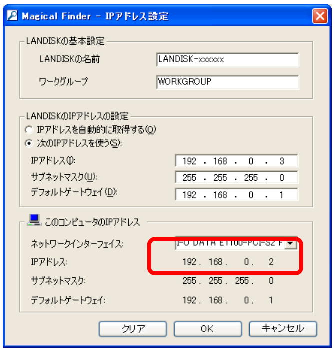
本製品が検索されない！
対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２：以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の144ページ

3 管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK]ボタンをクリックします。



「パスワードが間違っています。」と表示された！
対処：［OK］ボタンをクリック後、以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の161ページ

4 表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピュータの IP アドレス］で確認できます。



以上で確認は、終了です。

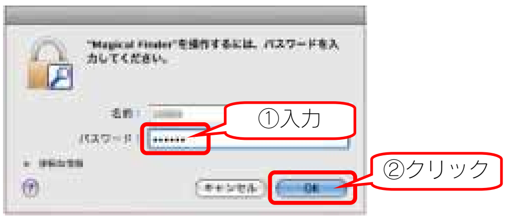
Mac OS Xパソコンの IP アドレスの確認

Mac OS Xパソコンの IP アドレスは、添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。

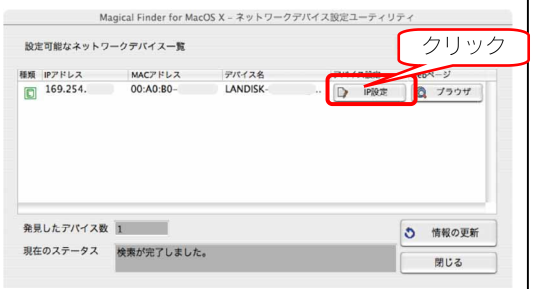
1 インストールした「Magical Finder」を起動します。
[ハードディスク]アイコンをクリックし、[アプリケーション]フォルダを開き、[Magical Finder]の順で実行します。



2 お使いのパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

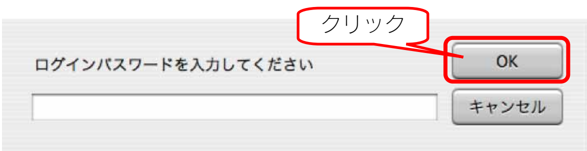


3 自動で本製品が検索されますので、[IP 設定]ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1～2 分かかる場合があります。

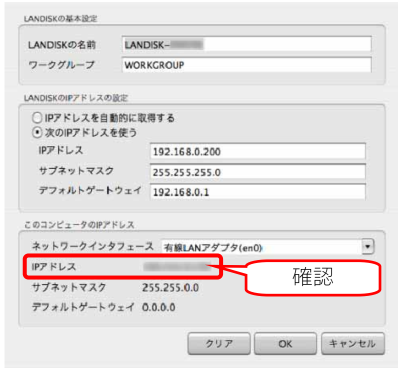


本製品が検索されない！
対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２：以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の144ページ

4 管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK]ボタンをクリックします。



5 表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピュータの IP アドレス］で確認できます。



◆本製品へアクセス時のトラブル

「LANDISK」のアイコンを開いたり、共有フォルダを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示される

原因	共有フォルダにアクセス権限の設定を行っていて、本製品に登録したユーザ名、パスワードと、パソコンからログオンしたユーザ名とパスワードが一致していない。
対処	ネットワークログイン時に入力する［ユーザ名］、［パスワード］と本製品に登録したユーザの［ユーザ名］、［パスワード］が一致するように、本製品とパソコンの設定をご確認ください。 パソコンの設定については、次を確認してください。 ▼Windows Vista®/XP/2000 の場合 OS 側にユーザ登録しなおします。 ユーザ登録されていない場合には、本製品に登録した［ユーザ名］［パスワード］と同じユーザアカウントを作成してください。 ▼Mac OS X の場合 ［移動］→［サーバーへ接続…］で本製品の IP アドレスを設定後、［接続］ボタンをクリックした際に表示される画面で、［登録ユーザ］を選択し、［名前］と［パスワード］に本製品に登録した［ユーザ名］と［パスワード］を入力してください。

Mac OS(バージョン問わず)から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ Mac OS からファイル保存ができなくなる

原因	本製品のシステムに採用されている Windows サービスと Macintosh サービス間のファイル保存情報に不整合が生じるため。
対処	Mac OS のデスクトップ上にマウントした共有を一度、ゴミ箱へ捨て再度、Finder(Mac OS X)、またはネットワークブラウザ(Mac OS)から本製品の共有へアクセスしてください。

本製品にアクセスできないパソコンがある（他のパソコンからは既に LAN DISK にアクセスできている場合）

対処

既に別のパソコンが本製品にアクセスできている場合、本製品自体の動作､設定には問題はありません。
LAN DISK に接続できないパソコンで以下の点をご確認ください。

▼Windows の場合

「コンピュータの検索」にて LAN DISK の名前ではなく、本製品に設定されている IP アドレスで検索を行ってみてください。

●IP アドレスの検索で見つかる場合

TCP/IP で正しく通信できていますので、IP アドレス設定は正常です。
また、検索の結果表示された共有フォルダへのアクセスをお試しください。

●IP アドレスの検索で見つからない場合

検索した IP アドレスが LAN DISK に設定されたものではない、または IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。

＜本製品の IP アドレスに PING を実行する＞

①MS-DOS プロンプト（コマンドプロンプト）を起動します。

Windows Vista®/XP/2000 の場合

「スタート」-「プログラム（すべてのプログラム）」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」を起動します。

②「ping」と入力し、スペースを 1 文字あけてから、本製品の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。

入力例）　C:\xxxxx>ping　192.168.0.200　［Enter］

③応答メッセージが表示されますので、メッセージ内容によりそれぞれの対処をご確認ください。

＜「Reply from・・・」と応答があった場合＞

OS のファイル共有サービスが正しく動作していない可能性があります。
お使いの LAN アダプターのドライバーを再インストールしてみてどうかお試しください。

＜「Request time out」と応答があった場合＞

・本製品の IP アドレスが、パソコンの IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスになっているかを確認してください。
Windows パソコンの場合、［Magical Finder］より確認することができます。
【本製品に設定されている IP アドレスを調べたい】（162ページ）

・ファイアウォールソフトがインストールされている場合には、一時的に機能を無効にしてみてどうかご確認ください。

▼Macintosh の場合

【[Landisk]が見つからない、もしくは、接続できない】（156ページ）の対処をご確認ください。

本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか？

対処

本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

・Windows パソコンの場合：推奨する同時接続台数は８台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
・Mac OS パソコンの場合：推奨する同時接続台数は８台まで（最大１６台まで）

◆本製品へアクセス時のトラブル（Windows）

[コンピュータの検索]で[Landisk-xxxxxx]が見つからない

原因	共有サービスが有効になっていない。
対処	設定画面の［ネットワーク］128ページ）で、「Microsoft ネットワークファイル共有」にチェックが入っていることを確認してください。 また、［共有フォルダ一覧］（128ページ）より、アクセスしたい共有フォルダの「Microsoft ネットワークファイル共有」が有効になっていることもご確認ください。

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

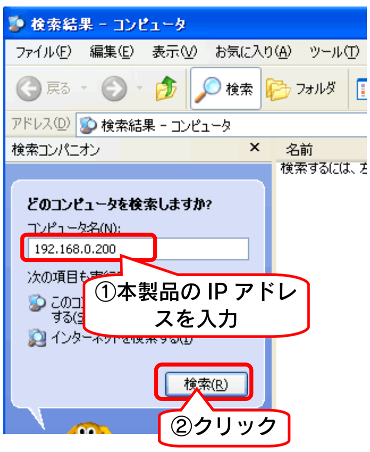
原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」※）や本製品のIPアドレス（初期値は「192.168.0.200」）を使用できるように設定してください。 ※xxxxxxはMACアドレスの下6桁 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

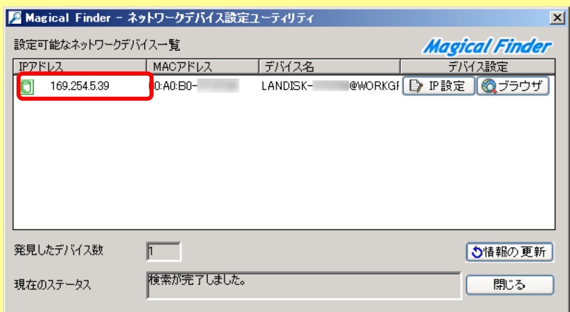
原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・設定画面が開けることをご確認ください。 ・LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[LANDISK-xxxxxx](コンピュータ名)の文字での検索では検索されない。
対処	本製品に設定されている IP アドレス（出荷時は、192.168.0.200）を入力して検索してみてください。



※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。
表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。



原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	▼ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 →いったん本製品の電源を入れ直していただき、再度検索できるかどうかお試しください。 ▼DHCP サーバーがない場合 →本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。 ・本製品のワークグループ名・・・詳細設定画面の［ネットワーク］（128ページ）参照 ・パソコンのワークグループ名・・・【Windows パソコンの［ワークグループ名］がわからない】（173ページ）参照

Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダやファイルがある

原因	Mac OS で、フォルダを作成したり、ファイルをコピーした。
対処	Mac OS で、フォルダを作成したり、ファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダ）の他に、別のファイル（フォルダ）が作成されます。（例：「.AppleDouble、「.AppleDB」など、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイル、フォルダになります。） このファイル（フォルダ）には、Mac OS ユーザ用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

原因	アプリケーションが作業中に作成・削除した。
対処	アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。 そのため、［ごみ箱］フォルダにファイルやフォルダがある場合があります。

Windows Vista®/XP/2000 のパソコンからユーザ権限共有フォルダにログオンしようとすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない

原因	LAN DISK に登録したユーザ名・パスワードと、Windows のパソコンに登録したユーザ名とパスワードが 一致していない可能性が考えられます。
対処	LAN DISK に登録したユーザ名・パスワードを、Windows のパソコンでも作成し、OS ログイン時にそのユーザ名・パスワードを使ってログインしてください。

[Magical Finder]で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	検索に時間がかかっている。
対処	30 秒ほど待ってから、[情報の更新]ボタンをクリックしてください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「Magical Finder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、 ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。（詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	添付の USB ケーブルで本製品をパソコンに接続します。→自動的にメニューが表示されます。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows Vista®のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。

＜参考：WindowsXP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	添付の USB ケーブルで本製品をパソコンに接続します。→自動的にメニューが表示されます。
②	［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③	一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
④	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で WindowsXPSP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。［スタート］→[すべてのプログラム]→[I-O DATA]-[Magical Finder]をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが青色に点灯※するまで）お待ちください。 ※DHCP サーバーの無いネットワークに接続した場合は、赤点滅します。

◆本製品へアクセス時のトラブル（Macintosh）

[Landisk-xxxxxx]が見つからない、もしくは、接続できない

原因	本製品がネットワークへ正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」）や本製品の IP アドレス（初期値は「192.168.0.200」）を使用できるように設定してください。 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

原因	LANDISK の名前で検索できない。
対処 1	［サーバーへ接続］画面で、本製品の IP アドレスを使用して接続してください。 入力する IP アドレスは、本製品に設定されている IP アドレスを入力します。 DHCP サーバーが割り当てた IP アドレスが分からない場合、【本製品の IP アドレスを調べたい】（162ページ）をご覧ください。 ●IP アドレスを指定して接続する場合：　afp://192.168.0.200/
対処２	Webブラウザー「Safari」を起動し、ブックマークの［Bonjour］（または、［Rendezvous］）にLANDISK-xxxxxx※が表示されていることを確認します。 ※xxxxxxはMACアドレスの下6桁 ※本製品の［LANDISK の名前］を変更している場合は、変更後の名前

◆設定画面に関するトラブル

（Windows）
ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

対処１	デスクトップ上にある、[LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面]ショートカットから開いてみてください。

対処２	［Magical Finder］を起動し、本製品を検索してみてください。 詳しくは【設定画面の開き方】（30ページ）をご覧ください。

対処３

セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。
また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「Magical Finder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。
（詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	添付の USB ケーブルで本製品をパソコンに接続します。→自動的にメニューが表示されます。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows Vista®のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。	

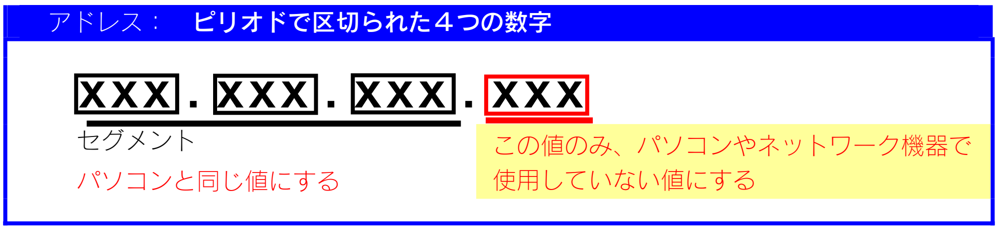
＜参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	添付の USB ケーブルで本製品をパソコンに接続します。→自動的にメニューが表示されます。
②	［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③	一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
④	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows XP SP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。 ［スタート]→[すべてのプログラム]→[I-O DATA]-[Magical Finder]をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。	

（Mac OS）
ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが青色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアのファイヤウォール機能により制限されている場合があります。 ファイヤウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイヤウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイヤウォール機能に関する設定については、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	（本製品に固定の IP アドレスを設定した場合） 本製品と設定用パソコンの IP アドレスのセグメント値が合っていない。
対処	お使いのパソコンの IP アドレスが例えば「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品の IP アドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、セグメント値が合っていないことが考えられます。（以下の図参照） 本製品の IP アドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定し直しててください。 【はじめて設定】（35ページ）



原因	本製品が DHCP クライアントに設定されているため、IP アドレスがわからない。
対処	【本製品の IP アドレスを調べたい】（162ページ）を参照してください。

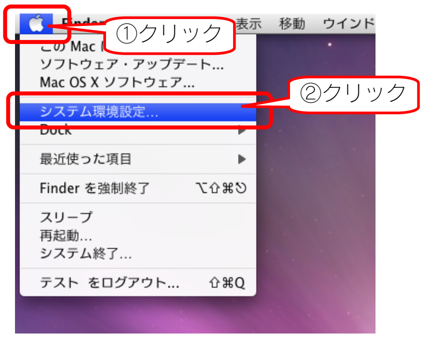
原因	設定画面を開こうとしているパソコンの IP アドレス設定が間違っている。
対処	設定画面を開こうとしている以外のパソコンで、設定画面が開けないかお試しください。 開ける場合は、開けなかったパソコン側の IP アドレスの設定が本製品にアクセスできる設定になっていない可能性があります。本製品を設定時にパソコンの IP アドレスやサブネットマスクを一時的に変更していた場合などは、本製品設定前の IP アドレスやサブネットマスクに戻してください。

原因	以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。
対処	RESET ボタンで、本製品の IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。 【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（111ページ)参照 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。 【はじめて設定】（35ページ）

原因	Web ブラウザが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 Web ブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 注意　本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。 以下の個所を参照してください。

Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定

1 [アップルメニュー]→[システム環境設定]をクリックします。



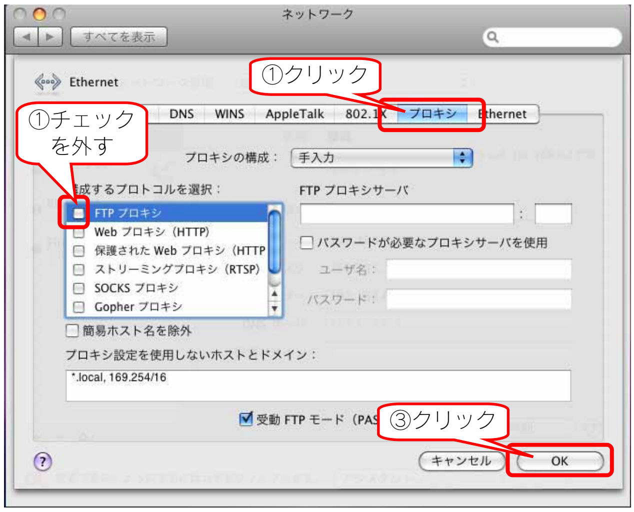
2 [ネットワーク]を開きます。



3 [詳細]をクリックします。



4 [プロキシ]タブをクリックし、以下の設定を行います。



以上で設定は完了です。

設定画面で一部表示されない項目がある

原因	セキュリティ関連のソフトウェアの影響により表示されない。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアのファイヤウォール機能により制限されている場合があります。 ファイヤウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイヤウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイヤウォール機能に関する設定については、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	ブラウザのセキュリティレベルが高く設定されている。
対処	本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。 設定後は、元の「高」設定に戻してください。 ■Internet Explorer5.x/6/7 をご利用の場合 【Windows の場合】 ①デスクトップ、またはスタートメニューにある「Internet Explorer」のアイコンを右クリックし、メニューの中の[プロパティ]または、「インターネットのプロパティ」をクリックし、[インターネットオプション]もしくは[インターネットのプロパティ]を開いてください。 ②[セキュリティ]タブをクリックし、[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に合わせます。 ③[OK]ボタンをクリックします。 以上で終了です。

空き容量が実際より少ない気がする

原因	［ごみ箱］フォルダのファイルが多数ある。
対処	各共有の［ごみ箱］フォルダを空にしてください。

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（124ページ）をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限一覧】（124ページ）をご覧ください。

パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない

原因	パスワードが間違っています。
対処	出荷時設定では、「パスワード：（なし）」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面の［管理者パスワードの変更］でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(111ページ)参照をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

原因	空白(スペース)のみのパスワードになっています。
対処	パスワード無しに設定したつもりで、空白(スペース)で設定されていることがありますので、空白(スペース)を入力してみてください。ログオンできない場合は、上の原因をご覧ください。

設定画面にログオンするためのパスワードがわからない

対処	出荷時設定では、「パスワード：（なし）」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面の［管理者パスワードの変更］でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(111ページ)参照をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

以下のメッセージが表示された
「現在システムは処理中です。
しばらく待ってから操作してください。」

原因	設定処理実行中に他の設定をしようとした。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。

原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化を行ってみてください。詳しくは、【出荷時設定に戻す】（109ページ）をご覧ください。

設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる

対処	本製品が使用するファームウェアの制限で、ハードディスクに問題はありません。

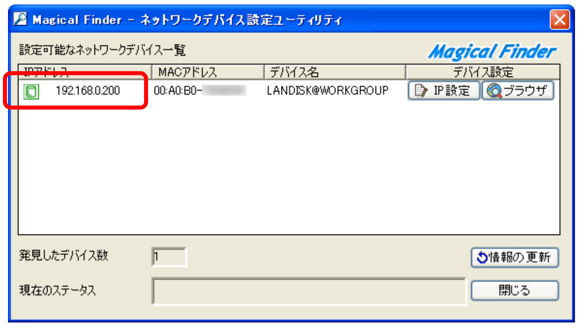
設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中など、本製品の処理動作中である。
対処	以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合あります。 処理が終了するまでお待ちください。 ・ファイル共有サービス転送中/再生中　・DLNA データベース更新中 ・iTunes データベース更新中　・スピンアップ中

◆本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた
本製品に設定されている IP アドレスを調べたい

注意 DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。
DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。
下記手順でいったん確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処１	（ネットワーク内に Windows、Mac OS パソコンがある場合） 添付ユーティリティ[Magical Fider]で調べる ［Magical Finder］を起動してください。 表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。 

対処２	（DHCP サーバーのあるネットワークの場合） DHCP サーバー内の情報から確認する ご使用のブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

◆ファイルの保存について

本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない

対処	製品の仕様上、ファイルごとのセキュリティー設定はできません。

ファイル名やフォルダ名の制限について

対処	本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、文字制限があります。 以下の個所を参照してください。 【文字制限一覧】（124ページ）

ファイルを削除するとごみ箱にいったん入りますか？

対処	本製品の「ごみ箱機能」を有効（初期値は無効）に設定した場合は、該当フォルダの中に「ごみ箱」フォルダにいったん削除したファイルが入ります。 ごみ箱機能を無効にして削除した場合は、そのまま削除されます。 [参考]　【[ごみ箱]フォルダからファイルを戻す】（51ページ）

共有フォルダにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？

対処	OS によりファイルサイズの制限があります。 以下の個所を参照してください。 【各 OS で使用できるファイルサイズについて（121ページ）

USB 接続モードで作成したフォルダは LAN 接続モード時に使用できますか？

対処	USB 接続モードで作成したフォルダは、LAN 接続モードでは使用できません。 USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダを使用したい場合は、LAN 接続モードで共有フォルダを作成してください。

◆ランプやブザーについて

STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【はじめて設定】(35ページ)

原因	（クイックコピーでデータコピー時） コピー先が正しく接続されていない。
対処	コピー先に外付ハードディスクを設定している場合に、外付ハードディスクが接続されていない場合などは、接続してください。 コピー先の設定については、以下の個所を参照してください。 【クイックコピー機能を設定する】（62ページ）

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST]ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST]ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取外してください。しばらくして青点灯に変わります。

原因	デジカメコピーが異常終了した。
対処 1	デジカメコピーの設定を再度確認してコピーし直してください。
対処 2	マスストレージモードと PTP モードを切り替えられる機種はマスストレージモードでご使用ください。PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。

原因	デジカメバックアップが異常終了した。
対処 1	指定してある内蔵 HDD 内にデジカメコピーのフォルダがあることを確認してください。また、USB[HOST]ポートに接続した HDD にデジカメバックアップのフォルダがあることを確認してください。無い場合はデジカメコピー及びデジカメバックアップの設定を再度やり直してください。
対処 2	ファイルサイズが 4GB 以上のファイルが含まれていないか確認ください。ファイルシステムの制限により、バックアップディスクとなる FAT 形式の外付ハードディスクへは 4GB 以上のファイルは転送できません。

パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤く点滅している

対処	以下の個所を参照してください。 【パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤く点滅している】（148ページ）

ランプやブザーの動作について知りたい

対処	添付の冊子【必ずお読みください】の【各部の名称･機能】をご覧になるか、以下の個所を参照してください。 【各部の名称・機能】（118ページ） 【ランプ・ブザー別の対応】（113ページ）

◆DLNA サーバー機能使用時のトラブル

ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。) また、ネットワークメディアプレーヤー側の電源が入っているか、接続ケーブルが LAN に接続されているか（LAN ポートのランプが点灯または点滅しているか）確認してください。

原因	ネットワークメディアプレーヤーまたは本製品の IP アドレスの設定が間違っている。
対処	ネットワークメディアプレーヤーと本製品の IP アドレスを確認し、同じネットワークアドレス（セグメント）で別々の IP アドレスとなっているかを確認してください。 ●ネットワークメディアプレーヤーの IP アドレス･･･ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書を参照ください。 ●本製品の IP アドレス･･･【本製品に設定されている IP アドレスを調べたい】（162ページ）参照

原因	本製品の「DLNA Server」設定が有効になっていない。
対処	設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックし、公開フォルダに［DLNA Server］が表示されていることをご確認ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが青色に点灯するまで）お待ちください。

ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

原因	ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）が対応していないファイルフォーマットである。
対処	お使いのネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）が対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）の取扱説明書などで確認してください。 ※本製品が対応しているファイルフォーマットであっても、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）側が対応していない場合は再生できません。

原因	本製品が対応していないファイルフォーマットである。
対処	本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。 ※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

種類	ファイル拡張子
動画	mpg mpeg mpeg2 vob wmv asf avi mp4 mts m2ts divx
写真	jpeg jpg png bmp
音楽	mp3 wma wav pcm lpcm m4a mpa flac

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

原因	DLNA Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。
対処	DLNA Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、初回接続時や共有内ファイル操作時にネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で表示されるまでに待たされることがあります。 この場合、DLNA 用データベースの更新が行われていますので、しばらくお待ちください。 ※１万ファイル以内でご利用ください。

原因	本製品で DLNA の設定変更を行った場合、ネットワークメディアプレイヤー側で情報更新に時間が掛かる場合があります。
対処	しばらく時間を置いてから、本製品が認識できるかどうかをご確認ください。

ネットワークメディアプレーヤーで再生できる本製品のファイルについて

対処

ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で再生できるファイルのファイルサイズによる制限はありませんが、本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。
※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

種類	ファイル拡張子
動画	mpg mpeg mpeg2 vob wmv asf avi mp4 mts m2ts divx
写真	jpeg jpg png bmp
音楽	mp3 wma wav pcm lpcm m4a mpa

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

> 注意
>
> ●ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で本製品内のファイルを再生する場合、本製品およびネットワークメディアプレーヤーの両方が対応しているファイルフォーマットである必要があります。
> お使いのネットワークメディアプレーヤーが対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書などで確認してください。

AVeL LinkPlayer から本製品のファイルやフォルダを見ることができない

原因	DLNA に対応していない AVeL LinkPlayer である。
対処	DLNA に対応していない AVeL LinkPlayer からは、本製品のファイルやフォルダを見ることはできません。

原因	本製品側で「DLNA Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。
対処	公開したいフォルダがDLNA共有有効になっていることを確認します。 ①設定画面から［DLNA設定］ボタンをクリックし、表示される公開フォルダ一覧に公開したいフォルダのフォルダ名が表示されていることを確認します。 ②表示されていなかった場合、[公開フォルダを追加する]をクリックし、表示される[新しい公開フォルダの作成]画面で公開したいフォルダを選択します。 以上の設定を行いましたら、LinkPlayer のログイン先選択画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。 表示されましたら、そのログイン名を選択し、本製品上のファイルの参照をお試しください。

原因	本製品で DLNA の設定変更を行った場合、ネットワークメディアプレイヤー側で情報更新に時間が掛かる場合があります。
対処	しばらく時間を置いてから、本製品が認識できるかどうかをご確認ください。

◆iTunes サーバー機能使用時のトラブル

iTunes に本製品が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルがLANに接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	iTunes を実行するパソコンと本製品が通信できない設定になっている。
対処	iTunes を実行するパソコンより、本製品の設定画面を開けることを確認してください。 【設定メニューを開く】（30ページ）

原因	本製品の「iTunes Server」設定が有効になっていない。
対処	設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックし、公開フォルダに［iTunes Server］が表示されていることをご確認ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが青色に点灯するまで）お待ちください。

iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

原因	本製品が対応していないファイルフォーマットである。
対処	本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。 ※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

種類	ファイル拡張子		
音楽	mp3	m4a	m4p

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

原因	iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。
対処	iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、表示されるまでに待たされることがあります。 この場合、iTunes 用データベースの更新が行われている場合がありますので、しばらくお待ちください。 ※1万ファイル以内でご利用ください。

iTunes から本製品のファイルやフォルダを見ることができない

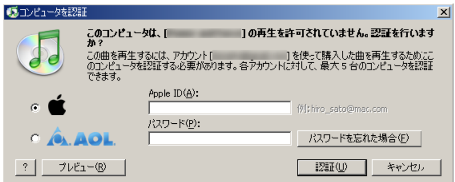
原因	本製品側で「iTunes Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。
対処	以下の手順を行います。 ①設定画面から［iTunes設定］ボタンをクリックし、表示される公開フォルダ一覧に公開したいフォルダのフォルダ名が表示されていることを確認します。 ②表示されていなかった場合、[公開フォルダを追加する]をクリックし、表示される[新しい公開フォルダの作成]画面で公開したいフォルダを選択します。 以上の設定を行いましたら、iTunes 画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。 表示されましたら、そのアイコンをクリックし、本製品上のファイルの再生をお試しください。

iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある

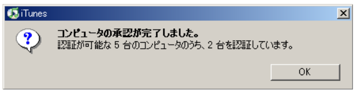
原因	iTunesServer 機能で公開する共有フォルダに、音楽ファイルを追加、削除した後、iTunes Server のデータベースの更新を行ってない。
対処	iTunesServer 機能で公開する共有フォルダに、音楽ファイルを追加、削除した後、本製品の設定画面上の[iTunes 更新]ボタンをクリックしてデータベースの更新を行う必要があります。

原因	MP3 の ID3 タグ情報の文字は UTF-16 のエンコーディングに対応しています。 UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。
対処	曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けするファイルをいったん本製品の共有フォルダから、iTunes を実行するパソコンに移動し、iTunes にて「ID3 タグを変換」を行ってください。

<table>
<tr><td>原因</td><td>iTunes Store で購入したファイルを購入したパソコンの iTunes 以外の、iTunes にて再生しようとしている。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>iTunes Store で購入した著作権保護されたファイルを共有する場合、iTunes にて再生しようとすると「コンピュータを認証」画面が表示される場合があります。



これは iTunes の著作権管理機能により、著作権保護されたファイルを再生する場合の手続きになります。「コンピュータを認証」画面にて認証を行うことで、最大 5 台まで著作権保護されたファイルを再生することができます。



</td></tr>
</table>

◆リモートアクセス機能使用時のトラブル

リモートアクセスが接続できなくなった

原因	インターネット接続が不通になった場合などに iobb.net が無効に変更されます。 （インターネットサービスプロバイダがメンテナンスなどでインターネット接続が一時間以上不通になった場合など）
対処	インターネットアクセスを確認し、[iobb.net 設定]を再度有効に設定してください。

リモートアクセスクライアント使用中に「通信エラーが発生しました。」と表示される

原因	インターネット回線の状態が一時的に悪化し、操作中の処理が失敗した。
対処	いったんログアウトし、しばらく待ってからログインしてから操作を行ってください。 それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。

原因	自宅のルーターのグローバル IP アドレスが更新された。
対処	いったんログアウトし、10 分以上待ってから再度ログインし操作を行ってください。 それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。

コンテンツの再生ができない

原因	インターネット回線の状態によってはスループット不足によりコンテンツの再生が正常に行えない場合があります。
対処	本製品および、ホームメディアリンククライアントを動作させるインターネット環境は光回線（10Mbps 以上の通信速度を維持できること）を推奨します。

◆内蔵および外付ハードディスクについて

外付ハードディスクを接続するとブザーが「ピーピーピー」と３回鳴り、STATUS ランプが赤く点滅したままとなる

原因	FAT 以外のフォーマット形式の外付ハードディスクを接続した。 FAT 以外のフォーマット形式としては以下のような場合があります。 ・Macintosh で使用していたハードディスク ・未フォーマット状態のハードディスク ・他の LAN DISK 製品で専用フォーマットにした外付ハードディスク
対処	いったんケーブルを抜いて FAT 形式にパソコンなどでフォーマットしてから再度接続する必要があります。

外付ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT32 や NTFS 形式のハードディスクはそのまま Windows パソコンではご利用になれます。 再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの外枚ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットするとデータはすべて消去されます。 ※本製品をパソコンに直接接続して、フォーマットすることはできません。

本製品に接続可能なハードディスクについて

対処	【接続できる USB 機器】（119ページ）を参照してください。

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありません。

省電力機能が働かない

原因	本製品のシステムがアクセスしている。
対処	本製品のシステムが必要なファイルにアクセスする場合があります。

◆タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	［TCP/IP 設定］で正しく設定されていない。
対処	設定画面の［ネットワーク］タブ-［TCP/IP 設定］で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。 入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。 以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「TCP/IP の設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とログメールの送信ができるかどうかご確認ください。 【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】 ●Windows Vista®の場合 ①[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] →[コマンドプロンプト]をクリックします。 ②IPCONFIG -ALL と入力して Enter キーを押します。（IPCONFIG と-ALL の間には半角スペースが入ります） ③[デフォルトゲートウェイ]と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ●Windows XP/2000 の場合 ①［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。 ②IPCONFIG -ALL と入力して Enter キーを押します。（IPCONFIG と-ALL の間には半角スペースが入ります） ③[Defalt Gateway]と[DNS Servers]の IP アドレスを確認します。 ●Mac OS X の場合 ①［アップルメニュー］→[システム環境設定］→「ネットワーク」を開きます。 ②［詳細］→「TCP/IP」画面で「ルータ」、「DNS」タブで DNS サーバーの IP アドレスを確認します。

◆メール送信でのトラブル

メール送信テストでエラーとなる

<table>
<tr><td>原因</td><td>［TCP/IP 設定］で正しく設定されていない。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>［ネットワーク］タブ→［TCP/IP 設定］で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。
入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。
以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「TCP/IP 設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とログメールの送信ができるかどうかご確認ください。

【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】

●Windows Vista®の場合
①[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] →[コマンドプロンプト]をクリックします。
②IPCONFIG -ALL と入力して Enter キーを押します。
③[デフォルトゲートウェイ]と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。

●Windows XP/2000 の場合
①［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。
②IPCONFIG　-ALL　と入力して Enter キーを押します。
③[Defalt Gateway]と[DNS Servers]の IP アドレスを確認します。

●Mac OS X の場合
①［アップルメニュー］→[システム環境設定］→「ネットワーク」を開きます。
②［詳細］→「TCP/IP」画面で「ルータ」、「DNS」タブで DNS サーバーの IP アドレスを確認します。</td></tr>
</table>

原因	「メール基本設定」で、［メール通知］が「通知しない」になっている。
対処	メール通知を「通知する」に設定し、「SMTP サーバー」などを設定してください。

◆パソコンのネットワーク設定について

パソコンの IP アドレスがわからない

対処	パソコンの IP アドレスは以下の方法で確認することができます。 ・Windows の場合 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。以下の個所を参照してください。 【Windows パソコンの IP アドレスの確認】(149ページ)参照 ・Mac OS X の場合 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。以下の個所を参照してください。 【Mac OS X パソコンの IP アドレスの確認】(150ページ)参照

Windows パソコンの［ワークグループ名］がわからない

対処

【Windows パソコンのワークグループ名の確認方法】

●Windows Vista®の場合

①［スタート］をクリック後、［コンピュータ］を右クリック
メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

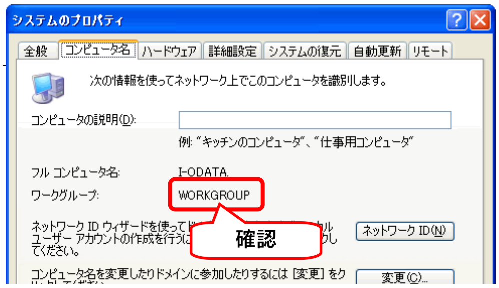
②コンピュータ名、ドメイン及びワークグループの設定の
ワークグループの欄で確認できます。



●Windows XP の場合

①［スタート］をクリック後、［マイ コンピュータ］を
右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

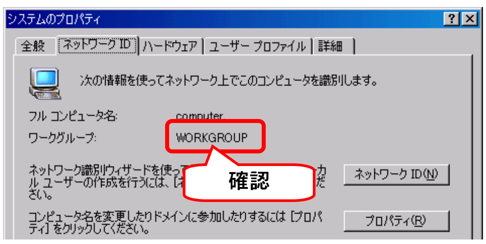
②［システムのプロパティ］画面で［コンピュータ名］タブを
クリックすれば確認できます。



●Windows 2000 の場合

①［マイ コンピュータ］を右クリックし、メニュー内の
［プロパティ］をクリックします。

②［システムのプロパティ］画面で［ネットワーク ID］タブ
をクリックすれば確認できます。

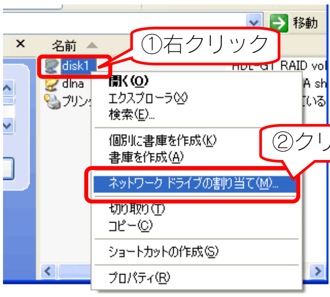


（Windows）
ネットワークドライブの割り当て方法がわからない

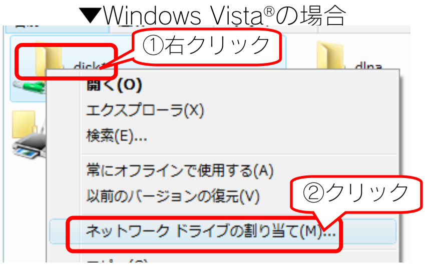
本製品（［disk］共有フォルダ）を、ネットワークドライブとして割り当てることができます。
ネットワークドライブとして割り当てれば、［マイコンピュータ］上から簡単にアクセスできるようになります。
※画面は Windows XP を例にしています。

1 [disk]フォルダを右クリックして、[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

▼Windows XP の場合

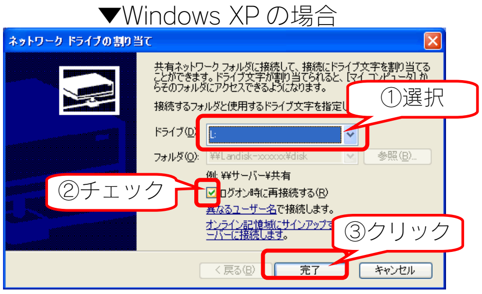


▼Windows Vista®の場合

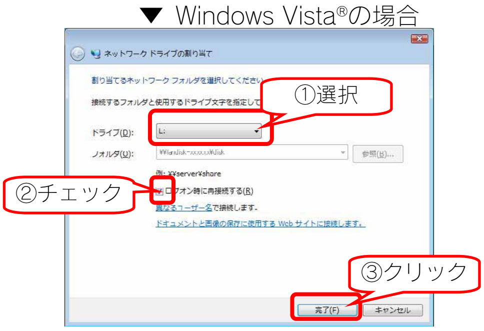


2 ネットワークドライブの割り当てを行います。
①[ドライブ]にて本製品に割り当てる文字を選びます。
（画面例では、L を選択しています。）
②[ログオン時に再接続する]にチェックを付けます。
③[完了]ボタンをクリックします。

▼Windows XP の場合

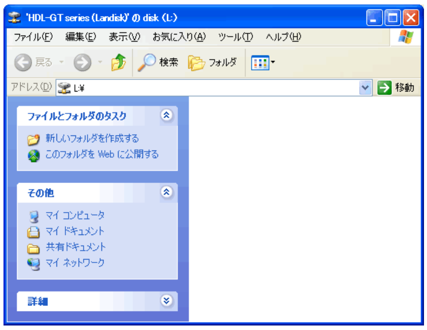


▼ Windows Vista®の場合



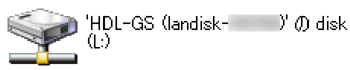
3 ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

▼Windows XP の場合



4 [マイコンピュータ]を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。
ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

▼Windows XP の場合



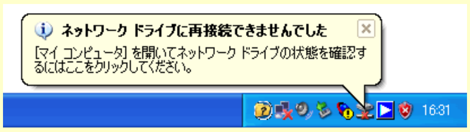
▼Windows Vista®の場合



注意

●手順３ で[ログオン時に再接続する]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、本製品がドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

・Windows XP でのエラー画面例



●多くのパソコンからネットワークドライブとして割り当てると、本製品のパフォーマンスが低下する場合があります。

以上で完了です。

パソコンに固定の IP アドレスを設定するには

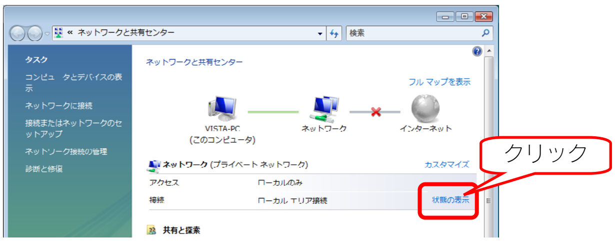
以下の手順は、パソコンに固定の IP アドレス（例は「192.168.0.3」）を設定する場合の例です。
一時的に変更する場合などは、必ず、以前の[IP アドレス]［サブネットマスク］［デフォルトゲートウェイ］などのアドレスはメモしてください。
ネットワーク内に DHCP サーバーが無い場合（本製品が「192.168.0.200」の IP アドレスで起動した場合）などに、パソコンから設定画面を開く際には、パソコン側は同じネットワークアドレスで別の IP アドレスを設定する必要があります。

Windows Vista®の場合

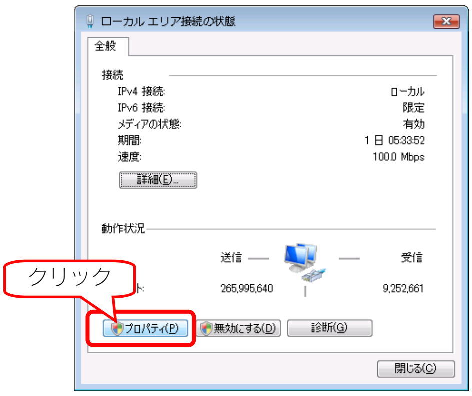
1 ［スタート］→［ネットワーク］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。



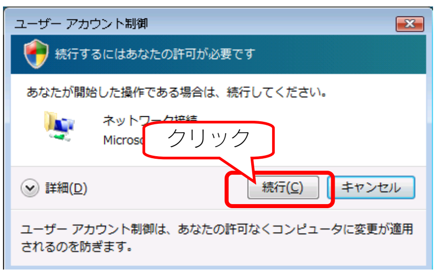
2 ［状態の表示］をクリックします。



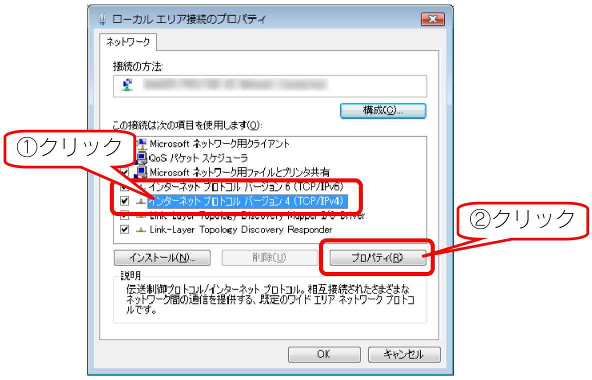
3 ［プロパティ］をクリックします。



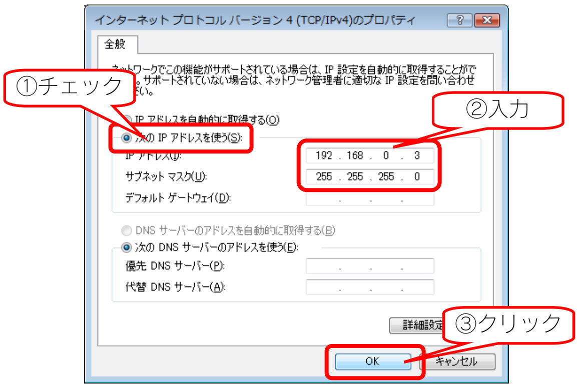
4 以下の確認画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。



5 [インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。



6 ［次の IP アドレスを使う］をチェック後、［IP アドレス］[サブネットマスク]を設定後、［OK］ボタンをクリックします。
※画面は設定値は、設定例です。



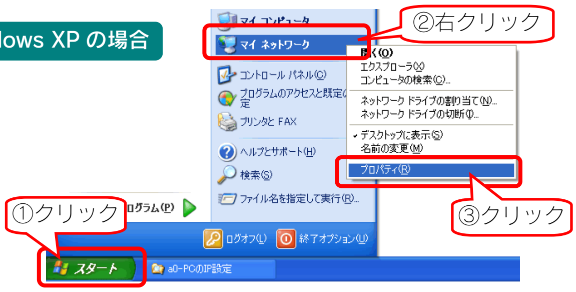
以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Windows XP/2000 の場合

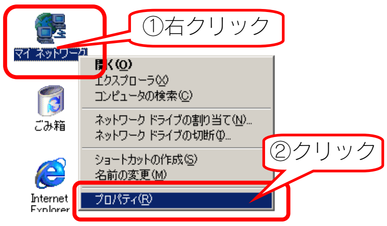
※画面は Windows XP での例です。

1 ［スタート］→［マイネットワーク］を右クリック後、［プロパティ］をクリックします。
（Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリック）

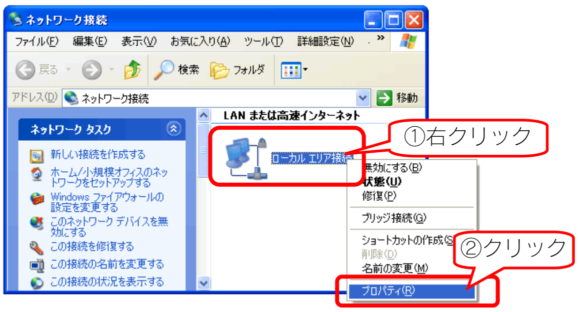
Windows XP の場合



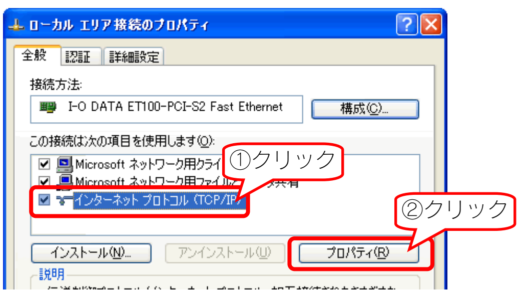
Windows 2000 の場合



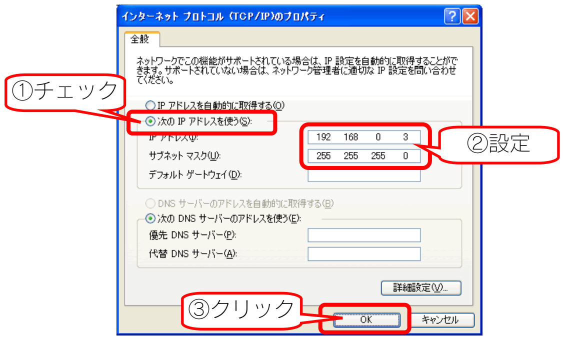
2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリック後、［プロパティ］をクリックします。



3 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリック後、［プロパティ］ボタンをクリックします。



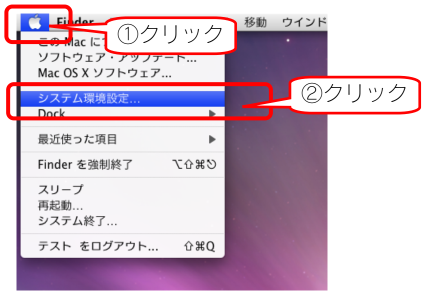
4 ［次の IP アドレスを使う］をチェック後、［IP アドレス］［サブネットマスク]を設定後、［OK］ボタンをクリックします。
※画面は設定値は、設定例です。



以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Mac OS X の場合

1 [アップルメニュー]→[システム環境設定]をクリックし、[ネットワーク]を選択します。



2 [ネットワーク]を開きます。



3 ①左の欄で[Ethernet]を選択します。
②[構成]を[手入力]に変更します
③以下を設定します。
IP アドレス：192.168.0.3
サブネットマスク： 255.255.255.0
④[適用]ボタンをクリックします。



4 画面を閉じて、パソコンを再起動します。

(Windows Vista®/XP/2000)
[ローカルエリア接続]アイコンに×マークが付いている

原因	LAN ケーブルが正しく接続されていない。
対処	パソコンに LAN ケーブルが接続されているか、また、パソコン接続先のネットワーク機器（ルーターやハブなど）に LAN ケーブルが接続されているかご確認ください。

原因	LAN ケーブルに問題がある。
対処	別の LAN ケーブルをお持ちの場合は、LAN ケーブルを交換してみてどうかお試しください。

本製品のお問い合わせ

①　弊社ホームページをご覧ください

サポート Web ページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらもご参考ください。

製品 Q&A、News など　⇒　http://www.iodata.jp/support/product/hdlp-g/

ソフトウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトウェアをダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト　⇒　http://www.iodata.jp/lib/

②　それでも解決できない場合は、下記にお問い合わせください

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

※お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名
2．ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3．ご使用のシステムバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。

（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）

※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」の「保証適応外」の内容に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

①メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(S/N)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

②これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］、日中にご連絡できるお電話番号、

ご使用環境（機器構成、OS など）,故障状況（どうなったか）

③修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

④修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513

石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ・オー・データ第 2 ビル

株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
● Apple, Macintosh, Power Macintosh, PowerBook, iMac, iBook, FireWire, Power Mac, Mac, Mac OS, Mac OS ロゴおよびその標章は、米国 Apple, Inc.の登録商標です。
● DigiOn、DiXiM は、株式会社デジオンの登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HDLP-G シリーズ取扱説明書　　2009.04.02
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地